

# 令和4年度第1回さいたま市がん対策推進協議会

日時：令和4年5月24日（火）

午後2時00分から午後3時30分まで

場所：さいたま市役所

議会棟2階 第5委員会室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 議 事

(1) さいたま市がん対策推進計画の進行管理について

① がん対策推進計画の進行及び令和4年度の取組予定

### 3 意見交換

(1) コロナ禍により懸念される受診控えを防止するための協定企業と連携した取組について

(2) がん患者のアピアランスケアについて

### 4 報 告

(1) さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業について

### 5 そ の 他

(1) 次期さいたま市がん対策推進計画の策定について

### 6 挨 拶

### 7 閉 会

# さいたま市がん対策推進協議会委員名簿

(令和2年10月13日から令和4年10月12日まで)

令和4年5月20日現在

	氏名	所属
1	えんどう しゅんすけ 遠藤 俊輔	自治医科大学附属さいたま医療センター センター長
2	おおたけ ただし 大竹 忠	市民公募委員
3	かげやま ゆきお 影山 幸雄	埼玉県立がんセンター 病院長
4	かねこ ひさあき 金子 久章	さいたま市歯科医師会 副会長
5	きよた かずや 清田 和也	さいたま赤十字病院 院長
6	くぼち きよし 窪地 淳	さいたま市立病院 名誉院長 経営戦略特命参与
7	こさか はるお 小坂 春生	市民公募委員
8	こやま のりえ 小山 紀枝	Çava! (サヴァ) ～さいたま BEC～ (患者団体)
9	とさか ひであき 登坂 英明	さいたま市4医師会連絡協議会 議長 一般社団法人 浦和医師会 会長
10	のだ まさみつ 野田 政充	一般社団法人 さいたま市薬剤師会 副会長
11	ばば かずあき 馬場 一明	さいたま労働基準監督署 署長
12	はまの ようこ 浜野 洋子	さいたま商工会議所女性会
13	ひらかわ としこう 平川 俊功	東京家政大学 人文学部 心理カウンセリング学科 教授
14	まつだ くみこ 松田 久美子	公益社団法人 埼玉県看護協会 会長
15	みしお みさお 三塩 操	一般社団法人 埼玉県訪問看護ステーション協会 会長

(五十音順、敬称略)

令和4年度第1回さいたま市がん対策推進協議会  
関係課職員名簿

所属	役職	氏名
保健部	部長	杉本 達洋
	副理事	今野 弘美
保健所	所長	青木 龍哉
地域医療課	主査	鈴木 亮司
いきいき長寿推進課	主査	金子 通子
介護保険課	係長	榎本 学
市立病院 患者支援センター	副所長	日向 俊洋
地域保健支援課	課長	清水 雅子
	課長補佐兼係長	池田 玲子
労働政策課	課長補佐兼係長	大城 冬樹
南区役所保健センター	係長	田邊 亜矢子
教育委員会 指導1課	主任指導主事	笛田 透
教育委員会 健康教育課	指導主事	鴨志田 祐子
健康増進課	課長	浅野 昌則
	課長補佐兼係長	永井 敏子
	主査	谷島 由香
	主査	伴田 さち
	主任	中村 恒太

## さいたま市がん対策推進協議会規則

### (趣旨)

第1条 この規則は、さいたま市がん対策の総合的かつ計画的な推進に関する条例（平成26年さいたま市条例第44号）第15条第7項の規定に基づき、さいたま市がん対策推進協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

### (会長)

第2条 協議会に会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。

### (会議)

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 会議の議長は、会長をもって充てる。
- 3 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 4 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 会長が必要と認めるときは、委員以外の者に対し、出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

### (会議の公開)

第4条 協議会の会議は、公開とする。ただし、出席した委員の過半数の同意を得たときは、公開しないことができる。

### (守秘義務)

第5条 協議会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

### (庶務)

第6条 協議会の庶務は、保健福祉局において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

さいたま市がん対策推進計画・進行管理概要



(1)基本方針		がんの予防と早期発見の推進		
(2)目標		がん予防の推進		
(3)分野別施策		がんに関する正しい知識の普及		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>○月1度の体験者対象おしゃべり会</li> <li>○不定期再発転移の方のおしゃべり会</li> <li>○体験者対象のイベント各種</li> <li>○乳がん体験者のためのヨガ(NYOGA)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●乳がん体験者のための運動教室</li> <li>○月1度の体験者対象おしゃべり会</li> <li>○不定期再発転移の方のおしゃべり会</li> <li>○乳がん体験者のためのヨガ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○月1度 体験者対象おしゃべり会</li> <li>○不定期 再発転移の方のおしゃべり会</li> <li>○体験者対象のイベント各種</li> <li>○乳がん体験者のためのヨガ</li> <li>○乳がん体験者のための運動教室</li> </ul>
	事業者	○総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知	○総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知	○総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がん患者のアピアランスケア支援</li> <li>●がんサバイバー</li> <li>●他団体や地域におけるイベント等に参加。教育者としての人材育成を行う</li> <li>○告知後の患者支援</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○がん相談支援センターの活用</li> <li>○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる</li> <li>○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導</li> <li>○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導</li> <li>○がん治療時の医科歯科連携を行い、治療に伴う口腔内合併症を予防する</li> <li>○がん化学療法看護</li> <li>○がん患者のアピアランス</li> <li>○がん患者の退院支援と地域連携</li> <li>○エンド・オブ・ライフ・ケア</li> <li>○看とりにおける看護の役割</li> <li>○口腔がんに関する研修</li> <li>○癌治療における薬薬連携体制の構築</li> <li>○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施(薬物乱用防止、健康フェア)</li> <li>○一般定期健康診断</li> <li>○特定業務従事者に対する健康診断</li> <li>○特殊健康診断</li> <li>○人間ドックの利用費用補助</li> <li>○郵送検診の実施</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成</li> <li>○臨床腫瘍学講義の実施</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○公開講座の開催</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○セカンドオピニオン外来の開設</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○訪問看護師育成プログラム普及</li> <li>○教育ステーション事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がんに関する講話</li> <li>●癌に関する専門薬剤師の育成</li> <li>●がん治療の最前線</li> <li>○がん診療連携セミナーの開催</li> <li>○一般定期健康診断</li> <li>○特定業務従事者に対する健康診断</li> <li>○特殊健康診断</li> <li>○人間ドックの利用費用補助</li> <li>○郵送検診の実施</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成</li> <li>○臨床腫瘍学講義の実施</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○セカンドオピニオン外来の開設</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○告知後の患者支援</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○がん相談支援センターの活用</li> <li>○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる</li> <li>○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導</li> <li>○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導</li> <li>○がん治療時の医科歯科連携を行い、治療に伴う口腔内合併症を予防する</li> <li>○がん患者のアピアランスケア支援</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○がん薬物療法看護</li> <li>○がん性疼痛看護</li> <li>○がん患者のアピアランスケア</li> <li>○がんサバイバー</li> <li>○訪問看護師育成プログラム普及</li> <li>○教育ステーション事業</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○緩和ケア研修会</li> <li>○緩和ケア外来</li> <li>○がん相談</li> <li>○乳がん認定看護師による看護相談</li> <li>○がん関連の情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経口抗がん剤使用患者に対する説明用紙の整備</li> <li>●口腔がんに関する研修</li> <li>○がん診療連携セミナーの開催</li> <li>○一般定期健康診断</li> <li>○特定業務従事者に対する健康診断</li> <li>○特殊健康診断</li> <li>○人間ドックの利用費用補助</li> <li>○郵送検診の実施</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○化学療法研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成</li> <li>○臨床腫瘍学講義の実施</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○公開講座の開催</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○セカンドオピニオン外来の開設</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○がん患者サロン、はなみずき会</li> <li>○告知後の患者支援</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○がん相談支援センターの活用</li> <li>○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる</li> <li>○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導</li> <li>○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導</li> <li>○がん治療時の医科歯科連携を行い、治療に伴う口腔内合併症を予防する</li> <li>○がん患者のアピアランスケア支援</li> <li>○口腔がんに関する研修</li> <li>○口腔がんに関する講話・健診・歯科相談</li> <li>○癌に関する専門薬剤師の育成</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○がん薬物療法看護</li> <li>○がん性疼痛看護</li> <li>○がんサバイバー</li> <li>○がん治療の最前線</li> <li>○訪問看護師育成プログラム普及事業</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○緩和ケア研修会</li> <li>○緩和ケア外来</li> <li>○がん相談</li> <li>○乳がん認定看護師による看護相談</li> <li>○がん関連の情報提供</li> <li>○がん患者サロン</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●がん教育出前講座</li> <li>●けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発</li> <li>●「ババにつくろう！カンタン朝ごはん」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●「リラックスヨガ」教室にて、がんについての講話実施</li> <li>●「みんなあつまれ！親子deたいそう」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●「大人健康倶楽部」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●区役所各課職員におけるピンクリボンの着用による乳がんの啓発</li> <li>○がん検診の個別勧奨はがきの送付</li> <li>○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨</li> <li>○保健学習の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SNSを活用したがん検診の啓発</li> <li>●けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発</li> <li>●乳がん月間の取り組み</li> <li>●中央区Twitterがん検診に関する記事を掲載</li> <li>●区役所ロビーにて、乳がん自己検診法について講話と啓発活動、資料配布</li> <li>●中央区Twitter乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載</li> <li>●中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載</li> <li>○がん教育出前講座</li> <li>○がん対策推進講演会</li> <li>○がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付</li> <li>○さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発</li> <li>○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨</li> <li>○中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架</li> <li>○がん検診受診勧奨</li> <li>○駅前での啓発活動</li> <li>○がん精健未受診フォロー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SNSにてがん検診、禁煙の普及啓発の発信</li> <li>●健康づくり教室にて、がん検診に関する講話の機会を設け、若い世代からのがん予防・がん検診の重要性等の意識づけを図る</li> <li>●Twitterでのがん検診受診、禁煙に関する啓発</li> <li>○がん教育出前講座</li> <li>○がん対策推進講演会</li> <li>○がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付</li> <li>○さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発</li> <li>○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨</li> <li>○中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架</li> <li>○SNSを活用したがん検診の啓発</li> <li>○がん検診受診勧奨</li> <li>○駅前での啓発活動</li> <li>○がん精健未受診フォロー</li> </ul>

## さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

- 健康教育(がん教育等)研究委嘱
- 各学校でのがん教育の取組の支援
- 文部科学省主催研修会 参加
- がん検診受診勧奨
- がん精健未受診者フォロー(女性のがん)
- 健康相談(随時)
- エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布
- がん検診精密検査未受診者フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)
- 区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発
- がん検診ポスターや横断幕の設置
- 健康教室での教育・啓発活動
- 大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発
- 教室の中でのがん検診受診勧奨
- 展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置
- 児童センター依頼教育にて、乳がん自己検診法について講話実施
- 保健センター窓口で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布。
- 市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載。
- 各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発
- 区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発
- 保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発
- がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発
- 女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発
- 保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発
- 地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明
- 庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診に関する啓発媒体の展示
- 禁煙相談の実施
- 体組成測定会でがん予防・検診に関するPR
- 成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義
- さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載
- 乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施
- 区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置
- 保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発
- 岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示
- 区主催事業での啓発

市

- がん精健未受診フォロー
- 健康相談
- エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布
- 健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定
- がん検診精密検査未受診フォロー
- 区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発
- がん検診ポスター等の設置
- 健康教室での教育・啓発活動
- 大宮区主催のイベントでの啓発活動
- 大宮区役所内でのちらし配布・パネル設置などの普及啓発
- 大宮高島屋、大宮区役所での館内放送によるがん検診受診勧奨
- 教室の中でのがん検診受診勧奨
- 展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置
- 保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布
- 市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載
- 禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布
- 市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載
- 保健センター窓口で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布
- 保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施
- 市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載
- 体組成測定会にがん検診啓発パンフレットを配布
- がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に区役所・プラザウエスタの階段に、がんに関する健康クイズを掲示
- ロビーコンサートにて、女性のがんについての啓発ポケットティッシュ配布
- 各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発
- 区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発
- 保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発
- 女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発
- 保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発
- 地区依頼教育での乳がん検診の説明
- 庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示
- 禁煙相談の実施
- 成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義
- さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載
- 乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施
- 区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載
- 区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置
- 保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発
- 岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示
- 区主催事業での啓発
- 保健学習の実施
- 健康教育研究委嘱
- 各学校でのがん教育の取組の支援
- 文部科学省主催研修会 参加

- 健康相談
- 乳がんについての講話
- エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布
- 健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定
- 子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験
- けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発
- がん検診精密検査未受診フォロー
- 区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発
- がん検診ポスターやのぼり旗の設置
- 大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨
- 健康教室での教育・啓発活動
- 大宮区主催のイベントでの啓発活動
- 大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発
- 保健センター主催教室・健康相談でのがん検診受診勧奨
- 展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置
- 乳がん月間の取り組み
- 見沼区ふれあいフェアで乳がんモデルでの自己検診法体験実施
- 保健センター主催教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施
- 保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布
- 区民まつり参加者にがん検診受診勧奨啓発品配布
- 市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載
- 中央区Twitterにがん検診に関する記事を掲載
- 児童センター依頼教育にて、乳がん自己検診法について講話実施
- 区役所ロビーおよび協力が得られた区内施設にて、乳がん予防啓発についての資料の掲示と配布
- 市報中央区版に乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載
- 中央区Twitterに乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載
- 保健センター主催教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施
- 禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布
- 市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載
- 中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載
- 区役所内にて、がん検診受診勧奨・禁煙のポスター、パンフレット等設置
- 健康教室等でのがん検診受診勧奨・がん予防、禁煙の啓発
- 区民まつり・ロビーコンサートでのがん検診受診と禁煙の普及啓発リーフレット・ポケットティッシュ配布
- 各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発
- 健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発
- 浦和区健康まつりにて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発
- 女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発
- 乳がん月間において、ピンクリボン及び啓発メッセージ入りの区役所職員用名札の作成・着用
- Twitterや市報において、がんに関する知識の普及啓発
- 保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発
- 地区依頼教育での乳がん検診の説明
- 庁舎内啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示
- 禁煙相談の実施
- 体組成測定会でがん予防・検診受診に関するPR
- 成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義
- 緑区区民まつりにおけるがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布など
- さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載
- 乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施
- 区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載
- 区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置
- 保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発
- 岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示
- 区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験
- 区主催事業での啓発
- 保健学習の実施
- 各学校でのがん教育の取組の支援
- 文部科学省主催研修会 参加



さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(4) 評価指標		ベースライン	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
75歳未満のがんの年齢調整死亡率 (人口10万対)	全体 (男性・女性)	79.6 (H25)	下がる	<u>67.66(R1)</u>	未公表	
	男性	100.3 (H25)	下がる	<u>83.17(R1)</u>	未公表	
	女性	59.9 (H25)	下がる	<u>53.19(R1)</u>	未公表	
(モニタリング) SMR(標準化死亡率比全国を1としたとき)	男性	0.93 (H20-24)	—	<u>0.96(H27~R1)</u>	未公表	
	女性	0.95 (H20-24)	—	<u>0.97(H27~R1)</u>	未公表	
特定健康診査の受診率	35.1% (H26)	60%以上		<u>38.0%(R1)</u>	<u>32.1%(R2)</u>	
特定保健指導の実施率	31.1% (H26)	60%以上		<u>31.1%(R1)</u>	<u>31.7%(R2)</u>	
毎日、三食野菜を食べている人の割合	16歳未満	29.1% (H23)	増える		<u>37.7%</u>	
	40~64歳男性	21.7% (H23)	30%以上		<u>18.8%</u>	
	40~64歳女性	28.2% (H23)	30%以上		<u>28.0%</u>	
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合	56.6% (H24)	65%以上			<u>58.5%</u>	
生活習慣のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合  (1日当たりの純アルコール摂取量 男性60g 女性20g)	成人男性	4.9% (H24)	2.8%以下		<u>7.1%</u>	
	成人女性	19.7% (H24)	6.4%以下		<u>25.3%</u>	
	40歳代男性	8.8% (H24)	4.6%以下		<u>10.4%</u>	
	50歳代男性	10.0% (H24)	5.8%以下		<u>9.1%</u>	
	20~30歳代女性 (60g以上)	4.6% (H24)	0.2%以下		<u>2.6%</u>	
1日1時間以上歩く人の割合	男性	34.0% (H24)	44%以上		<u>34.0%</u>	
	女性	29.0% (H24)	38%以上		<u>26.1%</u>	
運動習慣のある人の割合(30分、週2回以上の運動を継続している人)	男性	31.0% (H24)	41%以上		<u>33.9%</u>	
	女性	25.6% (H24)	35%以上		<u>23.8%</u>	
	20~64歳男性	21.8% (H24)	32%以上		<u>29.7%</u>	
	20~64歳女性	19.9% (H24)	30%以上		<u>19.1%</u>	
	65歳以上男性	38.1% (H24)	48%以上		<u>30.4%</u>	
65歳以上女性	32.9% (H24)	43%以上		<u>30.8%</u>		
主な成果・課題				<p>集合形式のイベントは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止を余儀なくされるものが多かった。規模を縮小したりオンラインを活用するなど、各団体とも工夫を凝らし、活動を継続した。</p> <p>オンラインの活用については、遠方にいる方が参加できるようになる新たな成果が見られ、コロナ終息後も継続が望まれる一方、開催側、参加者側ともにハードの整備やICTに対する知識の習得といった課題も生じている。</p>	<p>オンラインを積極的に活用する団体が多くみられ、SNSなどのツールを利用し取組の幅を広げることで、新たな層に向けて情報を発信し、正しい知識を普及させることができた。</p> <p>一方でオンラインでの実施は、セキュリティやコストについて考慮の必要がある。オンラインのメリット、デメリットを把握し、取組の目的に合致した効果が得られるか予測した上で、利用方法を検討することが課題である。</p>	

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がんの予防と早期発見の推進
(2)目標	がん予防の推進
(3)分野別施策	受動喫煙の防止と禁煙

		令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
取組事例	市民			
	事業者		<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知</li> <li>○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知</li> <li>○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知</li> </ul>
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病院内および敷地内の全面禁煙</li> <li>○職場巡視における喫煙状況調査の実施</li> <li>○敷地内全面禁煙</li> <li>○禁煙外来の開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病院内および敷地内の全面禁煙</li> <li>○職場巡視における喫煙状況調査の実施</li> <li>○敷地内全面禁煙</li> <li>○禁煙外来の開設</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施</li> <li>○禁煙外来の受診勧奨</li> <li>○病院敷地内での禁煙措置</li> <li>○院内・敷地内での全面禁煙</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病院内および敷地内の全面禁煙</li> <li>○職場巡視における喫煙状況調査の実施</li> <li>○敷地内全面禁煙</li> <li>○禁煙外来の開設</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施</li> <li>○禁煙外来の受診勧奨</li> <li>○病院敷地内での禁煙措置</li> <li>○院内・敷地内での全面禁煙</li> </ul>
	市	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がん教育出前講座</li> <li>●公用自転車に受動喫煙のポスターを張り付け普及啓発を実施</li> <li>●「パパにつくろう！カンタン朝ごはん」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●「みんなあつまれ！親子deたいそう」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●「大人健康倶楽部」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>○禁煙外来リスト配布及び第3版の作成</li> <li>○保健学習の実施</li> <li>○がん検診受診勧奨</li> <li>○禁煙週間の取り組み(特設コーナーの設置、広報誌等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発活動)</li> <li>○禁煙相談</li> <li>○禁煙週間に保健センター窓口やプラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布、区役所内エレベーター・階段で健康クイズを掲示</li> <li>○市報桜区版に禁煙の効果についての記事を掲載</li> <li>○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発</li> <li>○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発</li> <li>○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発</li> <li>○地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明</li> <li>○庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診に関する啓発媒体の展示</li> <li>○サウスピア7階の窓ガラス(武蔵浦和駅側)に、禁煙を促すキャッチコピーを掲示</li> <li>○禁煙相談の実施</li> <li>○体組成測定会でがん予防・検診に関するPR</li> <li>○禁煙に関する啓発(母子健康手帳交付時のポケットティッシュ配布・自転車のカゴに禁煙を促す看板を設置する等)</li> <li>○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置</li> <li>○区報へのがん検診受診勧奨と禁煙記事の掲載</li> <li>○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置</li> <li>○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発</li> <li>○岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示</li> <li>○区主催事業での啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受動喫煙対策ポスターを作成し、市内全ての指定喫煙場所に掲示</li> <li>●中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載</li> <li>○がん教育出前講座</li> <li>○がん検診受診勧奨</li> <li>○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定</li> <li>○公用自転車に受動喫煙のポスターを張り付け普及啓発を実施</li> <li>○禁煙週間の取り組み</li> <li>○禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配架</li> <li>○市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載</li> <li>○禁煙週間に保健センター窓口やプラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。区役所内エレベーター・階段で健康クイズを掲示</li> <li>○市報桜区版に禁煙の効果についての記事を掲載</li> <li>○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発</li> <li>○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発</li> <li>○地区依頼教育での乳がん検診の説明</li> <li>○庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示</li> <li>○禁煙相談の実施</li> <li>○サウスピア7階の窓ガラスに、禁煙を促すキャッチコピーを掲示</li> <li>○受動喫煙に関する啓発</li> <li>○血圧測定コーナーへがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置</li> <li>○区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載</li> <li>○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置</li> <li>○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発</li> <li>○区主催事業での啓発</li> <li>○保健学習の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受動喫煙防止啓発チラシを作成し、市内の自治会に回覧</li> <li>●SNSにてがん検診、禁煙の普及啓発の発信</li> <li>●健康づくり教室にて、がん検診に関する講話の機会を設け、若い世代からのがん予防・がん検診の重要性等の意識づけを図る</li> <li>●Twitterでのがん検診受診、禁煙に関する啓発</li> <li>○がん教育出前講座</li> <li>○がん検診受診勧奨</li> <li>○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定</li> <li>○子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験</li> <li>○禁煙週間の取り組み</li> <li>○保健センター主催教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施</li> <li>○禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布</li> <li>○市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載</li> <li>○中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載</li> <li>○区役所内にて、がん検診受診勧奨・禁煙のポスター、パンフレット等設置</li> <li>○区報によるがん検診受診勧奨・禁煙の啓発記事の掲載</li> <li>○健康教室等でのがん検診受診勧奨・がん予防、禁煙の啓発</li> <li>○保健センター窓口にて禁煙指導用肺モデル、タールサンプルの設置</li> <li>○禁煙週間に保健センター窓口にて啓発用ポケットティッシュの配布</li> <li>○区民まつり・ロビーコンサートでのがん検診受診と記念の普及啓発リーフレット・ポケットティッシュ配布</li> <li>○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○浦和区健康まつりにて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発</li> <li>○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発</li> <li>○地区依頼教育での乳がん検診の説明</li> <li>○庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示</li> <li>○禁煙相談の実施</li> <li>○受動喫煙に関する啓発</li> <li>○血圧測定コーナーへがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置</li> <li>○区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載</li> <li>○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置</li> <li>○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発</li> <li>○区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験</li> <li>○区主催事業での啓発</li> <li>○保健学習の実施</li> </ul>

取組事例

●新規事業

○継続事業

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(4)評価指標		ベースライン	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受動喫煙の機会を有する人の割合	行政機関	2.3% (H24)	0%		0.9%	
	医療機関	1.2% (H24)	0%		0.6%	
	職場	20.5% (H24)	受動喫煙のない職場の実現		12.7%	
	家庭	17.6% (H24)	3%以下		14.0%	
	飲食店	36.8% (H24)	15%以下		8.4%	
	学校	2.7% (H24)	小学校、中学校、高校は0% それ以外は受動喫煙のない環境		0.8%	
	遊技場	11.5% (H24)	減らす		3.8%	
成人の喫煙率	成人男性	24.8% (H24)	18%以下		19.7%	
	成人女性	9.3% (H24)	5%以下		6.4%	
未成年者の喫煙率		1.5% (H24)	なくす		0.7%	
主な成果・課題				<p>受動喫煙の防止と禁煙について、施設内全面禁煙の取組の他、掲示、市報を利用した方法に加えて教育現場や親子参加型のイベントでの周知が行われ、大人だけでなく幅広い世代に情報発信がされた。 がん教育推進の観点からも、今後も引き続き子ども世代も対象とした取組が求められる。</p>	<p>令和2年4月1日に改正健康増進法が全面施行されたことを背景に、各施設における受動喫煙の機会を有する人の割合が減少した。イベントでの周知は一部中止となった取組もあるが、禁煙外来や禁煙相談などの取組は継続して実施したことに加え、市内指定喫煙所へのポスター設置やSNSへの記事掲載など、これまで行わなかった方法で啓発を実施した。これにより新たなターゲットへアプローチしたことで受動喫煙の防止と禁煙を進めることができた。 今後も様々な方法を検討し、より多くの世代に伝わる取組を継続することが重要である。</p>	

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がんの予防と早期発見の推進		
(2)目標	がんの早期発見の推進		
(3)分野別施策	がん検診の受診率の向上		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民		
	事業者	○総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知	○総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知
	保健医療関係者	○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○公開講座の開催 ○がん検診の実施及び受診勧奨	●さいたま市版お薬手帳の作成 ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○公開講座の開催 ○がん検診の実施及び受診勧奨 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○がん検診
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がん教育出前講座</li> <li>●けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発</li> <li>●「パパにつくろう！カンタン朝ごはん」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●「リラックスヨガ」教室にて、がんについての講話実施</li> <li>●「みんなあつまれ！親子deたいそう」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●「大人健康倶楽部」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●区役所各課職員におけるピンクリボンの着用による乳がんの啓発</li> <li>○がん対策推進講演会</li> <li>○がん検診対象初年度無料事業制度の実施</li> <li>○がん検診の個別勧奨はがきの送付</li> <li>○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨</li> <li>○がん検診受診勧奨</li> <li>○がん精健未受診者フォロー(女性のがん)</li> <li>○健康相談(随時)</li> <li>○育児学級・離乳食教室でがん検診受診勧奨のポケットティッシュ配布</li> <li>○エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布</li> <li>○がん検診精密検査未受診者フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)</li> <li>○区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発</li> <li>○がん検診ポスターや横断幕の設置</li> <li>○健康教室での教育・啓発活動</li> <li>○大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発</li> <li>○教室の中でのがん検診受診勧奨</li> <li>○ポケットティッシュの配布</li> <li>○展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置</li> <li>○がん検診の啓発品(ボールペン・ハンカチ等)の作成・配布</li> <li>○児童センター依頼教育にて、乳がん自己検診法について講話実施</li> <li>○保健センター窓口で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布。</li> <li>○市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載。</li> <li>○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発</li> <li>○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発</li> <li>○女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発</li> <li>○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発</li> <li>○地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明</li> <li>○庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診に関する啓発媒体の展示</li> <li>○体組成測定会でがん予防・検診に関するPR</li> <li>○成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義</li> <li>○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置</li> <li>○さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載</li> <li>○乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施</li> <li>○区報へのがん検診受診勧奨と禁煙記事の掲載</li> <li>○区内各施設にて、がん検診受診勧奨ポスターの掲示</li> <li>○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置</li> <li>○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発</li> <li>○岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SNSを活用したがん検診の啓発</li> <li>●けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発</li> <li>●乳がん月間の取り組み</li> <li>●中央区Twitterにがん検診に関する記事を掲載</li> <li>●区役所ロビーにて、乳がん予防・早期発見について講話と啓発活動、資料配布</li> <li>●中央区Twitterに乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載</li> <li>○がん教育出前講座</li> <li>○がん検診対象初年度無料事業制度の実施</li> <li>○がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付</li> <li>○さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発</li> <li>○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨</li> <li>○中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架</li> <li>○がん検診受診勧奨</li> <li>○がん精健未受診者フォロー</li> <li>○健康相談</li> <li>○育児学級・離乳食教室でがん検診受診勧奨のポケットティッシュ配布</li> <li>○エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布</li> <li>○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定</li> <li>○がん検診精密検査未受診者フォロー</li> <li>○区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発</li> <li>○がん検診ポスター等の設置</li> <li>○健康教室での教育・啓発活動</li> <li>○大宮区役所内でのちらし配布・パネル設置などの普及啓発</li> <li>○大宮高島屋、大宮区役所での館内放送によるがん検診受診勧奨</li> <li>○教室の中でのがん検診受診勧奨</li> <li>○ポケットティッシュの配布</li> <li>○展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置</li> <li>○がん検診の啓発品の作成・配布</li> <li>○保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布</li> <li>○市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載</li> <li>○保健センター窓口で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布</li> <li>○保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施</li> <li>○市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載</li> <li>○体組成測定会にがん啓発パンフレットを配布</li> <li>○がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に区役所・プラザウエストの階段に、がんに関する健康クイズを掲示</li> <li>○ロビーコンサートにて、女性のがんについての啓発ポケットティッシュ配布</li> <li>○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発</li> <li>○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発</li> <li>○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発</li> <li>○地区依頼教育での乳がん検診の説明</li> <li>○庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示</li> <li>○成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義</li> <li>○血圧測定コーナーへがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置</li> <li>○さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康づくり教室にて、がん検診に関する講話の機会を設け、若い世代からのがん予防・がん検診の重要性等の意識づけを図る</li> <li>●Twitterでのがん検診受診、禁煙に関する啓発</li> <li>○がん教育出前講座</li> <li>○がん検診対象初年度無料事業制度の実施</li> <li>○がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付</li> <li>○さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発</li> <li>○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨</li> <li>○中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架</li> <li>○SNSを活用したがん検診の啓発</li> <li>○がん検診受診勧奨</li> <li>○駅前での啓発活動</li> <li>○がん精健未受診者フォロー</li> <li>○健康相談</li> <li>○乳がんについての講話</li> <li>○育児学級・離乳食教室でがん検診受診勧奨のポケットティッシュ配布</li> <li>○エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布</li> <li>○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定</li> <li>○子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験</li> <li>○けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発</li> <li>○がん検診精密検査未受診者フォロー</li> <li>○区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発</li> <li>○がん検診ポスターやのぼり旗の設置</li> <li>○大宮高島屋館内放送によるがん検診受診勧奨</li> <li>○健康教室での教育・啓発活動</li> <li>○大宮区主催のイベントでの啓発活動</li> <li>○大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発</li> <li>○保健センター主催教室・健康相談でのがん検診受診勧奨</li> <li>○展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置</li> <li>○乳がん月間の取り組み</li> <li>○保健センター主催教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施</li> <li>○保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布</li> <li>○区民まつり参加者にがん検診受診勧奨啓発品配布</li> <li>○市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載</li> <li>○中央区Twitterにがん検診に関する記事を掲載</li> <li>○区役所内にて、がん検診受診勧奨・禁煙のポスター、パンフレット等設置</li> <li>○区報によるがん検診の受診勧奨・記念の啓発記事の掲載</li> <li>○区民まつり・ロビーコンサートでのがん検診受診と禁煙の普及啓発リーフレット・ポケットティッシュ配布</li> <li>○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○浦和区健康まつりにおいて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発</li> <li>○女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発</li> <li>○乳がん月間において、ピンクリボン及び啓発メッセージ入りの区役所職員用名札の作成・着用</li> <li>○Twitterや市報において、がんに関する知識の普及啓発</li> <li>○保健センター主催の生活習慣病予防教室でのがん検診受診の啓発</li> <li>○地区依頼教育での乳がん検診の説明</li> <li>○庁舎内の啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示</li> </ul>

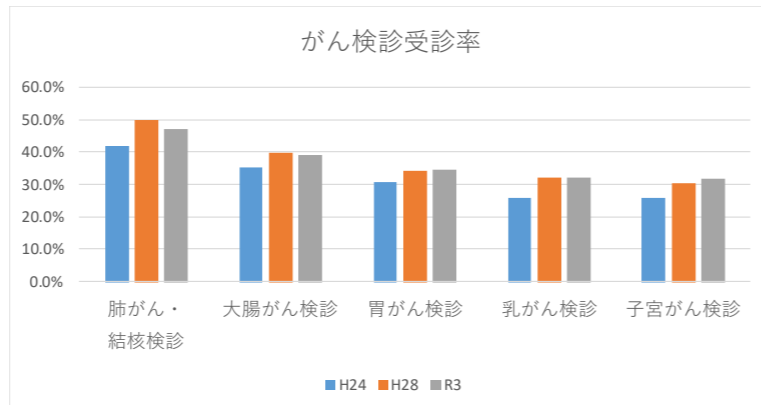
さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

			○区主催事業での啓発	○乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施 ○区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載 ○区内各施設にて、がん検診受診勧奨ポスターの掲示 ○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置 ○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発 ○岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示 ○区主催事業での啓発	○体組成測定会でがん予防・検診受診に関するPR ○成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義 ○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置 ○緑区区民まつりにおけるがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布など ○さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載 ○乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施 ○区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載 ○区内各施設にて、がん検診受診勧奨ポスターの掲示 ○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置 ○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発 ○岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示 ○区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験 ○区主催事業での啓発	
(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
がん検診受診率	肺がん検診	33.8% (H26)	40%以上	28.5%	未公表	
	大腸がん検診	31.1% (H26)	40%以上	25.1%	未公表	
	胃がん検診	23.9% (H26)	40%以上	19.8%	未公表	
	乳がん検診	23.6% (H26)	40%以上	19.1%	未公表	
	子宮がん検診	30.3% (H26)	40%以上	26.7%	未公表	
主な成果・課題			検診費用の補助や啓発品による周知等、前年度からの継続的な取組が実施されていたが、いずれの検診も受診率が低下した。コロナ禍においても、感染防止対策を講じたり郵送検診を実施したりするなど受診しやすい環境を整備するとともにがんの早期発見の重要性を唱え、受診を促す必要がある。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に見合わせた取組を再開したり、新たな方法でがん検診受診勧奨を行ったりするなど、各団体ともがん検診の受診率向上に向け積極的に取り組んだが、令和3年度も新型コロナウイルスの流行前と比較すると、受診者数が減少傾向にあると予測される。安心して受診できるよう基本的な感染対策を行い受診環境を整備するとともに、感染状況に応じた啓発活動を行い、受診率向上に繋げる必要がある。		

【参考】さいたま市健康づくり及び食育についての調査 結果報告書(令和4年2月)より  
 調査地域: 市内全域  
 調査対象者: 市内在住の15歳以上の男女各2,500人 計5,000人  
 調査期間: 令和3年6月21日～令和3年7月16日

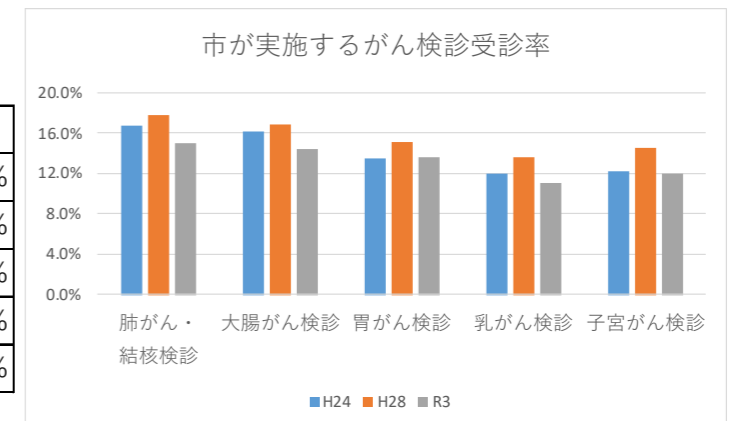
最近1年以内にごがん検診を受けた人の割合

	H24	H28	R3
肺がん・結核検診	42.1%	49.9%	47.3%
大腸がん検診	35.2%	39.8%	39.4%
胃がん検診	31.0%	34.4%	34.7%
乳がん検診	26.1%	32.1%	32.4%
子宮がん検診	25.9%	30.7%	31.9%



最近1年以内に市が実施するがん検診を受けた人の割合

	H24	H28	R3
肺がん・結核検診	16.8%	17.8%	15.1%
大腸がん検診	16.2%	16.9%	14.5%
胃がん検診	13.5%	15.2%	13.7%
乳がん検診	12.0%	13.7%	11.1%
子宮がん検診	12.2%	14.6%	12.0%



さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針		がんの予防と早期発見の推進					
(2)目標		がんの早期発見の推進					
(3)分野別施策		がん検診の質の向上					
				令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)	
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民						
	事業者						
	保健医療関係者	○がん検診の実施及び受診勧奨		○がん検診の実施及び受診勧奨 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充		●さいたま市版お薬手帳の作成 ○がん検診の実施及び受診勧奨 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充	
	市	○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○がん検診精密検査未受診者フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)		○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○がん検診精密検査未受診者フォロー		●Twitterでのがん検診受診、禁煙に関する啓発 ○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○がん検診精密検査未受診者フォロー ○がん検診精密検査未受診者フォロー	
(4)評価指標		ベースライン	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
がん検診精密検査受診者の割合	肺がん検診	77.5% (H25)	90%以上	80.4%(R1)	未公表		
	大腸がん検診	68.36% (H25)	90%以上	68.0%(R1)	未公表		
	胃がん検診	79.09% (H25)	90%以上	95.7%(R1)	未公表		
	乳がん検診	90.43% (H25)	90%以上	91.5%(R1)	未公表		
	子宮がん検診	73.2% (H25)	90%以上	78.6%(R1)	未公表		
主な成果・課題		子宮がん検診が低下したように感じられるが、ベースラインの73.2%から比較すると長期的には増加の傾向にある。 これまでの実績と同様、部位により精密検査受診率に差が見られるため、特に受診率の低いものをターゲットとした指導・啓発活動の強化について検討の必要がある。		新型コロナウイルス感染症の影響により、がん検診受診率と同様に、がん検診精密検査受診者の割合も減少が懸念される。 コロナ禍においても継続してがん検診精密検査未受診者のフォローを行い、対象者へ精密検査の重要性を伝え、がん検診精密検査受診者の割合増加に努める必要がある。			

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(3)分野別施策	在宅医療の推進				
取組事例 ●新規事業 ○継続事業			令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
	市民				
	事業者				
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○退院調整看護師の活用</li> <li>○さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携</li> <li>○がん患者の退院支援と地域連携</li> <li>○看とりにおける看護の役割</li> <li>○癌治療における薬業連携体制の構築</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> <li>○在宅医療・緩和ケアに関する研修会の開催</li> <li>○訪問看護師育成プログラム普及</li> <li>○訪問看護ステーション体験実習</li> <li>○訪問看護ST経営サポート</li> <li>○コールセンターの設置・運営</li> <li>○教育ステーション事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●癌に関する専門薬剤師の育成</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○退院調整看護師の活用</li> <li>○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> <li>○在宅医療・緩和ケアに関する研修会の開催</li> <li>○癌治療における薬業連携体制の構築</li> <li>○在宅医療支援薬局リストの改訂</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○訪問看護師育成プログラム普及</li> <li>○訪問看護ステーション体験実習</li> <li>○訪問看護ステーション経営サポート</li> <li>○コールセンターの設置・運営</li> <li>○教育ステーション事業</li> <li>○退院調整看護師との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●緩和ケアに関する連携体制の構築</li> <li>●さいたま市版お薬低調の作成</li> <li>●訪問看護管理者研修</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○退院調整看護師の活用</li> <li>○さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携</li> <li>○大宮在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> <li>○在宅医療・緩和ケアに関する研修会及び勉強会の開催</li> <li>○癌治療における薬業連携体制の構築</li> <li>○在宅医療支援薬局リストの改訂</li> <li>○癌に関する専門薬剤師の育成</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○訪問看護師育成プログラム普及事業</li> <li>○訪問看護ステーション体験実習</li> <li>○訪問看護ステーション経営サポート</li> <li>○コールセンターの運営</li> <li>○教育ステーション事業</li> <li>○退院調整看護師、地域連携室との連携</li> </ul>	
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅医療・介護連携に関する相談支援</li> <li>○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討</li> <li>○医療・介護関係者の情報共有の支援</li> <li>○切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金の交付</li> <li>○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討</li> <li>○医療・介護関係者の研修</li> <li>○地域住民への普及啓発</li> <li>○医療・介護関係者の情報共有の支援</li> <li>○切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進</li> <li>○在宅医療・介護連携に関する相談支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金の交付</li> <li>○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討</li> <li>○医療・介護関係者の研修</li> <li>○地域住民への普及啓発</li> <li>○医療・介護関係者の情報共有の支援</li> <li>○切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進</li> <li>○在宅医療・介護連携に関する相談支援</li> </ul>		
(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
(モニタリング) 在宅療養支援診療所・病院数	70 (H25)	—	212	224	
(モニタリング) がん患者の在宅看取り率	12.3 (H25)	—	21.2(R1)	未公表	
在宅療養を支える関係機関における研修や会議等を開催する団体数	—	増える	7	8	
主な成果・課題	<p>新型コロナウイルス感染防止のため、在宅医療、介護についての集合形式の研修や普及啓発活動が見送られる一方で、病院や施設で面会制限が設けられたことから在宅療養を希望する患者もおり、在宅医療の需要はコロナ禍においても継続してあった。          今後は集合形式の研修が実施不可の場合でも研修等の必要な取組は実施できるよう、オンラインの活用など新たな方法の模索が課題である。</p>			<p>令和2年度はコロナ禍により中止された研修や講演会等もオンラインを活用し実施された。また、がん患者の在宅療養を支援するため、新規事業としてがんに関する専門薬剤師の育成や若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金の交付といった取組が開始された。これらの取組によって、在宅療養を希望する患者が療養先を検討する上で、以前に比べ在宅を選択しやすくなったと考えられる。          新たに開始された取組について、より効果的な取組とするため、内容を精査していく必要がある。</p>	

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(3)分野別施策	緩和ケアの充実				
取組事例 ●新規事業 ○継続事業			令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
	市民				
	事業者				
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がん患者のアピアランスケア支援</li> <li>○緩和ケアチーム合同カンファレンス</li> <li>○告知後の患者支援</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる</li> <li>○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導</li> <li>○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導</li> <li>○エンド・オブ・ライフ・ケア</li> <li>○癌治療に関する薬剤師の研修会</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の育成</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> <li>○在宅医療・緩和ケアに関する研修会の開催</li> <li>○教育ステーション事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●癌に関する専門薬剤師の育成</li> <li>●人生会議相談窓口の設置</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○緩和ケアチーム合同カンファレンス</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○告知後の患者支援</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる</li> <li>○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導</li> <li>○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導</li> <li>○がん患者のアピアランスケア支援</li> <li>○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> <li>○在宅医療・緩和ケアに関する研修会の開催</li> <li>○さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会出席</li> <li>○癌治療における薬業連携体制の構築</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○地域寄り添うためのコミュニケーションに特化した研修会の開催</li> <li>○がん性疼痛看護</li> <li>○教育ステーション事業</li> <li>○専門医による緩和ケアに関するがんカウンセリング</li> <li>○緩和ケアチームによる院内ラウンド</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○緩和ケア研修会</li> <li>○緩和ケア外来</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○緩和ケア研修会開催</li> <li>○人生会議相談窓口の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●緩和ケアに関する連携体制の構築</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○緩和ケアチーム合同カンファレンス</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○告知後の患者支援</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる</li> <li>○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導</li> <li>○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導</li> <li>○がん患者のアピアランスケア支援</li> <li>○大宮在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> <li>○在宅医療・緩和ケアに関する研修会及び勉強会の開催</li> <li>○さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会出席</li> <li>○癌治療における薬業連携体制の構築</li> <li>○癌に関する専門薬剤師の育成</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○がん性疼痛看護</li> <li>○専門医による緩和ケアに関するがんカウンセリング</li> <li>○緩和ケアチームによる院内ラウンド</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○緩和ケア研修会</li> <li>○緩和ケア外来</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○緩和ケア研修会開催</li> <li>○人生会議相談窓口の設置</li> </ul>	
	市				
(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
院外における活動を実施する緩和ケアチーム数	—	増える	3チーム(市内の地域がん診療連携拠点病院)	3チーム(市内の地域がん診療連携拠点病院)	
主な成果・課題			<p>がん患者のアピアランスケア支援を実施する団体が増えた。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止のため、緩和ケア研修会等を中止した団体が多かったが、患者から緩和ケアのバッチをつけている医師を見ると安心するという声が聞かれる等、緩和ケアについての市民の理解は深まってきている。</p> <p>今後も継続した緩和ケアに関する市民の理解を促進する取組とともに、コロナ禍においても医療従事者に向けた研修会等を実施できる体制づくりが必要である。</p>	<p>令和3年度から市内の埼玉県がん診療指定病院からも取組実績が情報共有されたことで、市内の医療機関において、緩和ケア研修会や緩和ケア外来など、緩和ケアを充実すべく様々な活動を行っていることが把握できた。これにより、より一層の緩和ケアの充実に向け、各団体が共有した情報を元に、取組を効果的なものに改善していく足がかりができた。</p> <p>今後は緩和ケアに関わる多職種に取組を広げ、よりよいケアの在り方を検討していく必要がある。</p>	



さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標	がん患者の状況に応じた支援体制の充実				
(3)分野別施策	相談支援体制の活用				
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)	
	事業者	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)	
	保健医療関係者	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)	
	市	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)	
(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
地域(全国)がん登録により明らかになった罹患率及び生存率等の情報提供の実施状況	—	実施する	地域がん登録の情報について埼玉県がまとめた「埼玉県のがん2016」について、市ホームページで情報提供を実施。	地域がん登録の情報について埼玉県がまとめた「埼玉県のがん2017」について、市ホームページで情報提供を実施。	
主な成果・課題			新型コロナウイルス感染防止のため、がんサロンや就労相談会を中止した団体が多かったが、電話相談や個別相談を継続し、昨年度より相談件数が増加した団体も見られた。相談内容は就労相談やアピアランスケアの他、社会との繋がりへの不安について精神的なサポートの必要性も認められた。患者のニーズに合った相談支援体制を確立するため、各団体の成果の共有が重要である。	がん相談については継続して実施されているが、令和2年度と同様に、新型コロナウイルス感染防止のため、がんサロンは中止した団体が多かった。がん相談ではコロナ禍による面会制限や治療に伴う感染リスク等、治療中の不安について相談が寄せられ、相談窓口が活用されている実態はあるが、患者や家族からは直接会って話をするがんサロンの開催を要望する声もある。より一層相談支援体制が活用されるためには、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、患者や家族の要望に沿った形で相談ができる様々な場を用意することが必要である。	

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上			
(2)目標	がん患者の状況に応じた支援体制の充実			
(3)分野別施策	情報提供の充実			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民			
	事業者	○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知 ○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知	○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知 ○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知	○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知 ○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がんゲノム医療 体制整備・実施</li> <li>●がん患者のアピアランスケア支援</li> <li>●在宅医療支援薬局リストの改訂</li> <li>●他団体や地域におけるイベント等に参加。教育者としての人材育成を行う</li> <li>○がん相談</li> <li>○アピアランスケア</li> <li>○社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会(就労支援)</li> <li>○がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書の整備</li> <li>○就労支援</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成</li> <li>○臨床腫瘍学講義の実施</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○公開講座の開催</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○おしごと継続・就労相談会の開催</li> <li>○院内がん登録の公表</li> <li>○がん相談支援センターの開設</li> <li>○セカンドオピニオン外来の開設</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○コールセンターの設置・運営</li> <li>○教育ステーション事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●癌に関する専門薬剤師の育成</li> <li>●がん治療の最前線</li> <li>○がん相談</li> <li>○社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会</li> <li>○がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書の整備</li> <li>○がんゲノム医療</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成</li> <li>○臨床腫瘍学講義の実施</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○おしごと継続・就労相談会の開催</li> <li>○院内がん登録の公表</li> <li>○がん相談支援センターの開設</li> <li>○セカンドオピニオン外来の開設</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○就労支援</li> <li>○がん患者のアピアランスケア支援</li> <li>○さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会出席</li> <li>○癌治療における薬薬連携体制の構築</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施</li> <li>○地域寄り添うためのコミュニケーションに特化した研修会の開催</li> <li>○コールセンターの設置・運営</li> <li>○教育ステーション事業</li> <li>○がん関連の情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経口抗がん剤使用患者に対する説明用紙の整備</li> <li>●緩和ケアに関する連携体制の構築</li> <li>●さいたま市版お薬手帳の作成</li> <li>●がん患者会の開催</li> <li>○がん相談</li> <li>○がんサロン・アピアランスケア</li> <li>○社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会</li> <li>○がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書の整備</li> <li>○がんゲノム医療</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○化学療法研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成</li> <li>○臨床腫瘍学講義の実施</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○公開講座の開催</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○おしごと継続・就労相談会の開催</li> <li>○院内がん登録の公表</li> <li>○がん相談支援センターの開設</li> <li>○セカンドオピニオン外来の開設</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○就労支援</li> <li>○がん患者のアピアランスケア支援</li> <li>○さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会の開催</li> <li>○癌治療における薬薬連携体制の構築</li> <li>○癌に関する専門薬剤師の育成</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施</li> <li>○がん治療の最前線</li> <li>○訪問看護師育成プログラム普及事業</li> <li>○訪問看護ステーション経営サポート</li> <li>○がん相談</li> <li>○乳がん認定看護師による看護相談</li> <li>○がん関連の情報提供</li> <li>○がん患者サロン</li> </ul>
	市	○医療用ウィッグ・サポート店一覧の掲載 ○「医療なび」の周知 ○がん検診ポスターや横断幕の設置 ○健康教室での教育・啓発活動 ○大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発 ○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発 ○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発 ○がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発	○がん対策推進講演会 ○市ホームページに医療用ウィッグ・サポート店一覧を掲載 ○「医療なび」の周知 ○がん検診ポスター等の設置 ○健康教室での教育・啓発活動 ○健康教室での教育・啓発活動 ○大宮区主催のイベントでの啓発活動 ○大宮区役所内でのちらし配布・パネル設置などの普及啓発 ○大宮高島屋、大宮区役所での館内放送によるがん検診受診勧奨 ○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発 ○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発	●SNSにてがん検診、禁煙の普及啓発の発信 ○がん対策推進講演会 ○市ホームページに医療用ウィッグ・サポート店一覧を掲載 ○「医療なび」の周知 ○がん検診ポスターやのぼり旗の設置 ○大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨 ○健康教室での教育・啓発活動 ○大宮区主催のイベントでの啓発活動 ○大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発 ○健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発 ○浦和区健康まつりにおいて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市ウェブサイト内の「がんに関する情報」のアクセス数	2,834 (H27)	増える	1,996(R2)	2,066(R3)	
地域(全国)がん登録により明らかになった罹患率及び生存率等の情報提供の実施状況	—	実施する	地域がん登録の情報について埼玉県がまとめた「埼玉県のがん2016」について、市ホームページで情報提供を実施。	地域がん登録の情報について埼玉県がまとめた「埼玉県のがん2017」について、市ホームページで情報提供を実施。	
主な成果・課題	<p>集合のイベント等での情報発信の機会は減ってしまったが、掲示やインターネットを活用し、情報提供を継続することができた。                  外出が困難、インターネットが使えない等、様々な事情を抱えた方に情報が行き渡るよう複数の方法を組み合わせ情報発信を行う必要がある。</p>	<p>市民、医療従事者、事業者等、対象者が異なる様々な説明会において、いずれも集合形式を見合わせ、オンラインを利用することでコロナ禍においても取組を実施し、継続して情報提供を行うことができた。                  集合形式に比べ、オンラインによる説明会では参加者が減るケースも見られたため、一律にオンラインに移行するのではなく、集合とオンラインを組み合わせるハイブリッド方式なども検討することで情報を受け取りやすい環境を構築することが必要である。</p>			

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標	働く世代へのがん対策の充実				
(3)分野別施策	市内事業所等との連携によるがん対策の充実				
取組事例  ●新規事業  ○継続事業			令和2年度	令和3年度	令和4年度(予定)
	市民				
	事業者				
	保健医療関係者		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域ケア意見交換会」の開催(患者情報の共有や現状の問題・課題についての意見交換会)</li> <li>○就労支援</li> <li>○さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携</li> <li>○癌治療における薬薬連携体制の構築</li> <li>○人間ドックの利用費用補助</li> <li>○郵送検診の実施</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○公開講座の開催</li> <li>○おしごと継続・就労相談会の開催</li> <li>○訪問看護ステーション体験実習</li> <li>○教育ステーション事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域ケア意見交換会」の開催</li> <li>○人間ドックの利用費用補助</li> <li>○郵送検診の実施</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○おしごと継続・就労相談会の開催</li> <li>○就労支援</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○訪問看護ステーション体験実習</li> <li>○教育ステーション事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域ケア意見交換会」の開催</li> <li>○人間ドックの利用費用補助</li> <li>○郵送検診の実施</li> <li>○化学療法研修会の開催</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○公開講座の開催</li> <li>○おしごと継続・就労相談会の開催</li> <li>○就労支援</li> <li>○さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○訪問看護師育成プログラム普及事業</li> <li>○教育ステーション事業</li> <li>○さいたま市北部緩和ケア研究会</li> </ul>
市		○大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発	○大宮区主催のイベントでの啓発活動 ○大宮高島屋、大宮区役所での館内放送によるがん検診受診勧奨	○大宮高島屋館内放送によるがん検診受診勧奨 ○大宮区主催のイベントでの啓発活動 ○大宮区役所内でのチラシ配布、パネル設置などの普及啓発	
(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業所・従業員への相談支援窓口の案内の機会	-	増える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の地域がん診療連携拠点病院で就労相談を実施。</li> <li>・市HPに埼玉県が実施している「がんワンストップ相談」、埼玉産業保健総合支援センターの情報をまとめた「がん患者さんの就労相談窓口一覧」を掲載。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の地域がん診療連携拠点病院で就労相談を実施。</li> <li>・市HPに埼玉県が実施している「がんワンストップ相談」、埼玉産業保健総合支援センターの情報をまとめた「がん患者さんの就労相談窓口一覧」を掲載。</li> </ul>	
主な成果・課題			<p>医師、薬剤師、医薬品メーカー等のがん治療に関連する様々な職種の方が関わる「さいたま地域連携Network」が構築され、今後のがん患者に対する連携推進に向けた足がかりができた。社会保険労務士等の専門家による就労相談は患者からも安心感が得られると好評である。 今後も患者のニーズに合わせ、関係する市内事業所等との連携を推進させる必要がある。</p>	<p>さいたま地域連携Networkの活動が推進され、がん治療に関する連携がよりスムーズに運営できるようになった。就労相談はコロナ禍の影響により、一部中止もあったが、各団体とも継続して取組を進めており、市内事業所等との連携体制は継続できている。 今後はがん対策の充実に効果的に繋げられるよう、連携先事業所を増やすなど、市内全体に取組を広げていくことが重要である。</p>	

さいたま市がん対策推進計画  
令和3年度 各団体取組シート

## 目 次

## 【市民・事業者】

○Çava! (サヴァ) ～さいたま BEC～	1
○さいたま労働基準監督署	2
○さいたま商工会議所女性会	3

## 【保健医療関係者】

○さいたま赤十字病院	4
○自治医科大学附属さいたま医療センター	7
○さいたま市立病院	11
○さいたま市4医師会連絡協議会	13
○さいたま市歯科医師会	14
○さいたま市薬剤師会	17
○埼玉県看護協会	18
○埼玉県訪問看護ステーション協会	19
●さいたま市民医療センター	20
●埼玉メディカルセンター	21
●彩の国東大宮メディカルセンター	22

## 【市】

○健康増進課	23
○地域医療課	24
○いきいき長寿推進課	25
○地域保健支援課	26
○西区役所保健センター	27
○北区役所保健センター	28
○大宮区役所保健センター	29
○見沼区役所保健センター	30
○中央区役所保健センター	31
○桜区役所保健センター	32
○浦和区役所保健センター	33
○南区役所保健センター	34
○緑区役所保健センター	35
○岩槻区役所保健センター	36
○指導1課	37
○健康教育課	38

団体名 : Çava! ~さいたまBEC~				令和 3 年度分									
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及											
①科学的根拠に基づいた知識の普及。 ②体験者が安心して集まれる場所を提供。		2 受動喫煙の防止と禁煙											
事業の目標		分野別施策(参考)											
①乳がんと告知された時から、正しい情報がどこにあるのかをおしゃべり会等を通して伝えていく事。 ②体験者同士が思いを共有し、孤独感から開放され一歩を踏み出すきっかけを作り、安心して集える場所を提供する事。		3 がん検診の受診率の向上											
		4 がん検診の質の向上											
		5 在宅医療の推進											
		6 緩和ケアの充実											
		7 相談支援体制の活用											
		8 情報提供の充実											
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実											
事業の対象者													
乳がん体験者													
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					対象者、時期/回数、参加人数など				
				(該当する数字に○)									
月1度 体験者対象おしゃべり会	継続	なし	一部 (30分)	①	2	3	4	5	6	7	8	9	対象者：乳がんと診断された女性 時期/回数：月1回（8月を除く）
不定期 再発転移経験者のおしゃべり会	継続	なし	一部 (30分)	①	2	3	4	5	6	7	8	9	対象者：乳がんの再発転移経験者 時期/回数：年3回
体験者対象 イベント各種	継続	なし	全部 (その他)	①	2	3	4	5	6	7	8	9	
乳がん体験者のためのヨガ(NYOGA)	継続	一部	一部 (30分)	①	2	3	4	5	6	7	8	9	対象者：乳がんと診断された女性 時期/回数：対面→月3回/OL→月11回
乳がん体験者のための運動教室(エアロ、筋トレ)	新規	一部	一部 (30分)	①	2	3	4	5	6	7	8	9	対象者：乳がんと診断された女性 時期/回数：対面→月1回/OL→月1回
取組の成果、感想など													
コロナ禍における対策及び今後の方向性													
コロナの状況を見ながらの活動となりました。 コロナ下で治療を始めた方は「誰かとつながりたい」「情報がほしい」気持ちが強いように感じます。コロナ下であっても開催時には毎回参加される方がいて、「語る場所」が必要とされていることをあらためて実感しました。 ヨガ、運動教室は昨年に引き続き、オンラインクラスが盛況で全国から参加していただいています(月会員45名前後)。クラスの回数が増えたことで運動の良さを感じたり、心の安定を得ている参加者さんが多いです。				【対策】 ・緊急事態宣言、まん延防止重点措置下では対面のおしゃべり会、クラスをすべて中止。 ・コロナ禍中で運動不足が懸念されるため、ヨガと運動教室はオンラインをメインに活動をシフト。 【今後の方向性】 ・感染防止を最優先に、開催するかを検討していく。おしゃべり会のオンライン化は今のところ予定なし。 ・ヨガ、運動教室はオンラインも継続。対面クラスは様子を見ながら実施予定。									

団体名：さいたま労働基準監督署				令和 3 年度分									
事業名				分野別施策（参考） 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実									
①事業場における治療と職業生活の両立支援対策 ②職場における受動喫煙防止対策													
事業の目標													
①治療と仕事の両立支援の取組を更に普及させるため「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」及び「企業・医療機関連携マニュアル」の周知。 ②事業主等が積極的に受動喫煙防止対策に取り組むよう、「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン」の周知啓発、同対策助成金、相談支援の利用促進。													
事業の対象者													
管内の事業場													
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
浦和地区労働基準協会、大宮地区労働基準協会、埼玉産業保健総合支援センター													
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					対象者、時期／回数、参加人数など				
				(該当する数字に○)									
全国労働衛生週間及び同準備期間における周知	継続	全部	一部 (○)	1	②	3	4	5	6	7	⑧	9	対象者：事業主、産業保健担当者等 時期／回数：労働衛生週間（10月1日～7日）、同準備期間（9月）における周知（同週間に係る説明会等を含む）説明会 Web 1回
労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知	継続	一部	一部 (○)	1	②	3	4	5	6	7	⑧	9	対象者：事業主、人事労務・産業保健担当者等 時期／回数：年間実施数 Web 1回
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
コロナ禍の影響で、集会方式の説明会はほぼ開催できず、開催できたものでも、説明時間が短縮されるなど、全般的に広報の機会が減少した。				Webでの対応が増えてくると思われますが、集会方式で参加していた中小企業が、Webでは参加が減っていることから、ハイブリット（集会＋Web）での開催について検討していく。 また、情報発信として、各機関のホームページへの資料掲載依頼等による広報の方法を検討していく。									

団体名:さいたま商工会議所女性会				令和 3 年度分									
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及											
がん検診の受診勧奨		2 受動喫煙の防止と禁煙											
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上											
①会員ががん検診を受けることで、早期発見・早期治療に結びつける。 ②医療用ウィッグの毛髪提供の呼びかけをする。		4 がん検診の質の向上											
		5 在宅医療の推進											
事業の対象者		6 緩和ケアの充実											
		7 相談支援体制の活用											
		8 情報提供の充実											
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実											
女性会会員とその家族													
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策						対象者、時期/回数、参加人数など			
				(該当する数字に○)									
総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知	継続	なし	一部 (10カ)	①	2	③	4	5	6	7	8	9	対象者：会員 時期/回数：会議開催時 対象人数：約80人
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
新型コロナウイルスの拡がりでも会議等開催中止もあり、検診を控える方もいると思われます。しかし、がんの早期発見には定期的な検査を行うがん検診が欠かせません。その為の周知を継続していきたいと思っております。				書面等、可能な方法で取組を継続していきます。									



団体名:さいたま赤十字病院		1/3		令和 3 年度分									
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及									
地域がん診療連携拠点病院 がんゲノム医療連携病院				2 受動喫煙の防止と禁煙									
事業の目標				3 がん検診の受診率の向上									
①地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。				4 がん検診の質の向上									
②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者および家族への支援を行う。				5 在宅医療の推進									
③がん患者が治療を受けながら働ける環境を整えるため、治療と仕事の両立を支援する。				6 緩和ケアの充実									
事業の対象者				7 相談支援体制の活用									
がん患者・家族、一般市民、来院者、職員				8 情報提供の充実									
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実									
前橋赤十字病院、足利赤十字病院、NPO法人がんと暮らしを考える会、アデランス													
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策									対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)									
がん診療連携セミナーの開催	継続	一部	一部 (30%)	①	2	3	4	5	6	7	8	9	対象者：院内外の医療従事者 時期/回数：年2回 秋・冬開催予定 ⇒年1回 秋は中止、3月24日にオンラインにて開催予定 テーマ「がんゲノムについて」 対象人数：約100人/回
病院内および敷地内の全面禁煙	継続	なし		1	②	3	4	5	6	7	8	9	対象者：患者、家族、来院者、職員
緩和ケア研修会の開催	継続	なし		1	2	3	4	5	⑥	7	8	9	対象者：院内の医療従事者 院外の受け入れは状況により判断 時期/回数：年1回7月予定(予備9月) ⇒ 7月17日開催 対象人数：30名募集 ⇒27名参加(医師5名、研修医15名、看護師4名、薬剤師3名)
緩和ケアチーム合同カンファレンス	継続	全部		1	2	3	4	5	⑥	7	8	9	前橋赤十字病院、足利赤十字病院緩和ケアチーム 時期/回数：日程未定 6月28日14:00~16:00 当院6名(医師3名、看護師1名、栄養士2名) 足利4名(医師2名、看護師2名) 前橋7名(医師2名、看護師2名、栄養士1名、薬剤師2名) 10月25日14:00~16:00 当院6名(医師4名、看護師1名、薬剤師1名) 足利6名(医師2名、看護師3名、薬剤師1名) 前橋7名(医師1名、看護師3名、薬剤師1名、栄養士1名、MSW1名) 2月28日14:00~16:00 当院7名(医師4名、看護師1名、薬剤師1名、心理士1名) 足利4名(医師1名、看護師2名、薬剤師1名) 前橋10名(医師1名、看護師5名、薬剤師2名、MSW2名)
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
3/3シートに記載				3/3シートに記載									

団体名:さいたま赤十字病院		2/3		令和 3 年度分		
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及		
地域がん診療連携拠点病院 がんゲノム医療連携病院				2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標				3 がん検診の受診率の向上		
①地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。 ②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者および家族への支援を行う。 ③がん患者が治療を受けながら働ける環境を整えるため、治療と仕事の両立を支援する。				4 がん検診の質の向上		
事業の対象者				5 在宅医療の推進		
がん患者・家族、一般市民、来院者、職員				6 緩和ケアの充実		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				7 相談支援体制の活用		
前橋赤十字病院、足利赤十字病院、NPO法人がんと暮らしを考える会、アデランス				8 情報提供の充実		
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
がん相談	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9		対象者：院内外がん患者・家族、一般の方、医療関係者 時期/回数：月～金曜日（祝日除く） 9：00～16：30 対象人数：約900件/年
がんサロン・アピアランスケア	継続	なし	全部 (30カ)	1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9		対象者：院内外がん患者・家族 時期/回数：毎月第3金曜日 14：00～15：00 アピアランスケアのみ第1木曜日（院内美容院と協働）14：00～16：00 状況により開催検討 ⇒コロナ禍のため、開催中止。アピアランスケアは個別で対応。
社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会（就労支援）	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9		対象者：院内外がん患者・家族 時期/回数：毎月第2水曜日 50分×3枠 ①13：30～14：20 ②14：30～15：20 ③15：30～16：20 対象人数：5名（11ヶ月）
がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書整備	継続	なし		1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9		対象者：がん患者・家族、一般の方 利用時間：平日8：30～17：00
「地域ケア意見交換会」の開催（患者情報の共有や現状の問題・課題についての意見交換会）	継続	全部		1 2 3 4 5 6 7 8 ⑨		対象者：さいたま市内の在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、基準薬局等の医療従事者の方 ZOOM開催：下記参加人数内訳（院内+院外） 4月15日18名（10名+8名） 5月18日16名（12名+4名） 6月15日27名（11名+16名） 7月20日20名（9名+11名） 9月21日24名（13名+11名） 10月19日27名（16名+11名） 11月18日24名（13名+11名） 12月16日20名（12名+8名） 1月20日18名（11名+7名） 2月17日18名（12名+6名） 3月17日 開催予定
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
3/3シートに記載				3/3シートに記載		

団体名:さいたま赤十字病院		3/3		令和 3 年度分	
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及	
地域がん診療連携拠点病院 がんゲノム医療連携病院				2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標				分野別施策(参考)	
①地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。				3 がん検診の受診率の向上	
②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者および家族への支援を行う。				4 がん検診の質の向上	
③がん患者が治療を受けながら働ける環境を整えるため、治療と仕事の両立を支援する。				5 在宅医療の推進	
				6 緩和ケアの充実	
				7 相談支援体制の活用	
				8 情報提供の充実	
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者					
がん患者・家族、一般市民、来院者、職員					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
前橋赤十字病院、足利赤十字病院、NPO法人がんと暮らしを考える会、アデランス					
取組の内容	新規 継続	オン лайн	中止	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、時期/回数、参加人数など
がんゲノム医療	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：2020年度は院内対象であったが、2021年度より、院外の方へも対象を拡大 時期/回数： 対象人数：遺伝子パネル件数 49名 院内43名、院外6名 院内：乳腺外科21名、呼吸器内科8名、産婦人科7名、外科4名、泌尿器科3名 院外：乳腺外科2名、泌尿器科2名、肝胆膵内科2名
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
緩和ケア研修会の医師受講率は、2020年度92.3%、2021年度85.8%であった。受講率90%以上が維持できるよう、今後も未受講の医師へ働きかけると共に、コメディカルの受講者も増やし、がん診療の質向上・維持を目指していく。地域ケア意見交換会では、回を重ねるごとに、訪問看護ステーションとの関係が良好になり、円滑な連携が図れている。また調剤薬局の参加も増え、薬剤師との連携や困りごとの際の相談の幅も広がった。現在、診療医の参加がないため、今後は地域の診療医へも参加を働きかけていく。緩和ケアチーム合同カンファレンスでは、緩和ケアチーム・緩和ケア病棟に関わる多職種で、一つの症例について振り返り、よりよいケアのあり方や患者・家族への関わり方について検討している。がん相談では、コロナ禍による面会制限を理解しつつも不満や不安を抱えていること、治療に伴う感染リスクの不安等の相談が目立った。仕事と治療の両立支援では、専門家との相談件数が減少したが、その要因として、職を失いハローワークへ繋いだり、生活保護となるケースが散見していたことも考えられる。アピアランスケアは集合開催はしていないが、個別で対応をしている。がんサロンは未開催であり、患者・家族からは、直接会って話をしたいが感染が心配という声が聞かれている。今後の感染状況にもよるが、開催方法は検討課題である。がんゲノム医療では、個別化医療を提供する体制が整備されつつある。次年度も院内外の多職種と連携を図りながら、患者・家族が安心して治療を受け、生活が送れるよう支援し、当院の役割を遂行していく。				がん診療連携セミナーは2回の内1回開催を見合わせた。年度末にオンラインによる開催を予定している。次年度は、今後の感染状況により、オンライン開催や集合開催を検討し、実施していく予定。地域ケア意見交換会は、引き続きオンライン開催を行っていくが、感染状況により集合開催も検討していく。がんサロンについては、オンライン開催も検討したが、セキュリティの懸念(SNS投稿、録音、録画等)があるため、感染状況を踏まえ開催方法を再考する。	

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 1/4				令和 3 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
・職員の健康管理、がんに関する知識普及		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上			
・職員の健康管理、がんに関する知識普及に努める		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
全職員、私学共済被扶養者					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
一般社団法人大宮医師会、埼玉県立がんセンター、日本私立学校振興・共済事業団					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策 (該当する数字に○)	
				対象者、時期/回数、参加人数など	
一般定期健康診断	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	労働安全衛生法に基づく健康診断を実施 対象者：全職員 時期/回数：年2回の機会を提供
特定業務従事者に対する健康診断	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	労働安全衛生法に基づく健康診断を実施 対象者：特定業務従事者 時期/回数：配置換えの際及び6カ月以内ごとに1回定期に実施
特殊健康診断	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	法令に基づく特殊健康診断を実施 対象者：該当職員 時期/回数：配置換えの際及び6カ月以内ごとに1回定期に実施
人間ドックの利用費用補助	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	人間ドック利用料の助成 対象者：35歳以上の私学共済加入者及び被扶養者
郵送検診の実施	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	大腸がん、肺がん、胃がん、前立腺がんの郵送検診を実施 対象者：30歳以上の私学共済加入者及び被扶養者
緩和ケア研修会の開催	継続	なし		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会 対象者：医療従事者 時期/回数：年1回
化学療法研修会の開催	継続	なし	全部 (30カ)	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ ⑨	化学療法に関する最新の知見を提供 対象者：医療従事者
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断（受診率100%）や人間ドック、郵送検診、敷地内全面禁煙、禁煙外来などの取り組みを通じてがんに関与するリスクの軽減に努めた。</li> <li>認定看護師の育成など取り組みを通じて医療者の知識、技術の習得に努めた。</li> <li>がんと仕事の両立を目指すために、就労相談会などがん相談支援センターの活動を行った。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>緩和ケア研修会については、院内の研修医のみで開催となった。また、化学療法研修会については、中止となった。</li> <li>がんサロンや市民公開講座の開催が中止となった。</li> <li>今後はキャンサーボードの開催もZOOMによるWEB開催を検討する。</li> </ul>	

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 2/4				令和 3 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及				
<ul style="list-style-type: none"> <li>受動喫煙防止、禁煙推進</li> <li>最新知識、技術の習得支援</li> </ul>		2 受動喫煙の防止と禁煙				
事業の目標		分野別施策（参考）	3 がん検診の受診率の向上			
<ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙によるがん罹患の防止に努める</li> <li>最新知識、技術の習得支援に努める</li> </ul>			4 がん検診の質の向上			
			5 在宅医療の推進			
			6 緩和ケアの充実			
			7 相談支援体制の活用			
			8 情報提供の充実			
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者						
全職員、私学共済被扶養者、看護師						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
日本私立学校振興・共済事業団、自治医科大学大学院医学研究科、自治医科大学看護師特定行為研修センター						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		
				(該当する数字に○)		
私学事業団健康相談ダイヤル	継続	一部		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	健康医療等電話相談サービスを実施（健康相談、医療相談、介護相談など） 対象者：私学共済加入者	
職場巡視における喫煙状況調査の実施	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	喫煙の状況について調査を実施 対象者：全職員 時期/回数：定期	
敷地内全面禁煙	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	受動喫煙防止の観点から敷地内全面禁煙を実施	
禁煙外来の開設	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	健康保険を利用した禁煙外来を開始し、喫煙者率の減少に努めている	
がん化学療法看護認定看護師 がん性疼痛看護認定看護師等の育成	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	資格取得にかかる費用の助成 対象者：希望職員	
臨床腫瘍学講義の実施	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	自治医科大学大学院医学研究科（栃木県下野市）で開催している臨床腫瘍学の講義を当センターでも受講可能にしている	
看護師特定行為研修の実施	継続	なし		① 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 ⑧ ⑨	手順書により一定の診療の補助を行うことのできる看護師の養成	
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 3/4				令和 3 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
・患者・市民向け知識普及		分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上		
・患者および市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める			4 がん検診の質の向上		
事業の対象者		5 在宅医療の推進			
外来患者、入院患者、患者家族、地域の医療従事者、一般市民		6 緩和ケアの充実			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		7 相談支援体制の活用			
さいたま市4医師会、埼玉新聞社、ハローワーク大宮		8 情報提供の充実			
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
公開講座の開催	継続	なし	全部 (00)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	公開講座を開催し、がんに関する正しい知識の普及に努めている 対象者：市民 時期/回数：年1回開催
がんサロンの開催	継続	なし	全部 (00)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	療養体験や気持ちを分かち合い、勉強会などを行うがんサロンを開催 対象者：がん患者や家族 時期/回数：年6回
おしごと継続・就労相談会の開催	継続	なし	一部 (00)	1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	ハローワーク大宮と連携し、就労相談会を院内で開催 時期/回数：毎月2回、原則第1火曜日と第3金曜日、事前予約制
緩和ケア研修会の開催（再掲）	継続	なし	一部 (00)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会 対象者：医療従事者（地域の医療従事者も参加可能） 時期/回数：年1回
院内がん登録の公表	継続	なし		1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	がん診療連携拠点病院における院内がん登録標準登録様式に基づき、1腫瘍1登録とし、入外を問わず登録し、ホームページ上で公表
がん相談支援センターの開設	継続	なし		1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	医療・療養・生活上の不安や悩みなどに相談対応 対象者：患者・家族等
セカンドオピニオン外来の開設	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	自由診療にて専門の医師がセカンドオピニオンに対応
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	

<b>団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 4/4</b>				<b>令和 3 年度分</b>									
<b>事業名</b>			分野別 施策 (参考)										
<ul style="list-style-type: none"> <li>患者・市民向け知識普及</li> <li>緩和ケア実践</li> </ul>													
<b>事業の目標</b>			<ol style="list-style-type: none"> <li>がんに関する正しい知識の普及</li> <li>受動喫煙の防止と禁煙</li> <li>がん検診の受診率の向上</li> <li>がん検診の質の向上</li> <li>在宅医療の推進</li> <li>緩和ケアの充実</li> <li>相談支援体制の活用</li> <li>情報提供の充実</li> <li>市内事業所等との連携によるがん対策の充実</li> </ol>										
<ul style="list-style-type: none"> <li>患者及び市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める</li> <li>適切なタイミングでの緩和ケア実践に努める</li> </ul>													
<b>事業の対象者</b>													
外来患者、入院患者、患者家族、一般市民													
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>													
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					対象者、時期／回数、参加人数など				
				(該当する数字に○)									
緩和ケアチームを組織	継続	なし		①	2	3	4	5	⑥	⑦	⑧	9	医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどによる緩和ケアチームを組織し、適切なタイミングで緩和ケアを提供できる体制を整備
<b>取組の成果、感想など</b>				<b>コロナ禍における対策及び今後の方向性</b>									

団体名：さいたま市立病院		1/2		令和 3 年度分		
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及		
がん患者・家族の支援				2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標				3 がん検診の受診率の向上		
がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う				4 がん検診の質の向上		
				5 在宅医療の推進		
				6 緩和ケアの充実		
				7 相談支援体制の活用		
				8 情報提供の充実		
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者						
がん患者及びその家族						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
がん患者サロン、はなみずき会 (ミニレクチャー、座談会)	継続	なし	全部 (30)	① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9		対象者：がん患者及びその家族（受診の有無は問わない） 時期/回数：毎月第4水曜日13：00～15：00
告知後の患者支援	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9		対象者：市立病院でがん告知を受けた患者・家族
緩和ケアチーム活動	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9		対象者：市立病院の入院中のがん患者・家族 時期/回数：1回/Wの回診、カンファレンス
がん相談支援センターの活用	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9		面談又は電話相談 対象者：がん患者及びその家族（受診の有無は問わない） 時期/回数：平日8：30～17：00
就労支援	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨		社会保険労務士、ハローワーク職員による相談会実施 対象者：市立病院かかりつけのがん患者 時期/回数：月1回
退院調整看護師の活用	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9		在宅への調整、退院後、自宅への訪問を行っている 対象者：がん患者・家族
さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携	継続	なし	全部 (30)	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 ⑨		講演会や連携のためのディスカッションを行い、情報交換と顔の見える関係づくりをしている 対象者：さいたま浦和地区の医療従事者 時期/回数：年2回
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
がんサロンは、コロナの影響で開催を中止している。今後コロナの状況を見て、開催時期と方法について検討したい。告知後の支援については、がん関連の認定看護師が支援しており、年間130件以上の介入をしている。緩和ケアチームの活動は週1回のカンファレンスとラウンドを行っている。また、退院後の患者サポートとして外来への継続も行っており、令和3年度は延べ30件以上の介入を行った。今後も入院と外来を継続できるように取り組みを続けたい。				がんサロンに関しては、コロナの状況を鑑みて、オンラインの開催や予約制、人数制限など検討し、開催していきたい。		



団体名:さいたま市立病院		2/2		令和 3 年度分			
事業名	1 がんに関する正しい知識の普及						
がん患者・家族の支援	2 受動喫煙の防止と禁煙						
事業の目標	分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上					
がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う		4 がん検診の質の向上					
		5 在宅医療の推進					
		6 緩和ケアの充実					
		7 相談支援体制の活用					
		8 情報提供の充実					
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実					
		事業の対象者	がん患者及びその家族				
		事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士				
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、時期/回数、参加人数など		
緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる	継続	全部		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	がん診療に携わる院内外の医師を対象に行っている緩和ケア研修会でがんサバイバーの方からの講演を新規で取り入れる		
がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	作成したパンフレットを使用し、セルフケアを指導する 対象者：入院のがん患者にスクリーニングを実施し、3以上の患者		
経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	皮膚障害を予防するために外来からセルフケア指導、評価を行う 対象者：経口抗がん剤を使用する患者		
がん治療時の医科歯科連携を行い、治療に伴う口腔内合併症を予防する	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	歯科と連携し口腔内の環境を整える 対象者：がん治療（手術、化学療法、放射線療法）前の患者		
がん患者のアピアランスケア支援	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 ⑧ 9	外見ケア支援として情報提供やケア方法の検討・アドバイスを行う 対象者：がん患者		
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性			
がん相談に関しては、年間延べ120件以上の対応をしている。相談内容としては治療中の不安が多い。当院通院中の患者に対し支援の強化が必要と考える。がん患者への苦痛のスクリーニングは、看護部の緩和ケア推進委員会のメンバーを中心として行っている。外来患者においても一部ではあるが、実施しており、セルフケア指導へとつなげることができている。アピアランスケアに関しては、ウィッグやマニキュアなど試用できるように整備した。				緩和ケア研修会の開催については、受け入れ人数を調整し、グループワークなど密にならないように工夫する。患者体験者からの講演については、来年度もオンラインの参加を計画したい。			

団体名：さいたま市4医師会連絡協議会				令和 3 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がん検診の受診勧奨や啓発 ②在宅医療・緩和ケアの推進		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上		
①がん検診受診率の向上 ②研修会の開催や参加等により、在宅医療・緩和ケアの理解を深める。			4 がん検診の質の向上		
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
市民、医師会会員、検診実施医療機関、訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター、さいたま市					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
がん検診の実施及び受診勧奨	継続	なし		1 2 ③ ④ 5 6 7 8 9	胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん(触診)、乳がん(X線)、子宮がん(頸)、子宮がん(体) 時期/回数：R3.4.27~R4.3.12実施
浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ 8 9	対象者：30代~90代男女 時期/回数：R3.4~R4.2 27回 対象人数：27人
在宅医療・緩和ケアに関する研修会の開催	継続	全部		1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	がん拠点病院、地域医療機関、多職種の連携の構築
さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会出席	継続	全部		1 2 3 4 5 ⑥ ⑦ ⑧ 9	時期/回数：月1回
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
新型コロナウイルス感染拡大の中、受診控えや、医療機関のコロナ患者対応等による一般患者の受入れ等が縮小されている影響があり、受診率の低下に繋がっていると思われます。コロナ禍ではありますが、緩和ケア意見交換会を病院側と定期的に開催しています。				新型コロナウイルスに対する基本的な感染対策をした上で、さいたま市4医師会内の医療機関としては、安心して受診できるよう努めていきたい。また、コロナ禍で不自由な面もありますが、Web開催やハイブリッドでの開催も含め、引き続き緩和ケア等の意見交換会、研修会等を開催していきたい。	

団体名：さいたま市歯科医師会（浦和歯科医師会）				令和 3 年度分									
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及											
①会員向け口腔がん対策講習会		2 受動喫煙の防止と禁煙											
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上											
①昨今は、行政が主体となり市民対象のがん検診に口腔がん検診を導入している事例も多くみられる。将来的に当会としても、市民のお口の健康を守り、口腔保健についての意識を高めること・全会員が同等の知識と技量を習得しておくことを目的とする。		4 がん検診の質の向上											
		5 在宅医療の推進											
		6 緩和ケアの充実											
		7 相談支援体制の活用											
		8 情報提供の充実											
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実											
		事業の対象者											
		浦和歯科医師会会員											
		事業を展開する上で協働した課所、機関、団体											
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策									対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)									
口腔がんに関する研修	継続	全部	全部 (10)	①	2	3	4	5	6	7	8	9	WEB配信予定 対象者：浦和歯科医師会会員
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
				コロナ禍のためやむなく事業を中止。。 来年度はコロナの感染状況を鑑み、実施方法を検討予定。									

<b>団体名</b> ：さいたま市歯科医師会(大宮歯科医師会)				<b>令和 3 年度分</b>				
<b>事業名</b>		分野別 施策 (参考)						
①大宮歯科医師会公開市民講座								
<b>事業の目標</b>								
①講話・健診・歯科相談を通じ地域市民のお口の健康についての意識向上を図る		1	がんに関する正しい知識の普及	2	受動喫煙の防止と禁煙			
<b>事業の対象者</b>		3	がん検診の受診率の向上	4	がん検診の質の向上			
		5	在宅医療の推進	6	緩和ケアの充実			
		7	相談支援体制の活用	8	情報提供の充実			
		9	市内事業所等との連携によるがん対策の充実					
		<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>						
		さいたま市在住の40歳以上						
		<b>取組の内容</b>						
				新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、時期/回数、参加人数など
		口腔がんに関する講話・健診・歯科相談		継続		全部 (0カ)	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>				<b>コロナ禍における対策及び今後の方向性</b>				
				コロナ禍のためやむなく事業を中止。 来年度はコロナの感染状況等鑑み、実施方法を検討予定。				

<b>団体名：さいたま市歯科医師会(与野歯科医師会)</b>				<b>令和 3 年度分</b>									
<b>事業名</b>		分野別 施策 (参考)											
がん診療連携セミナー													
<b>事業の目標</b>													
さいたま赤十字病院が開催しているがん診療連携セミナーに参加し、地域医療の充実を図る		1	がんに関する正しい知識の普及	2	受動喫煙の防止と禁煙								
		3	がん検診の受診率の向上	4	がん検診の質の向上								
		5	在宅医療の推進	6	緩和ケアの充実								
		7	相談支援体制の活用	8	情報提供の充実								
		9	市内事業所等との連携によるがん対策の充実										
<b>事業の対象者</b>													
さいたま赤十字病院職員および地域医療従事者													
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>													
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					対象者、時期/回数、参加人数など				
				(該当する数字に○)									
がんに関する講話	新規	全部		①	2	3	4	5	6	7	8	9	対象者：さいたま赤十字病院職員および地域医療従事者 時期/回数：令和4年3月
<b>取組の成果、感想など</b>				<b>コロナ禍における対策及び今後の方向性</b>									
				集合形式で人を集めての開催ではなく、オンラインによるセミナーの開催であった。									

団体名：(一社)さいたま市薬剤師会				令和 3 年度分		
事業名				分野別施策(参考) 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
①「さいたま地域連携Network」を基盤とした地域連携の推進 ②在宅医療の支援管理体制の整備 ③かかりつけ機能の推進						
事業の目標						
①入退院時における連携や外来業務での連携を含め、病院・薬局で共通統一化した運用（フローチャート等）を決定し、連携を推進する。 ②在宅支援薬局リストを改訂、現状に即した内容で連携の充実をはかる。 ③薬剤師の職能を「相談」や「健康サポート」の分野で発揮できるよう、他団体での取り組みや他地域での活動に参加し、地域として標準化できるような体制を構築する。						
事業の対象者						
地域の保険薬局・薬剤師・医療機関・地域住民						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
医師会、歯科医師会、病院、診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、他薬剤師会						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
癌治療における薬薬連携体制の構築	継続	一部	一部 (00)	1	2 ③ 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	各基幹病院、さいたま市薬剤師会会員薬局
在宅医療支援薬局リストの改訂	継続	なし		1	2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	医師会、医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、行政窓口
癌に関する専門薬剤師の育成	新規	全部		①	2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	さいたま市薬剤師会会員・医師・メーカー等共催での研修
かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充	継続	一部	一部 (00)	①	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	日本薬剤師会、埼玉県薬剤師会との共同による育成研修
他団体や地域におけるイベント等に参加。教育者としての人材育成を行う	継続	なし	全部 (00)	①	2 3 4 5 6 7 8 9	さいたま市薬剤師会会員、各基幹病院
各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施（薬物乱用防止、健康フェア）	継続	一部		1	② 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：さいたま市薬剤師会会員、市民
地域寄り添うためのコミュニケーションに特化した研修会の開催	継続	一部		1	2 3 4 5 ⑥ ⑦ ⑧ 9	対象者：さいたま市薬剤師会会員
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
さいたま地域連携Networkの活動が推進され、癌治療に関する連携がよりスムーズに運営できるようになった。ハード基盤の構築として、薬剤師の質の向上や連携で活用するツール（フォローアップシート）をリリースすることで、地域で薬局が発揮すべき機能に変化が見受けられるようになった。今後は育成された薬剤師が地域に対してどのようなアウトカムに影響を与えるのか、きちんと精査していく必要があると考えている。				活動予定であった事業の多くが延期もしくは中止を余儀なくされてしまった。一部についてはオンラインでの運営も可能だが、かかる経費についてのデメリットも多く、地域として共通化されたツールを活用できるようなシステム作りが課題となるのだと感じている。これらの事業の遅延は、地域の見えない部分に対し影響を及ぼしている可能性があるため、方法・場所・頻度等について再検討し、団体の中でのオリジナリティをもった活動を行っていきたいと考えている。		

団体名：埼玉県看護協会				令和 3 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
看護職に対するがん看護についての集合研修		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策（参考） 3 がん検診の受診率の向上			
がん看護について看護専門職として必要な看護実践能力向上を養う		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
会員および非会員の県内看護職					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
特になし					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
がん薬物療法看護	継続	全部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期/回数：9月3日 対象人数：69人 (ZOOM)
がん性疼痛看護	継続	全部		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期/回数：6月16日 対象人数：86人 (ZOOM)
がん患者のアピアランスケア	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期/回数：11月19日(半日) 対象人数：21人 (対面)
がんサイバー	継続	全部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期/回数：令和4年1月予定 対象人数：53人 (ZOOM)
がん治療の最前線	新規	全部		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：会員・非会員 時期/回数：12月17日(半日) 対象人数：60人 (ZOOM)
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
5研修とも感染状況を鑑みてオンライン研修としたが、参加率は21%~60%と少なかった。がん医療に関わる各施設毎の独自研修の充実が進んでいることが推察された。「アピアランスケア」は、別団体が同じ講師で実施しているため参加者が少ないと考える。				参加者の少ない「アピアランスケア」次年度は開催を見送る。	

団体名：埼玉県訪問看護ステーション協会				令和 3 年度分	
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及	
①訪問看護師の確保・育成 ②経営安定化支援 ③医療・介護の連携 ④在宅療養の知識の普及				2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標				分野別施策 3 がん検診の受診率の向上	
①訪問看護師の確保・育成をすることにより、在宅看取りが増やせる体制作りが行えるため、育成が必要である。 ②訪問看護STの経営をサポートし、安定化を図ることにより、在宅医療の推進となる。 ③多職種連携・市民向けの窓口を広げ、情報提供の充実を図る。 ④教育ステーション地域の促成に合わせた教育・連携を図る。				4 がん検診の質の向上	
事業の対象者				5 在宅医療の推進	
住民、患者、県内外医療従事者、地域包括ケアシステムに関わる職種、県内訪問看護ステーション				6 緩和ケアの充実	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				7 相談支援体制の活用	
埼玉県医療人材課、医療機関、訪問看護ステーション、中学校、高校				8 情報提供の充実	
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策 (該当する数字に○)	
				対象者、時期/回数、参加人数など	
訪問看護師育成プログラム普及	継続	なし		① 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	訪問看護師の育成のための研修開催 時期/回数：(前期・後期) 7月から9月 10月から3月
訪問看護ステーション体験実習	継続	なし	一部 (ｺｯ)	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 ⑨	訪問看護を体験できる実習 対象者：中高校生・潜在看護師・病院看護師 等 対象人数：年間115名受入 一時期中止
訪問看護ステーション経営サポート	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	経営に対する相談支援 個別経営相談4件 医療事務研修 さいたま市、川越市
コールセンターの設置・運営	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 ⑦ 8 9	対象者：訪問看護ステーション職員 時期/回数：一般職員等 平日10°～16° 対応 看護管理者 月水金10°～16° 対応
教育ステーション事業	継続	一部		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	訪問看護の知識、技術向上のための研修の実施 多職種との連携拠点 新規事業所の職員の 同行訪問による訪問看護体験 県内3ヶ所 オンラインでの研修導入
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
コロナ禍で研修は、一部ZOOMを活用して実施した。体験実習は、緊急事態宣言中は停止し、解除後開始し予定の230人中115人まで中高校生や潜在看護師等の訪問看護ステーションでの体験実習を行った。実習に参加した高校の一つは、参加者全員看護学校に合格した。教育ステーションでは、多職種連携を行っているがZOOMでの研修等で顔の見える関係づくりが難しかった。コロナ禍であったが中止した事業はなく、実施できた。				コロナの感染状況により、研修はZOOMで実施したりハイブリッドでの開催にする。開催前の会場の換気、消毒、受講生の健康チェック、検温、手指の消毒、密にならないよう席を空ける、終了後会場の消毒等を毎回実施する。体験実習では、実習前2週間の体温測定、健康チェックを行い、防護服着用し、半日の見学とする。今後もコロナの状況を見ながら実施していく予定。	



団体名：さいたま市民医療センター				令和 3 年度分	
事業名				分野別施策（参考） 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
埼玉県がん診療指定病院としての役割推進					
事業の目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙の推進</li> <li>緩和ケアへの活動推進</li> <li>がん知識向上の支援</li> </ul>					
事業の対象者					
一般市民、患者、患者家族、職員					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
一般社団法人大宮医師会、埼玉県立がんセンター					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
禁煙外来の受診勧奨	継続	なし	一部 (ｺｯ)	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：禁煙を望む患者・職員 時期/回数：年間/25回 対象人数：13人
病院敷地内での禁煙措置	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：当院へ来院する患者、職員など 時期/回数：令和3年度
専門医による緩和ケアに関するがん カウンセリング	継続	なし	一部 (ｺｯ)	1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：当院通院中がん患者 時期/回数：年間/2回 対象人数：2名
緩和ケアチームによる院内ラウンド	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：入院患者 時期/回数：週1回
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
病院敷地内での禁煙措置に関しては、喫煙している患者や職員などをほとんど見かけなくなった。院内の緩和ケアラウンドは週1回行うことを継続し、チーム内の情報共有もできているように感じている。				禁煙外来とがんカウンセリングについては、対面での面談が必要なこと等もあり、コロナウイルスの影響で一部縮小する対応になった。今後の蔓延状況に合わせて再開を検討したい。	

団体名：埼玉メディカルセンター				令和 3 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及				
埼玉県がん診療指定病院		2 受動喫煙の防止と禁煙				
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上			
・がん患者と家族への支援 ・がんに関する知識の普及			4 がん検診の質の向上			
			5 在宅医療の推進			
			6 緩和ケアの充実			
			7 相談支援体制の活用			
			8 情報提供の充実			
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者						
がん患者とその家族、職員						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		
				(該当する数字に○)		
緩和ケアチーム活動	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：当院入院中のがん患者・家族 時期/回数：1回/週のカンファレンス、回診	
緩和ケア研修会	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：院内外の医療従事者 ※前年度、今年度は院内の医療従事者のみを対象に開催 時期/回数：1回/年	
緩和ケア外来	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：当院通院中のがん患者・家族 時期/回数：毎週木曜日	
がん相談	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	面談または電話相談 対象者：院内外のがん患者・家族 時期/回数：平日8：30～16：00	
乳がん認定看護師による看護相談	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	面談 対象者：当院で治療されている乳がん患者・家族 時期/回数：毎週月曜日 予約制	
退院調整看護師との連携	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	療養場所の調整 対象者：入院患者・家族	
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
緩和ケアチーム活動、緩和ケア外来、乳がん認定看護師によるがん相談などの運営に関しては、予定通りに実施できた。苦痛のスクリーニングに関しては、がん患者全員には実施できておらず、取り組んでいくようにしたい。患者・家族から直接、チームや緩和外来への依頼相談が少ないため、活動をアピールしていく必要がある。緩和ケアチームや緩和外来の患者に関しては、退院調整看護師や外来看護師、MSWと連携をとり、支援することができた。				緩和ケア研修会は院内の医療従事者を対象に、人数を制限し、10月に開催したが、職種が医師、看護師と偏ってしまった。次年度は多職種が参加できるようにしたい。		

団体名：彩の国東大宮メディカルセンター				令和 3 年度分									
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及											
埼玉県がん診療指定病院		2 受動喫煙の防止と禁煙											
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上											
がん患者様およびご家族の支援		4 がん検診の質の向上											
		5 在宅医療の推進											
		6 緩和ケアの充実											
		7 相談支援体制の活用											
		8 情報提供の充実											
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実											
		事業の対象者											
がん患者様およびご家族、職員、地域の医療従事者													
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
地域の医療機関、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション													
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					対象者、時期/回数、参加人数など				
				(該当する数字に○)									
がん相談支援センター	継続	なし		1	2	3	4	5	6	⑦	8	9	面談またはTEL相談 対象者：がん患者さま及びそのご家族など 時期/回数：平日10時から16時
がん関連の情報提供	継続	なし		①	2	3	4	5	6	7	⑧	9	がんサロンにがんに関連するパンフレットなど設置 対象者：がん患者さま及びそのご家族、一般市民
がん患者サロン（いこいの場）	継続	なし	全 部 (30)	①	2	3	4	5	6	⑦	⑧	9	患者会 対象者：基本は院内のがん患者さまおよびご家族 時期/回数：4回/年（3月・6月・9月・12月）
緩和ケアチーム活動	継続	なし		1	2	3	4	5	⑥	7	8	9	対象者：当院入院中のがん患者さま及びご家族 時期/回数：1回/週のリポート・カンファレンス
緩和ケア研修会開催	継続	なし		1	2	3	4	5	⑥	7	8	9	対象者：院内の医療従事者 時期/回数：年1回実施。2022年3月開催予定。 対象人数：8名募集予定。
さいたま市北部緩和ケア研究会	継続	なし	全 部 (30)	1	2	3	4	5	6	7	8	⑨	対象者：大宮・与野・岩槻医師会管轄の医療機関、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション職員 時期/回数：年2回3月・9月開催予定。
人生会議相談窓口の設置 (Advance Care Planning)	新 規	なし		1	2	3	4	5	⑥	7	8	9	相談窓口の設置 対象者：院内の患者さま及びご家族
院内・敷地内の全面禁煙	継続	なし		1	②	3	4	5	6	7	8	9	受動喫煙防止の観点から敷地内全面禁煙を実施 対象者：患者さま・職員
がん検診	継続	なし		1	2	③	4	5	6	7	8	9	がん検診対応。当院のホームページや院内にてがん検診実施医療機関として掲載 対象者：さいたま市民
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
人生会議相談窓口の設置について今年度初めて実施した。実際相談に至ったケースは1件であったが、ご自身でACPについてご家族とご希望を記載できる冊子も設置しており、その冊子は毎日、数冊無くなっているような状況だった。具体的な相談に至らないが、その冊子をもとにご本人・ご家族と話し合いがなされていると思われる。一部コロナ禍の影響で実施できない箇所があるが、他は例年と著変なく、実施できていると思われる。				今年度はがんサロンとさいたま市北部緩和ケア研究会がコロナ禍の影響で実施に至らなかった。来年度は状況をみて、実施していきたい。									

団体名：健康増進課				令和 3 年度分		
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及		
①若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業 ②がん教育出前講座 ④受動喫煙防止対策				2 受動喫煙の防止と禁煙		
③がん対策推進講演会 ⑤がんに関する情報提供				3 がん検診の受診率の向上		
事業の目標				4 がん検診の質の向上		
①在宅医療の推進による末期がん患者の療養生活の質の向上				5 在宅医療の推進		
②がんに関する正しい知識の普及によるがんの予防の推進				6 緩和ケアの充実		
③⑤情報提供の充実によるがん患者の状況に応じた支援体制の充実				7 相談支援体制の活用		
④受動喫煙の防止と禁煙によるがんの予防の推進				8 情報提供の充実		
事業の対象者				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
市民、教育関係者						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
さいたま市4医師会、さいたま市歯科医師会、さいたま市立病院、さいたま赤十字病院、Cava!～さいたまBEC～、あけぼの会あけぼの埼玉、埼玉医科大学国際医療センター、埼玉県立がんセンター、環境薬事課、資源循環政策課、健康教育課						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金の交付	新規	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9		対象者：20～39歳の市在住末期がん患者（18歳以上の小児慢性対象外を含む） 利用人数：6名
がん教育出前講座	継続	一部		① ② ③ 4 5 6 7 8 9		対象者：市立小中学校の児童生徒、教員、保護者 時期／回数：6～1月までに計6校で実施
がん対策推進講演会	継続	全部		① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9		対象者：市民 時期／回数：2月14日～3月13日にオンラインで配信
受動喫煙対策ポスターを作成し、市内全ての指定喫煙場所に掲示	新規	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9		対象者：市内13ヶ所の指定喫煙場所を利用する市民 禁煙外来についての案内を掲載
市ホームページに医療用ウィッグ・サポート店一覧を掲載	継続	全部		1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9		対象者：医療用ウィッグを必要とするがん患者 サポート店は随時募集し、更新中
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
新規事業として若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業を7月から開始している。現時点の申請件数は4件であるが、必要とする方が漏れなく速やかに申請できるよう、今後も制度の周知に努めたい。 令和2年度からの継続事業である出前講座は、オンラインを併用することで6校で開催できた。アンケート結果からは正しい知識を得られたという声が多く聞かれ好評であった。今後も多くの開催が望まれるため、依頼できる講師を増やす必要がある。				出前講座は、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、一部オンラインを併用し開催した。 講演会は、オンラインセミナーが社会的に浸透し始めたことを踏まえて外出困難な方も参加できる利点を活かすためオンライン形式としている。 今後も対象者や状況により開催方式を柔軟に検討していきたい。		

団体名：地域医療課				令和 3 年度分									
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及											
医療機関情報の発信		2 受動喫煙の防止と禁煙											
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上										
医療機関検索サイト「医療なび」の実施			4 がん検診の質の向上										
			5 在宅医療の推進										
			6 緩和ケアの充実										
			7 相談支援体制の活用										
			8 情報提供の充実										
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実										
事業の対象者													
市民													
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					対象者、時期／回数、参加人数など				
				(該当する数字に○)									
「医療なび」の周知	継続	全部		1	2	3	4	5	6	7	8	9	対象者：市民 時期／回数：通年（365日）
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症対策を市民が広く実施した結果、風邪やインフルエンザ等はコロナ前と比べ減少している。また、発熱症状が出た際は埼玉県受診・相談センターへ案内しているため、さいたま市医療なびの検索数は減少している。				国の医療情報提供制度の検討状況や埼玉県が運用している「埼玉県医療機能情報提供システム」の動向を注視し、本市における医療情報提供のあり方について検討していく。									

団体名:いきいき長寿推進課				令和 3 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
在宅医療・介護連携推進事業の実施		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策(参考)	3 がん検診の受診率の向上		
地域での医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進する。			4 がん検診の質の向上		
			5 在宅医療の推進		
			6 緩和ケアの充実		
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
医療関係者、介護関係者、行政					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護事業所、療法士会、栄養士会、介護支援専門員協会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、各区役所高齢介護課、介護保険課、地域医療課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	継続	全部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅医療・介護連携推進会議において、現状や課題について情報共有、対応策の検討などを行います。
医療・介護関係者の研修	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	医療や介護に関する研修会を開催する。 対象者：医療・介護等の多職種
地域住民への普及啓発	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	講演会を開催します。また、在宅医療連携拠点の普及啓発に取り組みます。 対象者：地域住民
医療・介護関係者の情報共有の支援	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	市全域での入退院支援ルールの作成に取り組み、情報共有様式等の検討を行います。
切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築を検討し、市全域での入退院支援ルールの作成に取り組みます。
在宅医療・介護連携に関する相談支援	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	ケアマネージャーの資格を有する看護師などがコーディネーターとして、在宅医療・介護連携に関する相談に対応します。 対象者：市民や関係者
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
在宅医療・介護連携推進事業の推進にあたっては、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくことができるよう、医療・介護・福祉分野の関係者間のより一層の「顔の見える関係」の構築が重要と考えます。 令和3年度は、病院関係者と在宅関係者が早い段階で患者情報を共有し、早期退院と退院後の円滑な療養生活に繋げていくことを目的として、4医師会と連携して市内共通の入退院支援ルールを策定しました。				4医師会への委託により実施している研修会や講演会に関し、医療と介護の関係者が新型コロナウイルス感染症に対応するために業務多忙となったことや、参加者及び従事者における感染拡大防止の観点から、集合形式での開催を一定期間見送らざるを得なくなりました。 一部の医師会においてオンラインによる実施を取り入れており、今後必要に応じて拡充を検討していきます。	

団体名：地域保健支援課				令和 3 年度分									
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及											
①がん検診の受診向上対策の推進 ②がん検診精密検査対象者への受診勧奨		2 受動喫煙の防止と禁煙											
事業の目標		分野別施策（参考）	3 がん検診の受診率の向上										
①市民のがん検診受診を促し、受診率を向上させる。 ②がん検診及び精密検査の必要性の正しい知識の啓発と受診促進を行うことで質の高い検診を目指す。			4 がん検診の質の向上										
事業の対象者		5 在宅医療の推進											
市民		6 緩和ケアの充実											
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		7 相談支援体制の活用											
各区保健センター、中央図書館、医師会		8 情報提供の充実											
事業の成果、感想など		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実											
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策 (該当する数字に○)					対象者、時期/回数、参加人数など				
				1	2	③	4	5		6	7	8	9
がん検診対象初年度無料事業制度の実施	継続	なし		1	2	③	4	5	6	7	8	9	対象者：今年度初めて市のがん検診の対象になった市民 時期/回数：令和3年度の検診実施期間中
がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付	継続	なし		①	2	③	4	5	6	7	8	9	対象者：市のがん検診対象の市民 時期/回数：個別勧奨はがき 令和3年4月中旬発送、再勧奨はがき 令和3年9月下旬発送
さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発	継続	なし		①	2	③	4	5	6	7	8	9	対象者：今年度20歳になった市民（新成人） 時期/回数：令和4年成人式で実施
精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨	継続	なし		①	2	③	④	5	6	7	8	9	対象者：がん検診で精密検査が必要だと判断された市民のうち未受診者 時期/回数：1次検診受診報告日より4か月後
中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架	継続	なし		①	2	③	4	5	6	7	8	9	時期/回数：令和3年10月実施
SNSを活用したがん検診の啓発	新規	全部		①	2	③	4	5	6	7	8	9	対象者：市のがん検診対象の市民 時期/回数：令和3年4月、10月、11月、12月に計4回実施
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度も、がん検診の対象者に対して4月中旬に個別の勧奨はがきを送付したほか、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により見合わせた再勧奨はがきについても、9月下旬に送付しました。</li> <li>受診率を向上させるため、TwitterなどSNSを活用した啓発にも積極的に取り組みました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度も、新型コロナウイルスの流行前と比較して受診者数が減少傾向にあるため、引き続き、効果的な受診勧奨の取組が求められます。</li> </ul>									

団体名：西区役所保健センター				令和 3 年度分	
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及	
がん検診受診勧奨 がんについての啓発				分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標					3 がん検診の受診率の向上
①がん検診を受診し、早期発見・治療につながる ②がんについての知識を持ち、予防やセルフチェックなど自身でケアすることができる ③自身の健康について関心を持ち、相談・受診などの行動をとれる					4 がん検診の質の向上
事業の対象者				5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実
市民全般、市内在住のがん検診受診対象者およびその家族				7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
JR東日本（指扇駅）					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策 (該当する数字に○)	
				対象者、時期/回数、参加人数など	
がん検診受診勧奨	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	区役所内2か所にてがん検診受診勧奨について掲示、各教室にて随時受診勧奨、区報掲載
駅前での啓発活動	継続	なし	全部 (計)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	指扇駅にて検診受診勧奨等について啓発グッズを配布予定 時期/回数：11月24日
がん精健未受診フォロー（女性のが ん）	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	受診状況の確認、および受診勧奨の連絡 対象者：精密検診未受診の方
健康相談（随時）	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	来所・電話などがんについての相談を随時行 う
乳がんについての講話（依頼教育）	継続	なし	全部 (計)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：乳幼児を持つ保護者 時期/回数：10月
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
がん検診受診勧奨については、10月に乳がん月間と合わせ て、がん全般の知識の啓発および健診受診勧奨の掲示を保健 センターの掲示スペースで行った。成人向け教室にて、がん 検診受診勧奨を行った。がん精密健診未受診フォローについ ては、対象者への受診勧奨を行った。健康相談は随時対応し ている。				感染拡大防止の観点から、不特定多数の方への啓 発活動（指扇駅での啓発グッズ配布）は中止。依 頼教育での啓発については、依頼元が集いの中止 を決定したため、実施できなかった。	



団体名：北区役所保健センター				令和 3 年度分									
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及									
①がんに関する知識の普及 ②がん検診の重要性について啓発 ③受動喫煙についての啓発および禁煙方法の周知				2 受動喫煙の防止と禁煙									
事業の目標				分野別施策（参考） 3 がん検診の受診率の向上									
①がんやがん検診について知り、健(検)診の重要性を理解する。				4 がん検診の質の向上									
②たばこの害や受動喫煙について理解し、禁煙の方法を知る。				5 在宅医療の推進									
事業の対象者				6 緩和ケアの充実									
北区民				7 相談支援体制の活用									
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				8 情報提供の充実									
ステラタウン、児童センター、子育て支援センター等				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実									
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					対象者、時期／回数、参加人数など				
				(該当する数字に○)									
健康クイズラリーにおいてがん検診の啓発	継続	なし	全部 (0)	①	②	③	4	5	6	7	8	9	新型コロナウイルスの感染拡大のため、今年度は実施せず。
育児学級・離乳食教室でがん検診受診勧奨のポケットティッシュ配布	継続	一部		1	2	③	4	5	6	7	8	9	各教室は時間短縮のためオンラインでの開催となり、がん検診受診勧奨のポケットティッシュ配布は実施できなかった。
エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布	継続	なし		①	2	③	4	5	6	7	8	9	保健センター来所者へポスターなど掲示。
健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定	継続	なし	一部 (0)	①	②	③	4	5	6	7	8	9	2021年8月11日の教室は中止となったが、10月15日の教室で5組、1月16日の教室で2組に対しミニ講義を実施。
子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験	継続	なし	全部 (0)	①	②	③	4	5	6	7	8	9	新型コロナウイルスの感染拡大のため、今年度は実施せず。
けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発	新規	なし		①	2	③	4	5	6	7	8	9	北区役所来所の市民を対象に、9月2日、3日、6日の3日間開催し、計437名参加。
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大のため、対面での教室は実施できずオンラインでの実施になることが多かった。今年度は、プラザノースに来所した市民を対象に、健康に関する展示会を開催し、がん検診等の重要性を普及啓発することができた。</li> <li>通年でがんに関する啓発コーナーを設置し、がん検診の受診勧奨を行った。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面での教育や啓蒙活動は実施できなかった。また商業施設でのイベントや、支援センターでの教育を中止せざるを得ない状況であった。来年度は、引き続き新型コロナウイルスの感染予防を徹底しつつ、感染状況に応じた教育や啓蒙活動を行っていきたい。</li> </ul>									

団体名：大宮区役所保健センター				令和 3 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及				
がんの予防と早期発見の推進		2 受動喫煙の防止と禁煙				
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上			
・がん予防の推進 ・がんの早期発見・早期治療の推進			4 がん検診の質の向上			
			5 在宅医療の推進			
			6 緩和ケアの充実			
			7 相談支援体制の活用			
事業の対象者		8 情報提供の充実				
市民（大宮区民）		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実				
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
大宮区役所総務課、コミュニティ課、北部市税事務所、大宮図書館、子育て支援センターおおみや さいたま市食品衛生協会、大宮アルディージャ、大宮高島屋						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		
				(該当する数字に○)		
がん検診精密検査未受診フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)	継続	なし		① 2 ③ ④ 5 6 7 8 9	対象者：女性のがん検診にて要精密検査者 時期/回数：随時	
区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：市民 時期/回数：市報さいたま大宮区版5月号、9月号に記事を掲載	
がん検診ポスター等の設置	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：市民 時期/回数：通年及び受診勧奨月間	
健康教室での教育・啓発活動	継続	一部		① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：健康教室（一部オンライン講座）参加者 約100名	
大宮区主催のイベントでの啓発活動	継続	なし	一部 (その他)	① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ ⑨	対象者：イベント来場者 コロナによる中止・延期及び大雪による中止	
大宮区役所内でのちらし配布・パネル設置などの普及啓発	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：市民 時期/回数：通年及び受診勧奨月間	
大宮高島屋、大宮区役所での館内放送によるがん検診受診勧奨	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ ⑨	対象者：商業施設利用者、市民 時期/回数：令和3年10月～令和4年3月	
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
郵送での資料送付や区報への記事掲載など新型コロナウイルスの感染状況に関係なく実施できる取り組みは、積極的に行った。特に、がん検診をPRしたのぼり旗は、区役所・図書館・市税事務所の入り口の最も目立つところに配置することができ、多くの来庁者が目を留めていた。また、昨年度は見合わせた商業施設での館内放送を、新型コロナウイルス感染症の第5波が落ち着いたタイミングで再開することができた。				感染状況に関わらず取り組めることは積極的に実施していく。また、オンライン講座などあらゆる機会を利用して普及啓発活動を行っていく。		

団体名：見沼区役所保健センター				令和 3 年度分	
事業名			分野別施策（参考） 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
①がん検診の受診勧奨 ②喫煙や受動喫煙に対する正しい知識の普及、禁煙支援					
事業の目標					
①がん検診の重要性と正しい知識の普及および啓発を行うことで、検診の受診率向上を図る。 ②測定（可視化）により禁煙意識を高め、禁煙行動のきっかけとなる。受動喫煙について考えるきっかけとなる。					
事業の対象者					
見沼区民					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
総務課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				（該当する数字に○）	
教室の中でのがん検診受診勧奨	継続	なし	一部 (30%)	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：教室参加者 対象人数：約300名
ポケットティッシュの配布	継続	なし	一部 (30%)	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：教室参加者等 約1,000個
展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者、保健センター来所者 時期/回数：常時
がん検診の啓発品（ボールペン・ハンカチ等）の作成・配布	継続	なし		1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：教室参加者、保健センター来所者等 約300個
公用自転車に受動喫煙のポスターを張り付け普及啓発を実施	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	時期/回数：通年
禁煙週間の取り組み （特設コーナーの設置、広報誌等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発活動）	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者、保健センター来所者 時期/回数：5月31日～6月6日
乳がん月間の取り組み （センター職員による乳がん啓発名札の着用、乳がん自己検診法体験による乳がん検診の普及啓発活動）	新規	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者、保健センター来所者 時期/回数：乳がん月間（10月）
見沼区ふれあいフェアで乳がん自己検診法体験	継続	なし	全部 (30%)	① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：見沼区ふれあいフェア来場者
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、センター事業の一部中止、ふれあいフェアの中止などで限られた取り組みとなったが、区役所の特設コーナーや展示の継続、公用自転車に啓発ポスターを貼付するなど出来る範囲で啓発を行った。また、乳がんモデルの自己触診体験については保健センター事業利用者へや窓口来所者に積極的に声をかけ、体験の機会を作った。				乳がん自己触診については、手指消毒や手袋着用などの感染予防対策を講じて実施した。今後は区役所のSNSやサイネージを利用し、教室や来庁者以外の区民に対し新型コロナ感染状況に左右されない啓発について検討していく。	

団体名：中央区保健センター				令和 3 年度分	
事業名				分野別施策（参考） 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
①がん検診受診勧奨 ②乳がん予防・早期発見についての普及啓発 ③禁煙に関する啓発					
事業の目標					
①がん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける ②乳がんに対する意識を高め、乳がん検診を受け早期発見・早期治療に結びつける ③喫煙習慣のある人や受動喫煙を減らす					
事業の対象者					
保健センター事業参加者、保健センター来所者、区内施設利用者					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
区役所、区内施設					
取組の内容	新規 継続	オン лайн	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
①がん検診受診勧奨 (1) 保健センター主催教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施 (2) 保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布 (3) 市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載 (4) 区民まつり参加者にがん検診受診勧奨啓発品配布 (5) 中央区Twitterがん検診に関する記事を掲載	継続	なし	一部 (0カ)	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	時期/回数： (1) 主催教室の中止や内容の一部変更により、がん予防の講話は実施なし (2) 通年実施 (3) 令和3年12月号に記事を掲載 (4) 区民まつりの中止に伴い実施なし
②乳がん予防・早期発見についての普及啓発 (1) 児童センター依頼教育にて、乳がん予防・早期発見について講話実施 (2) 区役所ロビーにて、乳がん予防・早期発見について講話と啓発活動、資料配布 (3) 中央区Twitter乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載	新規	全部		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	令和3年11月に子宮頸がん予防啓発に関する記事を掲載
③禁煙に関する啓発 (1) 保健センター主催教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施 (2) 禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配架 (3) 市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載 (4) 中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載	継続	なし	一部 (0カ)	① ② 3 4 5 6 7 8 9	時期/回数： (1) 教室の中止と内容の一部変更により実施なし (2) 令和3年5月1日～5月31日に掲示・配架 (3) 令和3年5月号に掲載
	新規	全部		① ② 3 4 5 6 7 8 9	(4) 令和3年5月に禁煙に関する記事を掲載
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> <li>集合形式の教室・依頼教育の場での啓発は中止となったが、オンラインを活用しTwitterでの情報発信の取組を新規で行った。今後もオンラインを活用した普及啓発活動を継続する予定である。</li> <li>新規に計画した乳がんに関する啓発イベント「ローズリボンキャンペーン」では、区役所内の協力を得て当初予定よりも期間を延長し開催した。区役所来庁者へ啓発を行うことにより、従来の方法よりも広く市民へ啓発することができた。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍でも継続可能な多様な方法での啓発を計画し実践する。また、その成果と市民の反応について、情報収集し分析していく。</li> <li>保健センター利用者にとどまらず、より広く市民に啓発できるよう、区役所内、また地域の関係機関とも連携し啓発活動を行う。</li> </ul>	

団体名：桜区役所保健センター				令和 3 年度分		
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及		
①がん検診の受診勧奨・がんについての普及啓発 ②禁煙に関する普及啓発				2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標				3 がん検診の受診率の向上		
①桜区区民ががん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。 ②がんを含む生活習慣病のリスクである喫煙習慣の減少。				4 がん検診の質の向上		
				5 在宅医療の推進		
事業の対象者				6 緩和ケアの充実		
				7 相談支援体制の活用		
桜区区民				8 情報提供の充実		
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
ブラザウエスト						
取組の内容	新規 継続	オン лайн	中止	分野別施策		対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
①がん検診受診勧奨 (1)保健センター窓口で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布。 (2)保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施。 (3)市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載。 (4)区民ふれあいまつりにて、がんについての健康クイズを実施。 (5)体組成測定会にがん検診啓発パンフレットを配布。 (6)がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に区役所・ブラザウエストの階段に、がんに関する健康クイズを掲示。 (7)ロビーコンサートにて、女性のがんについての啓発ポケットティッシュ配布	継続	一部	一部 (30分)	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9		(1) 対象者：保健センター来所者 時期：通年 (2) 対象者：教室参加者(オンライン) 時期：5月24日(MIA♪) 中止(コロナ) 11月1日(ゆがみ矯正レッスン) オンライン：3名 (3) 対象者：桜区民 時期：10月 (4) 対象者：市民 時期：10月16日 中止(コロナ) (5) 対象者：測定会参加者35名 時期：10月27日 (6) 対象者：区役所・ブラザウエスト来所者 時期：10月1日～10月29日 (7) 対象者：ロビーコンサート参加者50名 時期：12月20日
②禁煙 (1)禁煙週間に保健センター窓口やブラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。区役所内エレベーター・階段で健康クイズを掲示。 (2)体組成測定会で禁煙に関するパンフレット等の配布。 (3)市報桜区版に禁煙の効果についての記事を掲載。	継続	なし	一部 (30分)	1 ② 3 4 5 6 7 8 9		時期／回数： (1) 対象者：保健センター来所者 時期：5月31日～6月30日 (2) 対象者：測定会参加者 時期：5月28日 中止(コロナ) (3) 対象者：桜区民 時期：5月、3月
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
新型コロナウイルスの流行に伴ない事業の中止や自粛、感染防止対策を講じての実施などもあったが、オンラインでの事業開催へ変更した。電子申請で開庁時間外の申し込み受付やアンケート回答が可能になるなど新しい試みから、今後の事業の在り方についての可能性を考えるきっかけとなった。今後、オンラインで講師と1対1での保健指導や参加者同士のグループワーク、YouTube配信などにより今までは参加しにくかった区民への事業参加の形を模索していきたい。				感染状況に応じて、参加人数の調整やオンラインでの事業開催時の普及啓発を行った。今後は不特定多数が触れることなくパンフレット等を手にする配布方法など感染予防に配慮した普及啓発を検討していく。オンラインでの事業開催時の効果的な普及啓発方法について検討していく。		

団体名：浦和区役所保健センター				令和 3 年度分	
事業名				分野別施策（参考） 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
①がん検診の受診勧奨 ②受動喫煙防止の啓発 ③乳がん自己触診の普及啓発					
事業の目標					
①がん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。 ②受動喫煙の機会を減らし、がんの発生リスクを下げる。 ③乳がん自己触診の実施方法の指導を実施し、検診の受診意欲を高め、乳がん検診の受診率向上および異常の早期発見、早期治療につなげる。					
事業の対象者					
浦和区保健センター及び浦和区役所来庁者 教室参加者					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
浦和区役所各課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発	継続	なし	一部 (30%)	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	公民館等育児相談参加者 新型コロナウイルスの影響により中止 両親学級参加者 年12回
健康づくり教室にて、乳がん患者会の講話の機会を設け、若い世代からのがん予防・がん検診の重要性等の意識づけを図る	新規	なし	全部 (30%)	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	新型コロナウイルスの影響により中止
区内幼稚園の保護者向け教育で、乳がん自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨	継続	なし	全部 (30%)	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	新型コロナウイルスの影響により中止
区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	年4回（9、10、1、2月）
保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	年4回（9、10、1、2月）
浦和区健康まつりにて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発	継続	なし	全部 (30%)	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	新型コロナウイルスの影響により中止
女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	年11回
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
区役所・保健センターロビーに設置している啓発コーナーの内容を見直し、今年度より「健康スポット」と名称を変えて運営している。健康スポットでは、月間テーマに合わせて啓発品セットを毎月約200～300部配布しており、多くの市民が活用していると考えられた。 10月の乳がん月間においては、ピンクリボンと啓発名札を作成し、浦和区役所全職員による普及啓発活動を行えた。 Twitter（4、5、10、1、2月）や市報（5、9、10、2、3月）による広報において、啓発ツールを有効活用し、より多くの市民にがんに関する知識の普及啓発を行えた。				引き続き健康スポットを運営し、新型コロナウイルスの感染予防に配慮した非接触型の啓発活動を行う。 より多くの市民にがん検診の重要性を伝えるため、感染予防対策を講じた上で、健康づくり教室を開催する。	

団体名：南区役所保健センター				令和 3 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がん検診受診に関する啓発 ②がん検診受診勧奨に関するコーナーの設置 ③禁煙相談事業の実施		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策（参考） 3 がん検診の受診率の向上			
①②がん全般に関する知識や乳がんの自己検診法を学び、検診及び予防の必要性を理解することができる。		4 がん検診の質の向上			
②③喫煙や受動喫煙の害を知り、禁煙の必要性を理解し、禁煙行動への意識を持つことができる。		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
区民を中心とした市民					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
なし					
取組の内容	新規 継続	オン лайн	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発	継続	なし	一部 (30%)	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：①20～40歳代の女性 ②1歳児とその父 ③小学生と20歳～50歳代の保護者 ④20～40歳代の区民 ⑤20～40歳代の区民 ⑥小学生とその保護者 ⑦6か月以上で概ね8kg前後の児とその母親 ⑧40～74歳の市民 時期/回数：①6/1 ②6/12、11/27 ③8/29 ④9/2 ⑤10/7 ⑥10/16 ⑦10/8 ⑧11/12 対象人数：9人
地区依頼教育での乳がん検診（自己検診法を含む）の説明	継続	なし	一部 (30%)	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：対象は区内在住の乳幼児を持つ母 時期/回数：6/25 対象人数：13人
庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：パネル展示・パンフレット等の配布 時期/回数：年間を通じて実施
禁煙相談の実施	継続	なし		① ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：区内在住の禁煙希望者とその家族 時期/回数：保健センター開庁日（予約制）
体組成測定会でがん予防・検診受診に関するPR	継続	なし	全部 (30%)	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区民または市民 時期/回数：5/12、6/12、8/30、11/27、11/29、2/9 対象人数：0人
サウスピア7階の窓ガラス（武蔵浦和側）に、禁煙を促すキャッチコピーを掲示	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：武蔵浦和駅利用者等 実施日：5/28～6/8
受動喫煙に関する啓発（ポケットティッシュ配布等）	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：妊娠届出申請者 時期/回数：妊娠届出申請時 対象人数：1226人（12月末現在）
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業等で、がん検診受診に関する啓発を実施しました。</li> <li>令和元年度から、南区役所がある複合公益施設サウスピア7階の窓ガラス（武蔵浦和駅側）を活用した健康づくり事業関連のメッセージ掲示を行っています。令和3年度は禁煙を促すメッセージを掲示しました。</li> <li>新しい生活様式を踏まえ、様々な場面でがん全般に関する知識の普及啓発、禁煙の必要性など情報発信に努めていきます。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>予定していた事業の日程変更や中止。</li> <li>事業の参加人数の制限。</li> <li>禁煙相談時に活用していたマイクロCOモニターの使用中止。</li> <li>乳がんモデル使用時に、使い捨て手袋の着用をするなどの感染予防対策を実施する。</li> <li>事業時間短縮のため、両親学級時の禁煙の関するDVD上映の中止。</li> </ul>	

団体名：緑区役所保健センター				令和 3 年度分					
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及					
①健康教室等において、がん検診の受診勧奨や乳がん自己検診法等の普及を行う ②庁舎内やイベント、区報で受診勧奨・資料の展示等を行う				2 受動喫煙の防止と禁煙					
事業の目標				3 がん検診の受診率の向上					
①市民ががん検診を受けたり、自己検診を各自で実施したりすることで、早期発見・早期治療に結びつける ②がん検診の受診勧奨、がんに対する正しい知識の普及により、受診意欲の向上を図る				4 がん検診の質の向上					
				5 在宅医療の推進					
				6 緩和ケアの充実					
				7 相談支援体制の活用					
				8 情報提供の充実					
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実					
				事業の対象者					
				さいたま市民					
				事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
総務課、区民まつり実行委員会									
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					
				(該当する数字に○)					
成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：保健センター主催の教室に参加した市民 時期/回数：年間を通じて 対象人数：12~40名/回×17回				
血圧測定コーナー（区民課前）へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置	継続	なし		1 ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：緑区役所に来庁された市民 時期/回数：年間を通じて実施				
緑区区民まつりにおけるがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布など	継続	なし	全 部 (計)	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：緑区区民まつりに来場に来庁された市民 時期/回数：10月に実施				
さいたま市報（緑区版）へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：緑区在住の市民 時期/回数：市報1月号に掲載				
乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区内在住18~64歳の女性 対象人数：8名に実施				
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性					
<p>乳がんについて学ぶ教室を実施し、乳がん月間である10月には健康情報コーナーで啓発資料の配付を実施した。教室後のアンケート結果から、参加者から乳がん自己検診やがん検診を受けることに前向きな回答が多く得られ、良い意識づけができた。</p> <p>緑区役所区民課前や、区民まつりでがん検診等のポスター掲示やリーフレットの配布を実施。7割程度配布ができたが、例年と比較すると資料を手にする人を躊躇する人が見受けられ、配布数は減少した。</p>				<p>教室等実施に際しては同じ時間に集うことなく、がん予防普及啓発が実施できるよう、健康クイズを実施し、個別に回答、資料の配付を実施した。</p> <p>教室実施に際し、感染症蔓延の影響を受けにくい普及啓発方法を検討する必要があるため、オンラインでの教室実施を計画していく。</p>					



団体名：岩槻区役所保健センター				令和 3 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がん検診の受診勧奨 ②がん予防についての普及啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上		
①区民が、がん検診を受け、早期発見・早期治療につながる。 ②区民が、がん予防についての知識を得る。			4 がん検診の質の向上		
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
岩槻区民					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
子育て支援センターいわつき、児童センター、岩槻区役所観光経済室、岩槻区役所コミュニティ課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	回数：年4回（4月、6月、12月、1月）
区内各施設にて、がん検診受診勧奨ポスターの掲示	継続	なし		1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：子育て支援センター・児童センター利用者 時期：通年
区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者 時期：通年
保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発	継続	なし	一部 (30%)	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：回数 生活習慣病予防教室等参加者：年1回8人 体組成測定会参加者：(年2回) 中止 母子保健事業参加者：(年17回 計116人)
岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：岩槻駅利用者 時期：7月19日～8月20日
区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験	継続	なし	全部 (30%)	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	中止
区主催事業での啓発	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：他課主催事業（5事業）参加者 配布数：201部
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
母子保健事業に普及啓発を組み込むなど、新型コロナウイルス流行下において実施可能な方法で普及啓発を行った。来年度も、新型コロナウイルス感染症の影響下でより効果的な取組になるよう工夫したい。				新型コロナウイルス感染症の流行による緊急事態宣言の発出に伴い、中止となった事業・イベントがあった。実施した事業も、新型コロナウイルス感染症対策として人数や内容の大幅な制限もあったため、計画通り実施できない取組もあった。	

団体名：教育委員会学校教育部指導1課				令和 3 年度分							
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及									
学習指導要領に基づく保健学習指導		2 受動喫煙の防止と禁煙									
事業の目標		分野別施策（参考） 3 がん検診の受診率の向上									
①がんに関する正しい知識を習得させる。 ②喫煙に関する正しい知識を習得させる。		4 がん検診の質の向上									
		5 在宅医療の推進									
		6 緩和ケアの充実									
		7 相談支援体制の活用									
		8 情報提供の充実									
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実									
事業の対象者											
市立全小・中学校の児童生徒											
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体											
教育委員会学校教育部健康教育課											
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策 (該当する数字に○)					対象者、時期/回数、参加人数など		
				①	②	3	4	5		6	7
保健学習の実施	継続	なし		①	②						確実に保健学習を行う。 対象者：市立全小・中学校の児童生徒
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性							
小学校の保健学習では、日本人の死因の多くが生活習慣病によるものであり、不適切な生活行動や長期間の喫煙が、がんへのリスクにつながることについて指導することができた。中学校の保健体育の学習では、がんという病気やリスク、適切な生活習慣の実践、健康診断やがん検診、がんの治療と回復などについて指導することができた。				引き続き、学習指導要領に基づいて、児童生徒にがんや喫煙に関する正しい知識を習得できるようにする。							

団体名：教育委員会健康教育課				令和 3 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及				
①健康教育（がん教育等）研究委嘱		2 受動喫煙の防止と禁煙				
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上			
学校におけるがん教育の推進			4 がん検診の質の向上			
			5 在宅医療の推進			
			6 緩和ケアの充実			
			7 相談支援体制の活用			
			8 情報提供の充実			
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者						
市立学校児童生徒・教職員						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
教育委員会指導1課、健康増進課						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		
				(該当する数字に○)		
健康教育（がん教育等）研究委嘱	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	八王子中学校 時期/回数：令和元年～令和3年	
各学校でのがん教育の取組の支援	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：市立各学校	
文部科学省主催研修会 参加	継続	全部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：健康教育課、市内教職員	
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
保健主事や養護教諭対象の研修の際に、がん教育出前講座について周知し、また、がん教育出前講座について健康増進課から取組状況等を伺うことができた。教職員や保護者向けの研修や児童生徒向け講座の実施等、実態に応じてがん教育に取り組む学校があった。令和元年度から3年間、市立八王子中学校では令和元年度から3年間、研究委嘱校としてがん教育に取り組んだ。研究発表会には、市内教職員が多く参加した。				参集形式の研修会がオンライン会議形式になったり、授業としての外部講師の講義がオンライン形式になった部分があった。今後も、その時の状況に応じて、適切な方法を検討して実施する。		

さいたま市がん対策推進計画  
令和4年度 各団体取組シート

## 目 次

## 【市民・事業者】

○Cava! (サヴァ) ～さいたま BEC～	1
○さいたま労働基準監督署	2
○さいたま商工会議所女性会	3

## 【保健医療関係者】

○さいたま赤十字病院	4
○自治医科大学附属さいたま医療センター	6
○さいたま市立病院	10
○さいたま市4医師会連絡協議会	12
○さいたま市歯科医師会	13
○さいたま市薬剤師会	16
○埼玉県看護協会	17
○埼玉県訪問看護ステーション協会	18
●さいたま市民医療センター	19
●埼玉メディカルセンター	20
●彩の国東大宮メディカルセンター	21

## 【市】

○健康増進課	22
○地域医療課	23
○いきいき長寿推進課	24
○地域保健支援課	25
○西区役所保健センター	26
○北区役所保健センター	27
○大宮区役所保健センター	28
○見沼区役所保健センター	29
○中央区役所保健センター	30
○桜区役所保健センター	31
○浦和区役所保健センター	32
○南区役所保健センター	33
○緑区役所保健センター	34
○岩槻区役所保健センター	35
○指導1課	36
○健康教育課	37

団体名 : Cava!～さいたまBEC～				令和 4 年度分				
事業名			1 がんに関する正しい知識の普及					
①科学的根拠に基づいた知識の普及。 ②乳がん体験者が安心して集まれる場所を提供。			2 受動喫煙の防止と禁煙					
事業の目標			分野別施策(参考)					
①乳がんと告知された時から、正しい情報がどこにあるのかをおしゃべり会等を通して伝えていく事。 ②体験者同士が思いを共有し、孤独感から開放され一歩を踏み出すきっかけを作り、安心して集える場所を提供する事。			3 がん検診の受診率の向上					
			4 がん検診の質の向上					
			5 在宅医療の推進					
			6 緩和ケアの充実					
			7 相談支援体制の活用					
			8 情報提供の充実					
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実					
			事業の対象者					
			乳がんと診断された女性（ヨガ、運動教室は他のがん罹患女性も対象）					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体								
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策				
				(該当する数字に○)				
月1度 体験者対象おしゃべり会	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：乳がんと診断された女性 時期/回数：月1回（第3木曜：8月を除く）			
不定期 再発転移経験者のおしゃべり会	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：乳がんの再発転移経験者 時期/回数：4ヶ月に1度（年3回）			
体験者対象 イベント各種	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：乳がんと診断された女性・家族 時期/回数：未定			
乳がん体験者のためのヨガ(NYOGA)	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：がんと診断された女性 時期/回数：対面→月3～5回/OL→月11回			
乳がん体験者のための運動教室（エアロ、筋トレ）	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：がんと診断された女性 時期/回数：対面、OLとも月1回			
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性				
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>								

団体名：さいたま労働基準監督署				令和 4 年度分	
事業名			分野別施策（参考） 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
①事業場における治療と職業生活の両立支援対策 ②職場における受動喫煙防止対策					
事業の目標					
①治療と仕事の両立支援の取組を更に普及させるため「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」、「企業・医療機関連携マニュアル」及び「事業場における環境整備マニュアル（仮称）」の周知。 ②事業主等が積極的に受動喫煙防止対策に取り組むよう、「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン」の周知啓発、同対策助成金、相談支援の利用促進。					
事業の対象者					
管内（さいたま市（岩槻区を除く）、鴻巣市（旧川里地区を除く）、北本市、桶川市、上尾市、伊奈町、志木市、新座市、朝霞市、和光市）の事業場					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
浦和地区労働基準協会、大宮地区労働基準協会、埼玉産業保健総合支援センター					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				（該当する数字に○）	
全国労働衛生週間及び同準備期間における周知	継続	一部		1 ② 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：事業主、産業保健担当者等 時期／回数：労働衛生週間（10月1日～7日）、同準備期間（9月）における周知（同週間に係る説明会等を含む）説明会 7回
労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知	継続	一部		1 ② 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：事業主、人事労務・産業保健担当者等 時期／回数：年間実施数 約10回
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p style="color: red;">今回は記入不要です。 （次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。）</p>					

団体名:さいたま商工会議所女性会				令和 4 年度分									
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及											
がん検診の受診勧奨		2 受動喫煙の防止と禁煙											
事業の目標		分野別施策(参考)											
①会員ががん検診を受けることで、早期発見・早期治療に結びつける。 ②医療用ウィッグの毛髪提供の呼びかけをする。		3 がん検診の受診率の向上											
		4 がん検診の質の向上											
		5 在宅医療の推進											
		6 緩和ケアの充実											
		7 相談支援体制の活用											
		8 情報提供の充実											
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実											
事業の対象者													
女性会会員とその家族													
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					対象者、時期/回数、参加人数など				
				(該当する数字に○)									
総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知	継続	なし		①	2	③	4	5	6	7	8	9	対象者:会員 時期/回数:会議開催時 対象人数:80人
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>													

団体名：さいたま赤十字病院		1/2		令和 4 年度分		
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及		
地域がん診療連携拠点病院 がんゲノム医療連携病院				2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標				3 がん検診の受診率の向上		
①地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。				4 がん検診の質の向上		
②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者・家族への支援を行う。				5 在宅医療の推進		
③がん患者が治療を受けながら働ける環境を整えるため、治療と仕事の両立を支援する。				6 緩和ケアの充実		
事業の対象者				7 相談支援体制の活用		
				8 情報提供の充実		
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
				前橋赤十字病院、足利赤十字病院、NPO法人がんと暮らしを考える会、アデランス		
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
がん診療連携セミナーの開催	継続	一部		①	2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：院内外の医療従事者 時期/回数：年2回 秋・冬開催予定 対象人数：約100人/回 *感染状況により、オンラインか集合開催を検討
病院内および敷地内の全面禁煙	継続	なし		1	② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：患者、家族、来院者、職員
緩和ケア研修会の開催	継続	なし		1	2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：院内の医療従事者、院外の受け入れは状況により判断 時期/回数：6月11日（予備：9月） 対象人数：30名募集
緩和ケアチーム合同カンファレンス	継続	全部		1	2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：前橋赤十字病院、足利赤十字病院 緩和ケアチーム 時期/回数：年3回
がん相談	継続	なし		1	2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：院内外がん患者・家族、一般の方、医療関係者 時期/回数：月～金曜日（祝日除く） 9：00～16：30
がんサロン・アピアランスケア	継続	なし		1	2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：院内外がん患者・家族 時期/回数：がんサロン⇒毎月第3金曜日 14：00～15：00 アピアランスケア(院内美容院協働)⇒第1木曜日 14：00～16：00 状況により開催検討
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>						



団体名：さいたま赤十字病院		2/2		令和 4 年度分	
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及	
地域がん診療連携拠点病院 がんゲノム医療連携病院				2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標				分野別 施策 (参考)	
①地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。				3 がん検診の受診率の向上	
②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者・家族への支援を行う。				4 がん検診の質の向上	
③がん患者が治療を受けながら働ける環境を整えるため、治療と仕事の両立を支援する。				5 在宅医療の推進	
				6 緩和ケアの充実	
				7 相談支援体制の活用	
				8 情報提供の充実	
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者					
				がん患者・家族、一般市民、来院者、職員	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
				前橋赤十字病院、足利赤十字病院、NPO法人がんと暮らしを考える会、アデランス	
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会（就労支援）	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：院内がん患者・家族 時期/回数：毎月第2水曜日 50分×3枠① 13：30～14：20 ②14：30～15：20 ③15：30～16：20 対象人数：36名（3枠×12ヶ月）
がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書 の整備	継続	なし		1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：がん患者・家族、一般の方 時期/回数：平日8：30～17：00
「地域ケア意見交換会」の開催（困りごとや課題等の意見交換）	継続	一部		1 2 3 4 5 6 7 8 ⑨	対象者：さいたま市内の在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、基準薬局等の医療従事者の方 時期/回数：月1回（8月は休会）第3木曜日 *感染状況により、オンラインか集合開催を検討
がんゲノム医療	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：院内外のがん患者
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 1/4				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
・職員の健康管理、がんに関する知識普及		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上			
・職員の健康管理、がんに関する知識普及に努める		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
全職員、私学共済被扶養者					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
一般社団法人大宮医師会、埼玉県立がんセンター、日本私立学校振興・共済事業団					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
一般定期健康診断	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	労働安全衛生法に基づく健康診断を実施 対象者：全職員 時期/回数：年2回の機会を提供
特定業務従事者に対する健康診断	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	労働安全衛生法に基づく健康診断を実施 対象者：特定業務従事者 時期/回数：配置換えの際及び6カ月以内ごとに1回定期に実施
特殊健康診断	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	法令に基づく特殊健康診断を実施 対象者：該当職員 時期/回数：配置換えの際及び6カ月以内ごとに1回定期に実施
人間ドックの利用費用補助	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	人間ドック利用料の助成 対象者：35歳以上の私学共済加入者及び被扶養者
郵送検診の実施	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	大腸がん、肺がん、胃がん、前立腺がんの郵送検診を実施 対象者：30歳以上の私学共済加入者及び被扶養者
緩和ケア研修会の開催	継続	なし		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会 対象者：医療従事者 時期/回数：年1回
化学療法研修会の開催	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ ⑨	化学療法に関する最新の知見を提供 対象者：医療従事者
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

<b>団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 2/4</b>				<b>令和 4 年度分</b>	
<b>事業名</b>			分野別 施策 (参考)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>受動喫煙防止、禁煙推進</li> <li>最新知識、技術の習得支援</li> </ul>					
<b>事業の目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙によるがん罹患の防止に努める</li> <li>最新知識、技術の習得支援に努める</li> </ul>			1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
<b>事業の対象者</b>					
全職員、私学共済被扶養者、看護師					
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>					
日本私立学校振興・共済事業団、自治医科大学大学院医学研究科、自治医科大学看護師特定行為研修センター					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
私学事業団健康相談ダイヤル	継続	一部		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	健康医療等電話相談サービスを実施（健康相談、医療相談、介護相談など） 対象者：私学共済加入者
職場巡視における喫煙状況調査の実施	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	喫煙の状況について調査を実施 対象者：全職員 時期/回数：定期
敷地内全面禁煙	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	受動喫煙防止の観点から敷地内全面禁煙を実施
禁煙外来の開設	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	健康保険を利用した禁煙外来を開始し、喫煙者率の減少に努めている
がん化学療法看護認定看護師 がん性疼痛看護認定看護師等の育成 (資格取得に係る費用の助成)	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	資格取得にかかる費用の助成 対象者：希望職員
臨床腫瘍学講義の実施 (自治医科大学大学院医学研究科で開講している臨床腫瘍学の講義を受講可能としている)	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	自治医科大学大学院医学研究科（栃木県下野市）で開催している臨床腫瘍学の講義を当センターでも受講可能にしている
看護師特定行為研修の実施	継続	なし		① 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 ⑧ ⑨	手順書により一定の診療の補助を行うことのできる看護師の養成
<b>取組の成果、感想など</b>				<b>コロナ禍における対策及び今後の方向性</b>	
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 3/4				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
・患者、市民向け知識普及		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上			
・患者および市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
外来患者、入院患者、患者家族、地域の医療従事者、一般市民					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
さいたま市4医師会、埼玉新聞社、ハローワーク大宮					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
公開講座の開催	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	公開講座を開催し、がんに関する正しい知識の普及に努めている 対象者：市民（1回/100人程度） 時期/回数：年1回開催
がんサロンの開催	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	療養体験や気持ちを分かち合い、勉強会などを行うがんサロンを開催 対象者：がん患者や家族 時期/回数：年6回
おしごと継続・就労相談会の開催	継続	なし		1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	ハローワーク大宮と連携し、就労相談会を院内で開催 時期/回数：毎月2回、原則第1火曜日と第3金曜日、事前予約制
緩和ケア研修会の開催（再掲）	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会 対象者：医療従事者（地域の医療従事者も参加可能） 時期/回数：年1回
院内がん登録の公表	継続	なし		1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	がん診療連携拠点病院における院内がん登録標準登録様式に基づき、1腫瘍1登録とし、入外を問わず登録し、ホームページ上で公表
がん相談支援センターの開設	継続	なし		1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	医療・療養・生活上の不安や悩みなどに相談対応 対象者：患者・家族等
セカンドオピニオン外来の開設	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	自由診療にて専門の医師がセカンドオピニオンに対応
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

<b>団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 4/4</b>				<b>令和 4 年度分</b>										
<b>事業名</b> ・患者、市民向け知識普及 ・緩和ケア実践			分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及										
<b>事業の目標</b> ・患者および市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める ・適切なタイミングでの緩和ケア実践に努める				2 受動喫煙の防止と禁煙										
				3 がん検診の受診率の向上										
				4 がん検診の質の向上										
				5 在宅医療の推進										
				6 緩和ケアの充実										
				7 相談支援体制の活用										
				8 情報提供の充実										
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実										
<b>事業の対象者</b> 外来患者、入院患者、患者家族、一般市民														
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>														
(協働した課所、機関、団体の記入欄)														
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策 (該当する数字に○)									対象者、時期/回数、参加人数など	
				①	2	3	4	5	⑥	⑦	⑧	9		
緩和ケアチームを組織	継続	なし		①						⑥	⑦	⑧	9	医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどによる緩和ケアチームを組織し、適切なタイミングで緩和ケアを提供できる体制を整備
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性										
今回は記入不要です。 (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)														

団体名：さいたま市立病院		1/2		令和 4 年度分		
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及		
がん患者・家族の支援				2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標				3 がん検診の受診率の向上		
がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う				4 がん検診の質の向上		
				5 在宅医療の推進		
				6 緩和ケアの充実		
				7 相談支援体制の活用		
				8 情報提供の充実		
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者						
がん患者及びその家族						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
がん患者サロン、はなみずき会 (ミニレクチャー、座談会)	継続	一部		① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9		対象者：がん患者及びその家族（受診の有無は問わない） 時期／回数：毎月第4水曜日13：00～15：00
告知後の患者支援	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9		対象者：市立病院でがん告知を受けた患者・家族
緩和ケアチーム活動	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9		対象者：市立病院の入院中のがん患者・家族 時期／回数：1回/Wの回診、カンファレンス
がん相談支援センターの活用	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9		面談又は電話相談 対象者：がん患者及びその家族（受診の有無は問わない） 時期／回数：平日8：30～17：00
就労支援	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨		社会保険労務士、ハローワーク職員による相談会実施 対象者：市立病院かかりつけのがん患者 時期／回数：月1回
退院調整看護師の活用	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9		在宅への調整、退院後、自宅への訪問を行っている 対象者：がん患者・家族
さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 ⑨		講演会や連携のためのディスカッションを行い、情報交換と顔の見える関係づくりをしている 対象者：さいたま浦和地区の医療従事者 時期／回数：年2回
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>						

団体名:さいたま市立病院		2/2		令和 4 年度分	
事業名		分野別施策(参考)			
がん患者・家族の支援					
事業の目標					
がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う					
事業の対象者		がん患者及びその家族			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士			
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる	継続	全部		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	がん診療に携わる院内外の医師を対象に行っている緩和ケア研修会でがんサバイバーの方からの講演をオンラインで実施する
がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	作成したパンフレットを使用し、セルフケアを指導する 対象者：入院のがん患者にスクリーニングを実施し、3以上の患者
経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	皮膚障害を予防するために外来からセルフケア指導、評価を行う 対象者：経口抗がん剤を使用する患者
がん治療時の医科歯科連携を行い、治療に伴う口腔内合併症を予防する	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	歯科と連携し口腔内の環境を整える 対象者：がん治療（手術、化学療法、放射線療法）前の患者
がん患者のアピアランスケア支援	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 ⑧ 9	外見ケア支援として情報提供やケア方法の検討・アドバイスを行う 対象者：がん患者
経口抗がん剤使用患者に対する説明用紙の整備	新規	なし		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：経口抗がん剤を使用する患者 時期：内服開始前に文書による説明を行う
取組の成果、感想など		コロナ禍における対策及び今後の方向性			
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

団体名:さいたま市4医師会連絡協議会				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がん検診の受診勧奨や啓発 ②在宅医療・緩和ケアの推進		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策(参考)			
①がん検診の受診率の向上 ②研修会の開催や参加等により、在宅医療・緩和ケアの理解を深める。		3 がん検診の受診率の向上			
		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
市民、医師会下院、検診実施医療機関、訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター、さいたま市					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
がん検診の実施及び受診勧奨	継続	なし		1 2 ③ ④ 5 6 7 8 9	胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん(触診)、乳がん(X線)、子宮がん(頸)、至急がん(体) 時期/回数: R4.4.27~R5.3.11
大宮在宅医療支援センターを通じたがん患者への在宅医療	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ 8 9	
在宅医療・緩和ケアに関する研修会及び勉強会の開催	継続	全部		1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	がん拠点病院、地域医療機関、多職種の連携の構築
さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会の開催	継続	全部		1 2 3 4 5 ⑥ ⑦ ⑧ 9	時期/回数: 月1回
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和5年2月ごろに記載させていただきます。)</p>					



<b>団体名：さいたま市歯科医師会（浦和歯科医師会）</b>				<b>令和 4 年度分</b>									
<b>事業名</b>		1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実											
①会員向け口腔がん対策講習会		分野別施策（参考）											
<b>事業の目標</b>													
①昨今は、行政が主体となり市民対象のがん検診に口腔がん検診を導入している事例も多くみられる。将来的に当会としても、市民のお口の健康を守り、口腔保健についての意識を高めること・全会員が同等の知識と技量を習得しておくことを目的とする。													
<b>事業の対象者</b>													
浦和歯科医師会会員													
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>													
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					対象者、時期／回数、参加人数など				
				（該当する数字に○）									
口腔がんに関する研修	継続	全部		①	2	3	4	5	6	7	8	9	対象者：浦和歯科医師会会員 WEB配信予定
<b>取組の成果、感想など</b>				<b>コロナ禍における対策及び今後の方向性</b>									
今回は記入不要です。 （次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。）													

<b>団体名：さいたま市歯科医師会(大宮歯科医師会)</b>				<b>令和 4 年度分</b>									
<b>事業名</b>		1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実											
①大宮歯科医師会公開市民講座		分野別施策(参考)											
<b>事業の目標</b>													
①講話・健診・歯科相談を通じ地域市民のお口の健康についての意識向上を図る													
<b>事業の対象者</b>													
さいたま市在住の40歳以上													
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>													
(空白)													
取組の内容	新規 継続	オン лайн	中止	分野別施策					対象者、時期/回数、参加人数など				
				(該当する数字に○)									
口腔がんに関する講話・健診・歯科相談	継続			①	2	3	4	5	6	7	8	9	
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
今回は記入不要です。 (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)													

<b>団体名：さいたま市歯科医師会(与野歯科医師会)</b>				<b>令和 4 年度分</b>											
<b>事業名</b> 市民向け講演会（オンライン）		1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実													
<b>事業の目標</b> 市民向けにがんに関する正しい知識の普及と啓発		分野別施策（参考）													
<b>事業の対象者</b> さいたま市民および与野歯科医師会会員															
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>															
（空欄）															
取組の内容	新規 継続	オン лайн	中止	分野別施策 (該当する数字に○)									対象者、時期/回数、参加人数など		
				①	2	3	4	5	6	7	8	9			
口腔がんに関する研修	新規	全部		①											
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性											
今回は記入不要です。 (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)															

団体名：(一社)さいたま市薬剤師会				令和 4 年度分	
事業名			分 野 別 施 策 ( 参 考)		
①「さいたま地域連携Network」を基盤とした地域連携の推進 ②在宅医療・緩和ケアの支援管理体制の整備 ③かかりつけ機能の推進					
事業の目標					
①入退院から緩和ケアまでの連携を推進し、地域を薬局がサポートできる体制を構築する。 ②在宅支援薬局リストを改訂、現状に即した内容で連携の充実をはかる。 ③薬剤師の職能を「相談」や「健康サポート」の分野で発揮できるよう、他団体での取り組みや他地域での活動に参加し、地域として標準化できるような体制を構築する。			1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者					
地域の保険薬局・薬剤師・医療機関・地域住民					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
医師会、歯科医師会、病院、診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、他薬剤師会					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
癌治療における薬薬連携体制の構築	継続	一部		1 2 ③ 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	対象者：さいたま市薬剤師会会員（病院） 時期/回数：12回/年（会議等） 対象人数：600名
在宅医療支援薬局リストの改訂	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	対象者：医師会、医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、行政窓口 時期/回数：1回 対象人数：不明
癌に関する専門薬剤師の育成	継続	一部		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	対象者：さいたま市薬剤師会会員 時期/回数：6回/年（研修会） 対象人数：100名
かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充	継続	一部		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：さいたま市薬剤師会会員、医師会、 歯科医師会、行政窓口、市民 時期/回数：随時 対象人数：不明
緩和ケアに関する連携体制の構築	新 規	一部		1 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	対象者：さいたま市薬剤師会会員、医師、 歯科医師、病院、看護師 時期/回数：3回/年（研修会） 対象人数：不明
各種市民向けイベントにおける癌啓 発活動の実施（薬物乱用防止、健康 フェア）	継続	一部		1 ② 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：市民 時期/回数：地域イベントに準ずる 他、2回/年（薬剤師会主催） 対象人数：不明
さいたま市版お薬手帳の作成	新 規	なし		1 2 ③ ④ ⑤ 6 7 ⑧ 9	対象者：市民 時期/回数：随時 対象人数：不明
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">（次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。）</p>					

団体名：埼玉県看護協会				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
看護職に対するがん看護についての集合研修		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策（参考） 3 がん検診の受診率の向上			
がん看護について看護専門職として必要な看護実践能力向上を養う		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
会員および非会員の県内看護職					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
特になし					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
がん薬物療法看護	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期/回数：8月9日 対象人数：100人 (対面)
がん性疼痛看護	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期/回数：7月6日 対象人数：100人 (対面)
がんサバイバー	継続	全部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期/回数：1月18日 対象人数：100人
がん治療の最前線	継続	全部		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：会員・非会員 時期/回数：9月6日(半日) 対象人数：100人
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p style="color: red;">今回は記入不要です。 (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

団体名：埼玉県訪問看護ステーション協会				令和 4 年度分	
事業名			分野別施策（参考） 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
①訪問看護師の確保・育成 ②経営安定化支援 ③医療・介護の連携 ④在宅療養の知識の普及					
事業の目標					
①訪問看護師の確保・育成をすることにより、在宅看取りが増やせる体制作りが行えるため、育成が必要である。 ②訪問看護STの経営をサポートし、安定化を図ることにより、在宅医療の推進となる。 ③多職種連携・市民向けの窓口を広げ、情報提供の充実を図る。 ④教育ステーション地域の促成に合わせた教育・連携を図る。					
事業の対象者					
住民、患者、県内外医療従事者、地域包括ケアシステムに関わる職種、県内訪問看護ステーション					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
埼玉県医療人材課、埼玉県立大学、中学校、高校、訪問看護ステーション					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
訪問看護師育成プログラム普及事業	継続	一部		① 2 3 4 ⑤ 6 7 ⑧ ⑨	対象者：新卒訪問看護師、新任訪問看護師 時期/回数：前期10日間 後期10日間 対象人数：10人程度 公開講座30人
訪問看護ステーション体験実習	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	対象者：中高校生、潜在看護師、病院看護師等 時期/回数：4月から2月まで 対象人数：230人
訪問看護ステーション経営サポート (医療事務研修)	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 ⑧ 9	対象者：訪問看護師、事務担当者 時期/回数：年5回 対象人数：各50人程度
コールセンターの運営	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 ⑦ 8 9	対象者：県民、介護事業者、訪問看護師、管理者 時期/回数：月曜から金曜日 10:00-16:00 対象人数：制限なし
教育ステーション事業	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 ⑨	対象者：関連職種、病院、新規事業者、訪問看護師、管理者 時期/回数：川口、越谷、熊谷地域 対象人数：ZOOMは全県対象、30~50人
訪問看護管理者研修	新規	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	対象者：初任訪問看護管理者 時期/回数：2回 訪問看護とは 労務管理 対象人数：それぞれ50人程度
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p style="color: red;">今回は記入不要です。 (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

団体名：さいたま市民医療センター				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
埼玉県がん診療指定病院としての役割推進		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上		
・禁煙の推進 ・緩和ケアへの活動推進 ・がん知識向上の支援 ・がん患者および家族への相談支援			4 がん検診の質の向上		
			5 在宅医療の推進		
			6 緩和ケアの充実		
			7 相談支援体制の活用		
事業の対象者		8 情報提供の充実			
一般市民、患者、患者家族、職員		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
さいたま市4医師会					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
禁煙外来の受診勧奨	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	喫煙者 院内患者、職員
病院敷地内での禁煙措置	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	患者、患者家族、来院者、職員
専門医による緩和ケアに関するがん カウンセリング	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	院内患者、患者家族 主治医からの依頼で実施
緩和ケアチームによる院内ラウンド	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	院内入院患者 週1回実施
がん患者会の開催	新規	なし		1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	院内外患者 年複数回実施
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

団体名：埼玉メディカルセンター				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
埼玉県がん診療指定病院		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上			
<ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者と家族への支援</li> <li>がんに関する知識の普及</li> </ul>		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
事業の対象者		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
がん患者とその家族、職員					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
緩和ケアチーム活動	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：当院入院中の患者・家族 時期/回数：1回/週のカンファレンス・回診
緩和ケア研修会	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：院内外の医療従事者*コロナの状況で対象者の変更あり 時期/回数：1回/日
緩和ケア外来	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：当院通院中のがん患者・家族 時期/回数：毎週木曜日
がん相談	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：院内外のがん患者・家族 時期/回数：平日8：30～16：00
乳がん認定看護師による看護相談	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：当院で治療されている患者・家族 時期/回数：毎週月曜日 予約制
退院調整看護師、地域連携室との連携	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 ⑦ 8 9	対象者：入院中の患者・家族、緩和外来通院中の患者を対象に療養場所の調整
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>					



団体名：彩の国東大宮メディカルセンター				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
埼玉県がん診療指定病院		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策 (参考)			
がん患者様およびご家族の支援		3 がん検診の受診率の向上			
		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
がん患者様およびご家族、職員、地域の医療従事者					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
地域の医療機関、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
がん相談支援センター	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	対象者：がん患者様およびご家族など 時期/回数：平日10時～16時、随時 対象人数：不問
がん関連の情報提供	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：がん患者様およびご家族、一般市民 時期/回数：随時 対象人数：不問
がん患者サロン（いこいの場）	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：基本は院内の患者様およびご家族 時期/回数：4回/年（3月・6月・9月・12月） 対象人数：希望者
緩和ケアチーム活動	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：当院入院中のがん患者様およびご家族 時期/回数：週1回 対象人数：依頼があったケースに対応
緩和ケア研修会開催	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：院内の医療従事者 時期/回数：3月/年1回 対象人数：18名募集
さいたま市北部緩和ケア研究会	継続	なし		1 2 3 4 5 6 7 8 ⑨	対象者：大宮・与野・岩槻医師会管轄の医療機関、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション職員 時期/回数：3月・9月/年2回 対象人数：希望者
人生会議相談窓口の設置 （Advance Care Planning）	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：院内の患者様およびご家族 時期/回数：平日10時～16時 対象人数：不問
院内・敷地内の全面禁煙	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：患者様および職員 時期/回数：随時 対象人数：全員
がん検診	継続	なし		1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：さいたま市民に対しがん検診対応 時期/回数：2021年4月～2022年3月 対象人数：希望者
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">（次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。）</p>					

団体名：健康増進課				令和 4 年度分	
事業名			分野別施策（参考） 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
①若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業 ②がん教育出前講座 ③がん対策推進講演会 ④受動喫煙防止対策 ⑤がんに関する情報提供					
事業の目標					
①在宅医療の推進による末期がん患者の療養生活の質の向上 ②がんに関する正しい知識の普及によるがんの予防の推進 ③⑤情報提供の充実によるがん患者の状況に応じた支援体制の充実 ④受動喫煙の防止と禁煙によるがんの予防の推進					
事業の対象者					
市民、教育関係者					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
さいたま市4医師会、さいたま市歯科医師会、さいたま市立病院、さいたま赤十字病院、Cava! ～さいたまBEC～、あけぼの会あけぼの埼玉、埼玉医科大学国際医療センター、埼玉県立がんセンター、環境薬事課、資源循環政策課、健康教育課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金の交付	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	対象者：20～39歳の市在住末期がん患者（18歳以上の小児慢性対象外を含む）
がん教育出前講座	継続	一部		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：市立小中学校の児童生徒、教員、保護者 時期/回数：計6校で実施
がん対策推進講演会	継続	全部		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：市民 時期/回数：3月頃 開催方式は検討中
受動喫煙防止啓発チラシを作成し、市内の自治会に回覧	新規	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：市民 時期/回数：11月頃
市ホームページに医療用ウィッグ・サポート店一覧を掲載	継続	全部		1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：医療用ウィッグを必要とするがん患者 サポート店は随時募集し、更新中
取組の成果、感想など			コロナ禍における対策及び今後の方向性		
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

団体名：地域医療課				令和 4 年度分									
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及											
医療機関情報の発信		2 受動喫煙の防止と禁煙											
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上										
医療機関検索サイト「医療なび」の実施			4 がん検診の質の向上										
			5 在宅医療の推進										
			6 緩和ケアの充実										
			7 相談支援体制の活用										
			8 情報提供の充実										
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実										
事業の対象者													
市民													
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					対象者、時期／回数、参加人数など				
				(該当する数字に○)									
「医療なび」の周知	継続	全部		1	2	3	4	5	6	7	⑧	9	対象者：市民 時期／回数：通年（365日）
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和5年2月ごろに記載させていただきます。)</p>													

団体名:いきいき長寿推進課				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
在宅医療・介護連携推進事業の実施		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上			
地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進する。		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
		事業の対象者		医療関係者、介護関係者、行政	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護事業所、療法士会、栄養士会、介護支援専門員協会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、各区役所高齢介護課、介護保険課、地域医療課			
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅医療・介護連携推進会議において、現状や課題について情報共有、対応策の検討などを行います。
医療・介護関係者の研修	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	医療や介護に関する研修会を開催する。 対象者：医療・介護等の多職種
地域住民への普及啓発	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	講演会を開催します。また、在宅医療連携拠点の普及啓発に取り組みます。 対象者：地域住民
医療・介護関係者の情報共有の支援	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	市全域での入退院支援ルールを策定したことから、ルールの運用と周知に取り組みます。
切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築を検討し、策定した入退院支援ルールの運用と周知に取り組みます。
在宅医療・介護連携に関する相談支援	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	ケアマネジャーの資格を有する看護師などがコーディネーターとして、在宅医療・介護連携に関する相談に対応します。 対象者：市民や関係者
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

団体名：地域保健支援課				令和 4 年度分									
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及											
①がん検診の受診向上対策の推進 ②がん検診精密検査対象者への受診勧奨		2 受動喫煙の防止と禁煙											
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上										
①市民のがん検診受診を促し、受診率を向上させる。 ②がん検診及び精密検査の必要性の正しい知識の啓発と受診促進を行うことで質の高い検診を目指す。			4 がん検診の質の向上										
事業の対象者		5 在宅医療の推進											
市民		6 緩和ケアの充実											
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		7 相談支援体制の活用											
各区保健センター、中央図書館、医師会		8 情報提供の充実											
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実											
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策 (該当する数字に○)					対象者、時期/回数、参加人数など				
				1	2	③	4	5		6	7	8	9
がん検診対象初年度無料事業制度の実施	継続	なし		1	2	③	4	5	6	7	8	9	対象者：今年度初めて市のがん検診の対象になった市民 時期/回数：令和4年度の検診実施期間中
がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付	継続	なし		①	2	③	4	5	6	7	8	9	対象者：市のがん検診対象の市民 時期/回数：個別勧奨はがき 令和4年4月中旬発送予定、再勧奨はがき 令和4年9月下旬発送予定
さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発	継続	なし		①	2	③	4	5	6	7	8	9	対象者：今年度20歳になった市民（新成人） 時期/回数：令和5年成人式で実施予定
精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨	継続	なし		①	2	③	④	5	6	7	8	9	対象者：がん検診で精密検査が必要だと判断された市民のうち未受診者 時期/回数：1次検診受診報告日より4か月後
中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架	継続	なし		①	2	③	4	5	6	7	8	9	時期/回数：令和4年10月実施予定
SNSを活用したがん検診の啓発	継続	全部		①	2	③	4	5	6	7	8	9	対象者：市のがん検診対象の市民 時期/回数：随時実施予定
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。 (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>													

団体名：西区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名			1 がんに関する正しい知識の普及		
がん検診受診勧奨 がんについての啓発			2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標			分野別 施策 (参考)		
①がん検診を受診し、早期発見・治療につながる			3 がん検診の受診率の向上		
②がんについての知識を持ち、予防やセルフチェックなど自身でケアすることができる			4 がん検診の質の向上		
③自身の健康について関心を持ち、相談・受診などの行動をとれる			5 在宅医療の推進		
事業の対象者			6 緩和ケアの充実		
市民全般、市内在住のがん検診受診対象者およびその家族			7 相談支援体制の活用		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			8 情報提供の充実		
JR東日本（指扇駅）			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
がん検診受診勧奨	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	区役所内2か所にてがん検診受診勧奨について掲示、各教室にて随時受診勧奨、区報掲載
駅前での啓発活動	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	指扇駅にて検診受診勧奨等について啓発グッズを配布予定 時期/回数：11月24日
がん精健未受診フォロー（女性のが ん）	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	受診状況の確認、および受診勧奨の連絡 対象者：精密検診未受診の
健康相談（随時）	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	来所・電話などがんについての相談を随時行 う
乳がんについての講話（依頼教育）	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：乳幼児を持つ保護者 時期/回数：10月
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

団体名：北区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がんに関する知識の普及 ②がん検診の重要性について啓発 ③受動喫煙についての啓発および禁煙方法の周知		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策（参考） 3 がん検診の受診率の向上			
①がんやがん検診について知り、健(検)診の重要性を理解する。		4 がん検診の質の向上			
②たばこの害や受動喫煙について理解し、禁煙の方法を知る。		5 在宅医療の推進			
事業の対象者		6 緩和ケアの充実			
北区民		7 相談支援体制の活用			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		8 情報提供の充実			
子育て支援センター等		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
育児学級・離乳食教室でがん検診受診勧奨のポケットティッシュ配布	継続	なし		1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	離乳食教室・育児学級の対象者の親を対象に、年24回 各回16人程度実施。
エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	保健センター来所者へポスターなど掲示。
健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	小学生の子を持つ保護者、2022年8月10日に実施予定。
子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	子育て支援センター等来所者、依頼時に実施。
けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	プラザノースにて来庁者に向け実施。
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和5年2月ごろに記載させていただきます。)</p>					

団体名：大宮区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
がんの予防と早期発見の推進		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上			
<ul style="list-style-type: none"> <li>がん予防の推進</li> <li>がんの早期発見・早期治療の推進</li> </ul>		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
市民（大宮区民）					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
大宮区役所総務課、コミュニティ課、北部市税事務所、子育て支援センターおおみや、さいたま市食品衛生協会、大宮高島屋、大宮アルディージャ					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				（該当する数字に○）	
がん検診精密検査未受診フォロー（乳がん・子宮がん精密検査未受診者）	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者、時期／回数、参加人数など
区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
がん検診ポスターやのぼり旗の設置	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
健康教室での教育・啓発活動	継続	一部		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
大宮区主催のイベントでの啓発活動	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p>今回は記入不要です。 （次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。）</p>					



<b>団体名：見沼区保健センター</b>				<b>令和 4 年度分</b>	
<b>事業名</b>			分野別施策（参考） 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
①がん検診の受診勧奨 ②喫煙や受動喫煙に対する正しい知識の普及、禁煙支援					
<b>事業の目標</b>					
①がん検診の重要性と正しい知識の普及及び啓発を行う事で、健診の受診率向上を図る、 ②SNS等を含めた禁煙啓発を行い、喫煙者の禁煙への意識を高め、禁煙行動や受動喫煙について考えるきっかけとする。					
<b>事業の対象者</b>					
見沼区民					
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>					
総務課、コミュニティ課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				（該当する数字に○）	
保健センター主催教室・健康相談でのがん検診受診勧奨	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：教室参加者（母子事業も含む） 時期/回数：通年/31回 対象人数：約390人
展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者、保健センター来所者 時期/回数：通年
禁煙週間の取り組み （特設コーナーの設置、広報誌等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発）	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者、保健センター来所者 時期/回数：5月31日～6月6日
乳がん月間の取り組み （センター職員による乳がん啓発名札の着用、乳がんモデルでの自己触診法体験）	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者、保健センター来所者 時期/回数：乳がん月間（10月）
見沼区ふれあいフェアで乳がんモデルでの自己触診体験実施	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：見沼区ふれあいフェア来場者 時期/回数：11月予定
SNSにてがん検診、禁煙の普及啓発の発信	新規	全部		① ② 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：SNS利用者、区役所来庁者 時期/回数：5月31日～6月6日、10月
<b>取組の成果、感想など</b>			<b>コロナ禍における対策及び今後の方向性</b>		
<p><b>今回は記入不要です。</b>                  （次回、令和5年2月ごろに記載させていただきます。）</p>					

団体名：中央区保健センター				令和 4 年度分									
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及											
①がん検診受診勧奨 ②乳がん予防・早期発見についての普及啓発 ③禁煙に関する啓発		分野別施策（参考）	2 受動喫煙の防止と禁煙										
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上										
①がん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける ②乳がんに対する意識を高め、乳がん検診を受け早期発見・早期治療に結びつける ③喫煙習慣のある人や受動喫煙を減らす		4 がん検診の質の向上											
		5 在宅医療の推進											
事業の対象者		6 緩和ケアの充実											
保健センター事業参加者、保健センター来所者、区内施設利用者		7 相談支援体制の活用											
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		8 情報提供の充実											
区役所、区内施設、児童センター		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実											
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策 (該当する数字に○)					対象者、時期/回数、参加人数など				
				①	②	③	④	⑤		⑥	⑦	⑧	⑨
①がん検診受診勧奨 (1) 保健センター主催教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施 (2) 保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布 (3) 区民まつり参加者にごがん検診受診勧奨啓発品配布 (4) 市報中央区版にごがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載 (5) 中央区Twitterにごがん検診に関する記事を掲載	継続	なし		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	時期/回数： (1) 令和4年5月30日、11月29日 (2) 通年実施 (3) 令和4年11月区民まつり開催日 (4) 令和4年11月号・12月号市報に掲載
②乳がん予防・早期発見についての普及啓発 (1) 児童センター依頼教育にて、乳がん予防・早期発見について講話 (2) 区役所ロビーおよび協力が得られた区内施設にて、乳がん予防啓発についての資料の掲示と配布（ローズリボンキャンペーンとして実施） (3) 市報中央区版に乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載 (4) 中央区Twitterに乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載	継続	全部		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	(5) 時期：令和4年11月 子宮頸がん予防啓発に関する記事を掲載
③禁煙に関する啓発 (1) 保健センター主催教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施 (2) 禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布 (3) 市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載 (4) 中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載	継続	なし		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	(1) 対象者：児童センター利用の母親(授乳期含む) 時期/回数：令和4年6月(2回) 10月(1回) (2) 対象者：区役所来庁者、区内施設利用者 時期：令和4年10月14日～10月31日 (3) 令和4年10月号市報に掲載
	継続	全部		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	(4) 時期：令和4年10月
	継続	全部		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	時期/回数： (1) 令和4年10月18日、11月29日 (2) 令和4年5月1日～5月31日 (3) 令和4年5月号市報に掲載
	継続	全部		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	(4) 時期：令和4年5月
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>													

団体名：桜区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がん検診の受診勧奨 ②がんについての普及啓発 ③禁煙に関する普及啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策（参考）	3 がん検診の受診率の向上		
①健診受診・精検受診勧奨により、がんの早期発見・治療につなげる ②がんについて正しく理解し、がん予防を知る ③喫煙について正しく理解し、禁煙の必要性を知る			4 がん検診の質の向上		
事業の対象者		5 在宅医療の推進			
市民（桜区民）		6 緩和ケアの充実			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		7 相談支援体制の活用			
コミュニティ課、総務課、桜図書館、プラザウエスト、公民館、児童センター、子育て支援センター 等		8 情報提供の充実			
事業の成果、感想など		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				（該当する数字に○）	
区役所内にて、がん検診受診勧奨・禁煙のポスター、パンフレット等設置	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来場者 時期/回数：5月・10月
区報によるがん検診受診勧奨・禁煙の啓発記事の掲載	継続	なし		1 ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区民 時期/回数：5月号・12月号
健康教室等でのがん検診受診勧奨・がん予防、禁煙の啓発	継続	なし		① ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：教室参加者 時期/回数：5月11日24日、10月7日26日
がん検診精密検査未受診フォロー（乳がん・子宮がん精密検査未受診者）	継続	なし		1 2 3 ④ 5 6 7 8 9	対象者：がん検診精密検査未受診者 時期/回数：随時
保健センター窓口にて禁煙指導用肺モデル、タールサンプルの設置	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：保健センター来場者 時期/回数：随時
禁煙週間に保健センター窓口にて啓発用ポケットティッシュの配布	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：保健センター来場者 時期/回数：5月
区民まつり・ロビーコンサートでのがん検診受診と禁煙の普及啓発リーフレット・ポケットティッシュ配布	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：イベント来場者 時期/回数：10月15日ほか
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p><b>今回は記入不要です。</b> （次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。）</p>					

団体名：浦和区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がん検診の受診勧奨 ②受動喫煙防止の啓発 ③乳がん自己触診の普及啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策（参考） 3 がん検診の受診率の向上			
①がん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。 ②受動喫煙の機会を減らし、がんの発生リスクを下げる。 ③乳がん自己触診の実施方法の指導を実施し、検診の受診意欲を高め、乳がん検診の受診率向上および異常の早期発見、早期治療につなげる。		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
事業の対象者		6 緩和ケアの充実			
浦和区保健センター及び浦和区役所来庁者 教室参加者 浦和区健康まつり来場者		7 相談支援体制の活用			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		8 情報提供の充実			
浦和区役所各課、NPO法人Arts&Healthさいたま（市民活動団体）		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				（該当する数字に○）	
各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：両親学級参加者 年12回 公民館等育児相談参加者
健康づくり教室にて、がん検診に関する講話の機会を設け、若い世代からのがん予防・がん検診の重要性等の意識づけを図る	新規	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：18～49歳の区民 時期/回数：6月14日（火） 対象人数：定員20名
健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	時期/回数：全開庁日
浦和区健康まつりにて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：来場者 時期/回数：11月6日（日）予定
女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	時期/回数：随時
乳がん月間において、ピンクリボン及び啓発メッセージ入りの区役所職員用名札の作成・着用	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	時期/回数：10月
Twitterや市報において、がんに関する知識の普及啓発	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	時期/回数：随時
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

団体名：南区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がん検診受診に関する啓発 ②がん検診受診勧奨に関するコーナーの設置 ③禁煙相談事業の実施		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上			
①②がん全般に関する知識や乳がんの自己検診法を学び、検診及び予防の必要性を理解することができる。		4 がん検診の質の向上			
②③喫煙や受動喫煙の害を知り、禁煙の必要性を理解し、禁煙行動への意識を持つことができる。		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
区民を中心とした市民					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
なし					
取組の内容	新規 継続	オン лайн	中止	分野別施策 (該当する数字に○)	
				対象者、時期/回数、参加人数など	
保健センター主催の生活習慣病予防教室でのがん検診受診の啓発	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：①20～40歳代の女性 ②1歳児とその父 ③小学生とその保護者 ④小学生とその保護者 ⑤6か月以上で概ね8kg前後の児とその母親 ⑥20～40歳代の区民 ⑦20～40歳代の区民 ⑧40～74歳の市民 時期/回数：①6/10②6/26、12/11 ③8/4④8/7⑤9/9⑥9/21⑦10/6⑧ 10/13 対象人数：106人
地区依頼教育での乳がん検診（自己検診法を含む）の説明	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：区内在住の乳幼児を持つ母 時期/回数：2・3回/年 対象人数：30人
庁舎内の啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：パネル展示・パンフレット等の配布 時期/回数：年間を通じて実施
禁煙相談の実施	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：区内在住の禁煙希望者とその家族 時期/回数：保健センター開庁日（予約制）
体組成測定会でのがん予防・検診受診に関するPR	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：区民または市民 時期/回数：6/8、10/12、2/8 対象人数：120人
受動喫煙に関する啓発（ポケットティッシュの配布等）	継続	なし		1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：妊娠届出申請者 時期/回数：妊娠届出申請時 対象人数：1,800人
Twitterでのがん検診受診、禁煙に関する啓発	新規	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：Twitterへの投稿 時期/回数：4回/年
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">（次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。）</p>					

団体名：緑区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名			分野別施策（参考） 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
①健康教室等において、がん検診の受診勧奨や乳がん自己検診法等の普及を行う					
②庁舎内やイベント、区報で受診勧奨・資料の展示、配布等を行う					
事業の目標					
①市民ががん検診を受けたり、自己検診を各自で実施したりすることで、早期発見・早期治療に結びつける ②がん検診の受診勧奨、がんに対する正しい知識の普及により、受診意欲の向上を図る					
事業の対象者					
さいたま市民					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：保健センター主催の教室に参加した市民 時期/回数：年間を通じて 対象人数：12～40名/回×22回
血圧測定コーナー（区民課前）へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置	継続	なし		1 ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：緑区役所に来庁された市民 時期/回数：年間を通じて実施
緑区区民まつりにおけるがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布など	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：緑区区民まつりに来場に来庁された市民 時期/回数：10月に実施
さいたま市報（緑区版）へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：緑区在住の市民 時期/回数：市報1月号に掲載
乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区内在住18～64歳の女性 対象人数：12名に実施
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

団体名：岩槻区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がん検診の受診勧奨 ②がん予防についての普及啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上		
①区民が、がん検診を受け、早期発見・早期治療につながる。 ②区民が、がん予防についての知識を得る。			4 がん検診の質の向上		
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
岩槻区民					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
子育て支援センターいわつき、児童センター、岩槻区役所観光経済室、岩槻区役所コミュニティ課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	回数：年4回（4月、5月、12月、1月）
区内各施設にて、がん検診受診勧奨ポスターの掲示	継続	なし		1 2 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：子育て支援センター・児童センター利用者（通年）
区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：区役所来庁者（通年）
保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：生活習慣病予防教室等参加者 体組成測定会参加者 母子保健事業参加者
岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示	継続	なし		① 2 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：岩槻駅利用者
区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：保健センターブース来所者
区主催事業での啓発	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：他課主催事業参加者
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和5年2月ごろに記載させていただきます。)</p>					

団体名:教育委員会学校教育部指導1課				令和 4 年度分									
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及											
学習指導要領に基づく保健学習指導		2 受動喫煙の防止と禁煙											
事業の目標		分野別施策(参考)											
①がんに関する正しい知識を習得させる。 ②喫煙に関する正しい知識を習得させる。		3 がん検診の受診率の向上											
		4 がん検診の質の向上											
		5 在宅医療の推進											
		6 緩和ケアの充実											
		7 相談支援体制の活用											
		8 情報提供の充実											
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実											
事業の対象者													
市立全小・中学校の児童生徒													
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
教育委員会学校教育部健康教育課													
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					対象者、時期/回数、参加人数など				
				(該当する数字に○)									
保健学習の実施	継続	なし		①	②	3	4	5	6	7	8	9	対象者:市立全小・中学校の児童生徒
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和5年2月ごろに記載させていただきます。)</p>													



団体名：健康教育課				令和 4 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及				
学校におけるがん教育の推進		2 受動喫煙の防止と禁煙				
事業の目標		分野別施策（参考）	3 がん検診の受診率の向上			
①がんについて正しく理解することができるようにする。 ②健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。			4 がん検診の質の向上			
			5 在宅医療の推進			
			6 緩和ケアの充実			
			7 相談支援体制の活用			
事業の対象者		8 情報提供の充実				
市立学校児童生徒・教職員・保護者		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実				
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
教育委員会指導 1 課、健康増進課						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
各学校でのがん教育の取組の支援	継続	一部		①	2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：市立各学校 児童生徒、教職員、保護者
文部科学省主催研修会 参加	継続	なし		①	2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：市立各学校 教職員 等 ※実施方法未定
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和5年2月ごろに記載していただきます。)</p>						

## コロナ禍により懸念される受診控えを防止するための協定企業と連携した取組について

### 1 がん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定について

本協定は、さいたま市と民間企業が、相互に連携・協力し、本市のがん対策推進に関する取組において、がんの早期発見・早期治療による市民の健康的な生活の実現を図ることを目的とし、締結されるものです。

#### 【既協定締結企業】

企業名	支社名	締結日
アフラック	—	平成 23 年 8 月 22 日
埼玉トヨペット株式会社	—	平成 23 年 8 月 22 日
第一生命保険株式会社	—	平成 23 年 8 月 22 日
太陽生命保険株式会社	浦和支社	平成 25 年 5 月 8 日
	大宮支社	平成 25 年 6 月 28 日
朝日生命保険相互会社	さいたま支社	平成 28 年 9 月 30 日
オリンパスマーケティング株式会社	さいたま支店	令和元年 12 月 2 日
中外製薬株式会社	関東北・甲信越統括支店	令和 3 年 7 月 29 日

### 2 本市と協定締結企業の連携・協力事項について

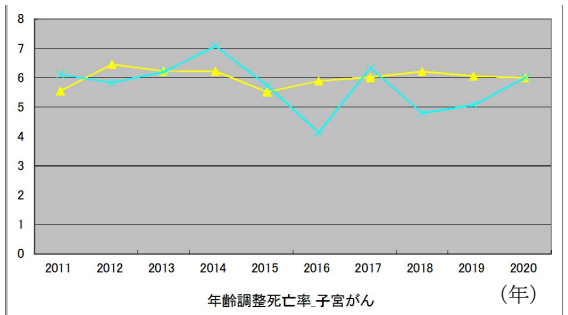
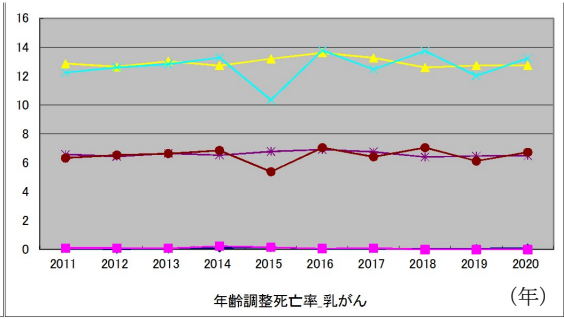
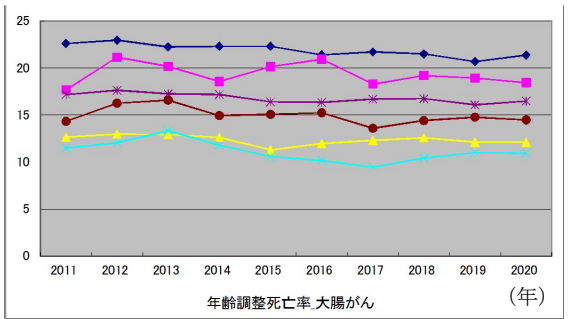
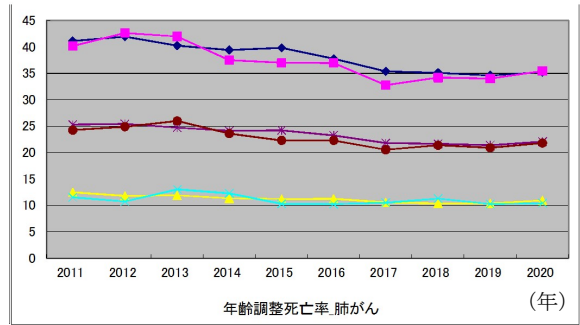
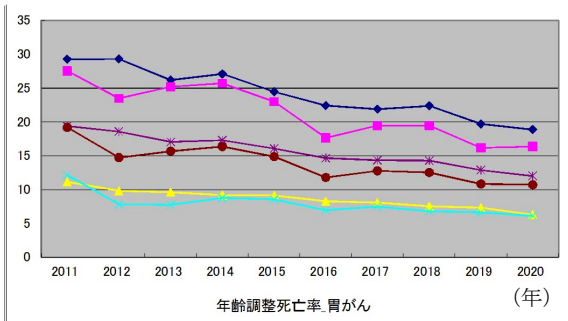
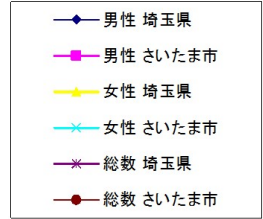
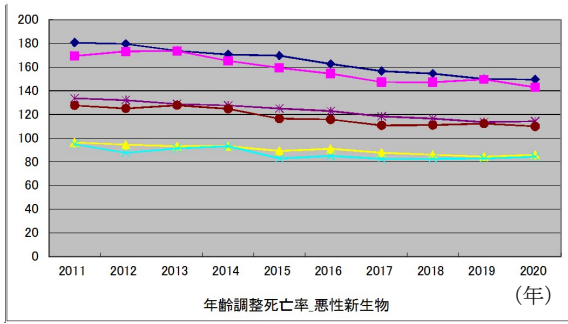
本市と協定締結企業は、次の事項について連携し、協力します。

- (1) がんの正しい知識の普及啓発に関する事項
- (2) がん検診の重要性の啓発など、がんの早期発見・早期治療の理解促進に向けた取組に関する事項
- (3) その他本市と協定締結企業が必要と認める事項

#### 【活動事例】

- ・顧客に対する市のがん検診チラシを利用した啓発活動（平成 28 年～令和元年）
- ・ショッピングモールで買い物客を対象にした市民向け講座の開催（令和元年度）
- ・さいたま市がん対策講演会の会場における啓発活動（令和元年度に企画したが、コロナ禍により講演会中止）

# ● 年齢調整死亡率（人口 10 万対）

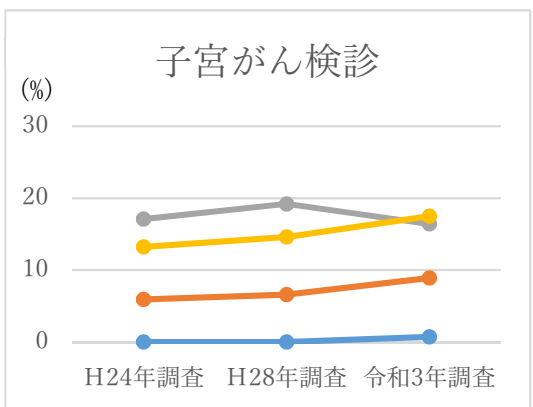
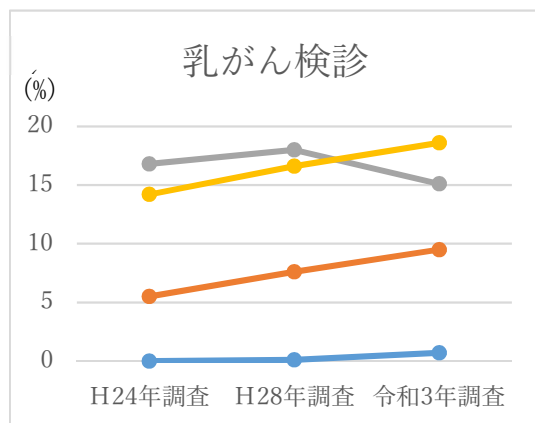
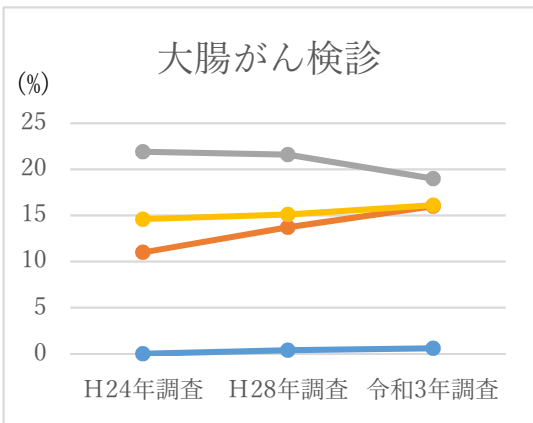
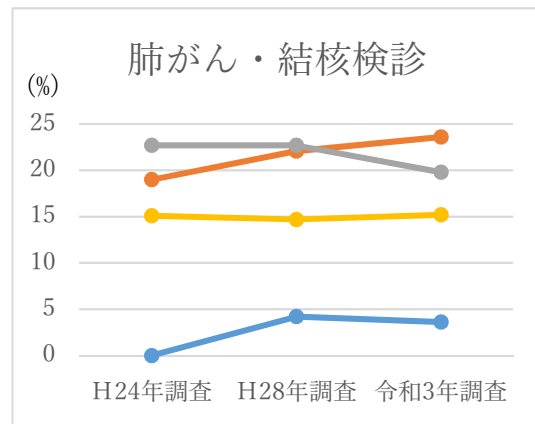
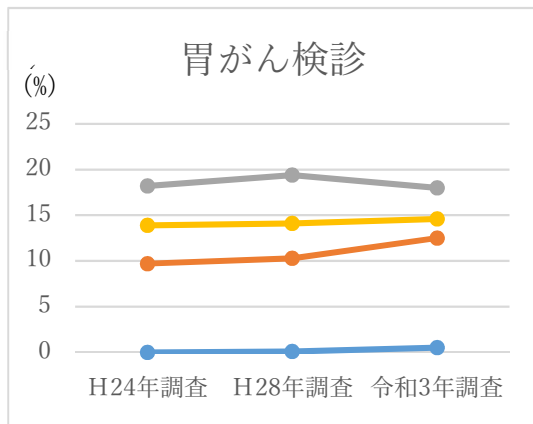
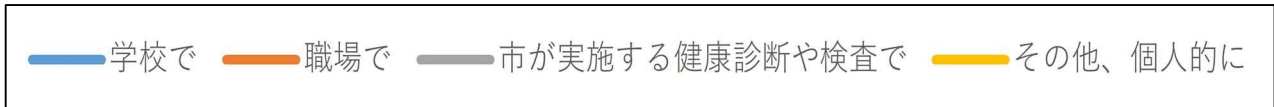


## ●がん検診の受診場所（経年変化）

「あなたは、最近1年以内に健康診断や検査を受けていますか。」で「受けている」と答えた方\*のうち、各検診の受診場所別割合。

※1年以内に健康診断や検査を「受けている」と答えた方の割合

H24年調査：74.2%、H28年調査：78.4%、R3年調査：76.1%



# がん患者のアピランスケアについて

## 1 現在のさいたま市の取組について

さいたま市ホームページに掲載している医療用ウィッグ・サポート店一覧について、来店するがん患者の状況を把握するため、医療用ウィッグ・サポート店を訪問し、主に以下のような項目についてヒアリングを行っています。

### 【ヒアリング項目】

- ・医療用ウィッグを利用されている方の男女比及びがん患者の割合
- ・がん患者の方の医療用ウィッグ利用期間及び医療用ウィッグの購入額と購入数
- ・頭皮の脱毛以外の外見の変化の相談について

## 2 令和3年度第2回さいたま市がん対策推進協議会の意見交換について

### (1) 若い世代への周知について

健康増進課で実施している市立各学校の児童・生徒を対象としたがん教育出前講座において、がん経験者の方の体験談等を元に、がん治療に伴い外見に生じる症状についても周知を進めてまいります。

### (2) 薬の有害事象について患者の方が柔軟に相談できるような取組について

がん相談支援センターのほか、かかりつけ薬局等、患者の方が相談できる箇所及びその周知の方法について検討の必要があります。

(案) 医療用ウィッグ・サポート店へのチラシの配架等

アピランスケアに関しては、悩みの本質を理解した上で、外見の変化した部分を隠して生活する必要がない社会を実現していくことが重要であり、多様な御支援の在り方について検討してまいりたく、上記の内容につきまして御意見をお願いいたします。

## 医療用ウィッグ・サポート店基準

### 1 背景

がん治療の影響で外見が変化し、それにより、友人、職場等での人間関係に影響が出ることもある。このために、精神的に落ち込むがん患者は多くいる。

しかし、近年のがん医療の進歩により、がん生存率は改善され、それに伴い、がん患者の治療に伴う外見の変化に起因する、がん患者の苦痛を軽減するケアの意識が強まってきている。

特に、治療による頭髪の脱毛は多くのがん患者の悩みとして挙げられており、医療用ウィッグの重要性が認識されている。

こうした状況を踏まえ、医療用ウィッグに関する相談先の周知を図り、適切に支援に繋がられるよう、体制作りをしていくことが必要である。

### 2 目的

医療用ウィッグ・サポート店の基準に該当する美容室の一覧を作成し、周知することで、がん患者はアピアランス支援についての相談先情報を知ることができる。

### 3 医療用ウィッグ・サポート店基準

- (1) 医療用ウィッグ及び専用ケア用品（シャンプー等）の販売をしている
- (2) 医療用ウィッグのメンテナンスが可能  
(例:髪型に合わせたウィッグのカット、サイズ調整、シャンプー&ドライ等)
- (3) 抗がん剤治療後のアフターケアが可能  
(例:ウィッグと自毛との調整等)
- (4) 個室または半個室により、医療用ウィッグ利用者のプライバシーが守られている
- (5) 医療用ウィッグ利用者の自宅・病室等への出張サービスが可能

以上の中で1つでも該当する項目がある場合、美容室の情報を「医療用ウィッグ・サポート店一覧」に掲載する。

### 4 医療用ウィッグ・サポート店一覧に掲載する情報

- ・店名、住所、営業時間（時間外対応の可否を含む）、定休日、連絡先（電話番号等）、上記基準の該当項目、ホームページURL、備考

### 5 医療用ウィッグ・サポート店一覧の活用方法

- ・市ホームページへの掲載
- ・公共施設や病院への周知
- ・がん講演会等のイベントでの周知 etc.

※令和4年5月2日時点で登録数は20店舗

医療用ウィッグ・サポート店一覧（令和4年1月18日時点）

大宮区	店名	住所	営業時間	定休日	連絡先	医療用ウィッグ及び専用ケア用品の販売	医療用ウィッグのメンテナンス	抗がん剤治療後のアフターケア	個室または半個室	自宅・病室等への出張サービス	ホームページURL	備考
1	K`Palette	大宮区土手町3-209-2	10:00～19:00	火曜日	048-643-6061	○	○	○	○	○	<a href="https://www.h-a-hide.jp/">https://www.h-a-hide.jp/</a>	
2	ビューティーサポート (ウェルネス) wellness	大宮区宮町2-141 コスモプレイスーの宮 2F	平日 10:00～20:00 木曜日 10:00～21:00 日・祝日 10:00～19:30 早朝ヘア・着付 5:00～ 【時間外対応可（相談にて）】	火曜日 第3月曜日 (他、修習会による 休日あり)	048-642-0440	○	○	○	○		<a href="http://wellness-b.com/">http://wellness-b.com/</a>	株) ウィズアルファ (医療かつら取り扱い店)
3	美容の森 ミエ美容室	大宮区堀の内町3-173-9	9:00～18:00	火曜日	048-641-4428	○	○	○	○	○	<a href="http://biyounomori.com/">http://biyounomori.com/</a>	老若男女、ご相談 承ります。
4	美容の森 シャンテ	大宮区天沼町1-428-2 オークヒルズビル	9:00～18:00	火曜日	048-647-0722	○	○	○	○	○	<a href="http://biyounomori.com/">http://biyounomori.com/</a>	車イスでも対応できます。 個室で相談OK
5	美容室オラシオン	大宮区吉敷町4-248-4 オラシオン103	10:00～20:00	火曜日 第2, 第4月曜日 (場合により一部変更あり)	048-783-3355	○	○	○	○		<a href="http://oracion-bls.com/">http://oracion-bls.com/</a>	年齢による薄毛・抗がん剤・円 形脱毛症・脱毛症・乏毛症・抜 毛症・無毛症・白髪隠し・ ファッション目的・など対応可 能です。 気軽にお電話下さい。
6	Bloom Hair	大宮区下町2-3 守屋ビル2F	9:00～18:00	火曜日 第1, 第3水曜日	048-871-9990	○	○	○	○	○	<a href="http://www.bloom-hair.com/bloom/">http://www.bloom-hair.com/bloom/</a>	大手ウィッグメーカーでの勤 務経験あります。
7	株式会社スヴェンソン 大宮サロン	大宮区桜木町1-132 第2高井ビル5階	10:00～18:30	火曜日	048-645-7512	○	○	○	○	○	<a href="https://ladys.svenson.co.jp">https://ladys.svenson.co.jp</a>	予約制・個別対応のウィッグ 専門店です。地毛のカットも できます。
8	ヘアードレッシング サロンM I L K	大宮区桜木町4-318-2	10:00～18:00	火曜日 日曜日	048-641-2257	○	○	○			<a href="http://hairsalon-milk.com/">http://hairsalon-milk.com/</a>	アットホームサロン ネイルも出来ます
9	美容室ZOOM	大宮区上小町231	10:00～20:00	火曜日 第1, 第2月曜日 第4水曜日	048-631-0631	○	○	○	○			

医療用ウィッグ・サポート店一覧（令和4年1月18日時点）

見沼区	店名	住所	営業時間	定休日	連絡先	医療用ウィッグ及び専用ケア用品の販売	医療用ウィッグのメンテナンス	抗がん剤治療後のアフターケア	個室または半個室	自宅・病室等への出張サービス	ホームページURL	備考
10	美容室 もね	見沼区蓮沼932-1 松沢マンション103	9:00~18:00	火曜日 祝日	048-686-0357 携帯: 090-4932-1264	○	○	○		○		
中央区	店名	住所	営業時間	定休日	連絡先	医療用ウィッグ及び専用ケア用品の販売	医療用ウィッグのメンテナンス	抗がん剤治療後のアフターケア	個室または半個室	自宅・病室等への出張サービス	ホームページURL	備考
11	ヘアサロン こもれび	中央区新都心1-5 さいたま赤十字病院 2階ヘアサロン	9:00~18:00 祝日も営業	土曜日 日曜日	048-840-4301	○	○	○	○	さいたま赤十字病院病室等への出張サービス可能	<a href="https://www.aderans.co.jp/medicare/salon/">https://www.aderans.co.jp/medicare/salon/</a>	脱毛前のカット、脱毛時ケア帽子、まつげ美容液、爪用美容液、手術や治療の方にやさしい下着、多様な商品を取り揃えております。
桜区	店名	住所	営業時間	定休日	連絡先	医療用ウィッグ及び専用ケア用品の販売	医療用ウィッグのメンテナンス	抗がん剤治療後のアフターケア	個室または半個室	自宅・病室等への出張サービス	ホームページURL	備考
12	ビューティーロッチ 薔薇のアーミー	桜区栄和3-5-9	9:00~18:30	火曜日 第2、第3水曜日	048-855-2788	○	○	○				
浦和区	店名	住所	営業時間	定休日	連絡先	医療用ウィッグ及び専用ケア用品の販売	医療用ウィッグのメンテナンス	抗がん剤治療後のアフターケア	個室または半個室	自宅・病室等への出張サービス	ホームページURL	備考
13	美容室Moderate	浦和区東高砂町16-2 KKビル1F	9:30~19:00 (時間外要相談)	火曜日	048-886-3136	○	○	○	○	○	<a href="https://www.moderate-hair.com/">https://www.moderate-hair.com/</a>	スタッフ：女性2人
14	美容室ぴーぷる	浦和区東高砂町14-3 ブルーメ高砂1F	9:30~18:00 (時間外対応可)	火曜日 第3日曜日	048-887-3668		○	○	○	○		
15	すずらん美容室	浦和区高砂3-3-5	9:00~18:00	火曜日 第3日曜日	048-822-0503		○	○	○			
16	ヘアメイクベルル 浦和岸町店	浦和区岸町2-18-13	9:00~19:00 (時間外不可)	火曜日	048-831-6868	○	○		○		<a href="https://www.bell-le.com/">https://www.bell-le.com/</a>	
17	上田美容室	浦和区北浦和5-10-16	9:00~18:00	日曜日	048-706-2326	○	○	○	○	○		予約制でゆっくり ご相談承ります



医療用ウィッグ・サポート店一覧（令和4年1月18日時点）

18	美容室SOARE白菊	浦和区北浦和4-1-8 2F	9:30~16:00	火曜日 第2、第3水曜日	048-831-7836	○	○	○	○		適切で親切なアドバイスを モットーに！！	
南区	店名	住所	営業時間	定休日	連絡先	医療用ウィッグ及び専用ケア用品の販売	医療用ウィッグのメンテナンス	抗がん剤治療後のアフターケア	個室または半個室	自宅・病室等への出張サービス	ホームページURL	備考
19	ヘアワーク 南浦和店	南区南本町2-3-9第一セイコービル5階	10:00~18:00 (土曜日のみ9:30~18:00)	水曜日 日曜日	0120-869-676	○	○	○	○	○	<a href="https://www.hairwork.net">https://www.hairwork.net</a>	女性が安心してウィッグ地毛のカットメンテナンスやウィッグを外すときのアドバイス増毛育毛など髪のお悩み全てご相談出来るお店です。(男性も歓迎)
20	HAIR CLUB	南区四谷1-7-3	9:00~18:30	火曜日	048-862-5188	○			○		<a href="http://hc-musashiurawa.com/">http://hc-musashiurawa.com/</a>	hair-club@outlook.jp (メールアドレス)

## さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業 について

### 1 令和3年度の利用申請状況について

#### (1) 利用申請件数 6件

利用申請の内、利用サービスの件数は以下の通りです。

訪問介護：0件 訪問入浴介護：0件 福祉用具貸与：6件 福祉用具購入：2件 意見書作成料：5件

### 2 医療機関に行ったアンケート結果について

#### (1) 調査期間 令和3年7月1日から令和4年1月31日までの期間

#### (2) 回答元 7か所（埼玉県内の都道府県がん診療連携拠点病院、さいたま市内の地域がん診療連携拠点病院、さいたま市内の埼玉県がん診療指定病院）

#### (3) アンケート集計結果（抜粋）

●貴院の患者に本事業の案内を行ったことはありますか。

ある：3か所（案内をした患者数は1か所当たり1～4人）      ない：4か所

●本事業は患者及びその家族の経済的負担の軽減に寄与すると思いませんか。

思う：6か所      思わない：1か所

●各対象サービスの補助について、患者のニーズ（サービス内容、補助金額）に合致した内容だと思いませんか。 （回答か所数）

	思う	やや思う	どちらでもない	やや思わない	思わない
訪問介護	1	2	2	1	1
訪問入浴介護	1	3	2	1	0
福祉用具の貸与	2	3	1	1	0
福祉用具の購入	2	3	1	1	0
意見書作成料	3	1	2	0	1

「やや思わない」、「思わない」の理由は、「補助金額が少額」、「利用が見込まれない」等。

●在宅療養生活を支援するために、本事業の継続は必要だと思いませんか。

はい：7か所      いいえ：0か所

●その他自由意見

【制度の見直しの検討について】

- ・申請から給付までの期間を短縮化してほしい。
- ・給付方法を介護保険と同様の受領委任払いに変更してほしい。

【制度の周知について】

- ・若年がん患者は可能な限り治療を継続するため、患者へ利用を案内するタイミングが難しい。
- ・地域包括支援センターや居宅介護事業所など、地域への周知を継続して行ってほしい。

今後は、アンケート結果を踏まえ、本事業の周知に努めるとともに、様々な御意見を注視しながら、事業を継続してまいります。

# さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業

さいたま市では、若年の末期がん患者の方が住み慣れた自宅で安心して自分らしい生活が過ごせるよう在宅サービス利用料の一部を補助します。

## 対象者

以下の要件の全てに該当する方が対象となります。

- 20歳<sup>(※)</sup>以上40歳未満のさいたま市民の方

※小児慢性特定疾病医療給付制度の対象でない18歳以上の方を含みます。

- 末期がん患者（医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがない状態に至ったと判断された方）で、在宅療養生活への支援及び介護が必要な方
- 他の制度において同等の補助又は給付を受けることができない方

## 対象サービス

- 訪問介護

・ 身体介護      ・ 生活援助      ・ 通院等乗降介助

- 訪問入浴介護

- 福祉用具の貸与

・ 車いす（付属品含む）      ・ 特殊寝台（付属品含む）      ・ 床ずれ防止用具      ・ 体位変換器  
・ 手すり（工事を伴わないもの）      ・ スロープ（工事を伴わないもの）      ・ 歩行補助つえ  
・ 歩行器      ・ 移動用リフト（つり具部分を除く）      ・ 自動排泄処理装置

- 福祉用具の購入

・ 腰掛便座      ・ 自動排泄処理装置の交換可能部品      ・ 入浴補助用具      ・ 簡易浴槽  
・ 移動用リフトのつり具の部分



## 補助金額

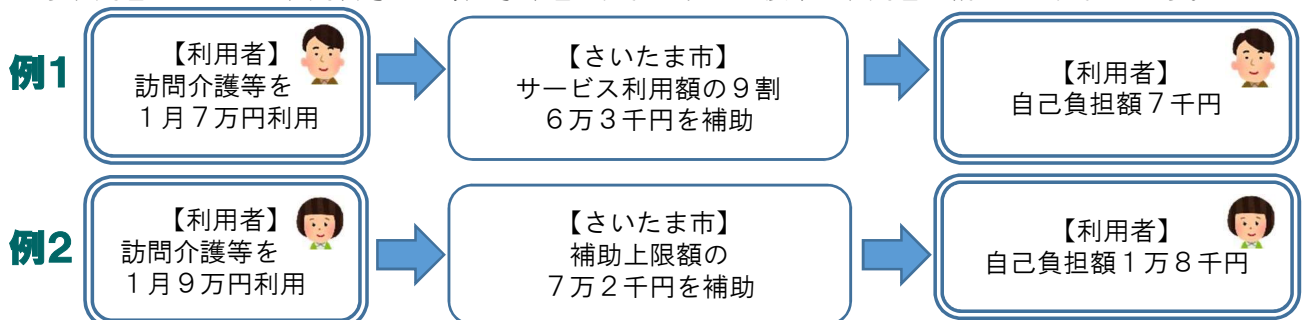
対象サービス利用料、購入費の9割（1円未満切捨て、上限額は次のとおり）

- 訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具貸与を合わせて 月額72,000円

- 福祉用具購入 1人あたり90,000円

※このほか、申請に必要な意見書作成料を補助します。（上限額 4,000円）

※まず利用者がサービス利用料等の全額を事業者を支払い、その後市が利用者へ補助金を支払います。



【申請の流れについては裏面へ】

## 申請の流れ

### (1) 利用申請

以下を健康増進課へご提出ください（郵送可）。

- ① さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業利用申請書（様式1）
- ② 意見書（さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業）（様式2）

※意見書作成料を請求する場合は、さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業交付申請兼請求書（様式7）に領収書（原本）を添えてご提出ください。  
※この他、申請者と利用者の本人確認書類をご提示いただきます。

### (2) 利用決定の通知

申請内容を審査し利用を決定すると、市から決定通知書を郵送でお送りします。

### (3) サービスの利用

利用決定後、サービス提供事業者等と契約を行い、利用を開始してください。

### (4) サービス利用料の支払い

サービス提供事業者から請求された額の全額を支払い、領収書、明細書（サービスの内容、利用回数、金額等が記載されたもの）を必ず発行してもらってください。

### (5) サービス利用料の請求

以下を健康増進課へご提出ください（郵送可）。

- ① さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業交付申請兼請求書（様式7）
- ② サービス提供事業者等の領収書（原本）
- ③ サービスの内容、利用回数、金額等が記載された明細書

※4月から翌年3月のサービス利用料は同年度内（3月中）に請求してください。  
請求が遅れる場合は、健康増進課まで事前にご相談ください。

### (6) 請求者への支払い

請求内容を審査し適当と認められた場合は、指定の口座に補助金を振り込みます。

記入する書類は、さいたま市役所2階の健康増進課で配布しています。  
又、市ホームページからダウンロードすることもできます。

さいたま市 HP から『若年がん』で検索  
(<https://www.city.saitama.jp/002/001/011/001/p087712.html>)



#### 【問い合わせ先】

さいたま市 保健福祉局 保健部 健康増進課  
住 所：〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4  
TEL：048-829-1294 FAX：048-829-1967

## (仮称) 第2次さいたま市がん対策推進計画 策定スケジュール

令和4年5月24日時点

	時期	さいたま市	国	
令和4年度	5月24日	第1回がん対策推進協議会	第3期がん対策推進基本計画 (平成29年度～令和4年度)	第4期がん対策推進基本計画 策定
	10月	がん対策推進協議会委員改選		
	10月～12月	データ・情報収集		
	1月	第2回がん対策推進協議会 ※骨子案概要提示		
	2～4月	骨子案作成		
令和5年度	5月	第1回がん対策推進協議会 ※骨子案審議	第4期がん対策推進基本計画 (令和5年度～)	
	6～7月	素案作成		
	8月	第2回がん対策推進協議会 ※素案審議		
	9月	素案完成		
	12月	議会報告、パブリック・コメント実施		
	1月	第3回がん対策推進協議会 ※計画(案)報告		
	2月	議会報告		
	3月	(仮称) 第2次がん対策推進計画確定		